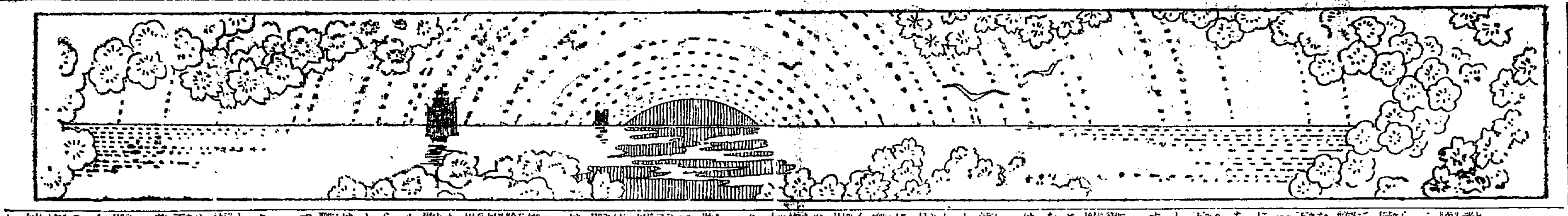


京城日報

本紙定價 每一部金五錢 ▲一ヶ月郵稅共前金一圓十五錢 ▲三ヶ月同三圓三十錢 ▲六ヶ月同六圓五十錢 ▲郵券代用一割增
廣告料金 五號十六字詰一行一圓二十錢 五號同特別二圓六十錢 ▲二號八字詰同二圓六十錢 ▲四號十字詰同二圓
發行兼編輯人 泥谷良次郎
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話長六千九番、長六千九番 振替京城三〇〇番

王世子殿下御一行を奉迎す

李王世子垠殿下は妃方子女王殿下と御同列にて今朝釜山に御上陸、久々にて郷里の山河に親しみ給ふこと何ばかり御滿悦に在すならん。明治四十年御遊學以來數回御歸鮮ありたれども、多くは匆々にして御出發遊ばされ、殊に最近の御歸鮮は時節柄とてしめやかなる御謹省なりき。然るに今回は御成婚後妃殿下と御同列にての初めての御歸鮮なり。春は既に老たれども鮮には殘花の影ゆかしく新綠を迎ふるあり。吹く風長閑にして寒暖おのづから肌へに適する際、殿下は故山の大地に清淑の大氣を呼吸し給ふこと、如何ばかり御滿悦に在すならん。

殿下は今や陸軍大學に御在學あり、御成績は頗る優秀なりと傳へらる。功成りて錦を故郷に飾り給ふとにはあらざれど、之に似たる御滿足をも感じ給ふべく、御歸鮮の御滿悦は一段の深みを加ふるならん。妃殿下は御成婚以來朝鮮の風物に就ては朝夕耳にし給ひしたらんが、親しく此土を踏み給ふは御渡鮮初めての事とて、萬事を珍しく感じ給ふべく、且や此山川は即ち大君殿下の御郷里にして、やがて又妃殿下御自身の御郷里なれば、如何ばかり懷しく親しく思召すことならん。路々に施る、先々に拜つ山よ、そは妃殿下の御郷里の山川なり。隊々に迎ふる白衣の人よ、そは妃殿下の御郷里の民草なり。

李王殿下王妃殿下が三殿下を御待遊ばす御心情の切なるべきは申すまでもなきことなり。別ても世子妃殿下と晉殿下とは初對面の御事とて御對顏の日を待ち給ふこと千秋の如しと傳ふ。人情に古今なく東西なし。王殿下王妃殿下の御喜びを物に譬へんは難しき限りなるべし。世子妃殿下は初めての朝鮮入に新郷里の風物を身に染めて嬉しく御覽じ給ふと共に、王殿下王妃殿下への初見參を如何ばかり畏くも有り難く思召すならん。久しく敬慕まし奉りし王殿下王妃殿下に面の當り見參遊ばされては、御兩親との御對面にも似たる敬愛の情に咽び給ふことならん。『觀見の式には朝鮮服をこそ』との御希望を、深き思召しと解する者は鮮人ならん。たゞ御親しみの情の聊かにても濃かなれかしとこそおぼすらめ。

晉殿下は内鮮結合の精神的結晶なり。世子世子妃兩殿下の擧げ給ふ所とのみ解するは甚だ淺薄なり。内鮮兩民族の綜合の所産と解してこそ始めて其の意義を得べし。宜なり王殿下王妃殿下、世子世子妃殿下の御慈愛を其一身に鍾め給ふことや。朝鮮の山川草木は歡喜に充ちて三殿下の御歸鮮を迎へ奉れり。願はくは三殿下の御滯鮮のどかにして二七日の御旅行の日取り幸く在せ。世子殿下は御多忙にましませども寸暇を割きて今後も屢々妃殿下御同列にて御歸鮮遊ばされん事を祈る。

王世子殿下 御一行を迎へ奉る
朝鮮總督男爵 齋藤實氏談

王世子李垠殿下、同妃方子女王殿下には、李晉殿下を伴はせられ、今回李王殿下、同妃殿下に謁見、宗廟、永寧殿に廟見、六宮墓、[illegible]に大院王廟に展拜、洪陵、[illegible]永徽園、御[illegible]に參拜等の儀を行はせらるゝ爲、御入鮮あそばされた。予は内鮮二千萬同胞と共に、此の盛事に値ふを欣幸とし、謹みて滿腔の誠意を捧げて御一行を迎へ奉る次第である。

王世子殿下が明治四十年十二月學御修得の爲、笈を東京に負はせ給うてより春風秋雨早くも十五年の歳月が經過した。即ち殿下には學習院、中央幼年學校、陸軍士官學校を經修して大正九年に陸軍步兵中尉に任じ近衛步兵第二聯隊附に補せられ、親しく士卒と艱苦を共にし給ひ、現に陸軍大學に御在學、一意軍事の研鑽に努められつゝあり。尙殿下は既に中外の瞻望として今日に到り、稍歳月に高く、久しく先帝陛下の龍光を示けさせられたのは申上ぐる迄も無いことで、殊に今上陛下が殿下に對し御情誼の篤くおはしますことは、昨秋下し給へる詔書を拜して、克く其の一端を窺ひ奉ることが出來るのである。

斯く人格渙成あらせられたる殿下には花笑ひ鳥歌ふ昨春、貞淑の譽高き梨本宮方子女王殿下と御婚儀を擧げさせられた。之は天定の佳緣萬[illegible]の始めたるばかりでなく、實に内鮮の關係を益々緊密にし、彼此の情誼を感激ならしむるに於て、最も有意義の盛典として、[illegible]したのは固より偶然でなかつたのである。而して此の盛儀を行はせらるゝの日、勅令を以て政治に關する罪を犯せる朝鮮人に恩赦の特典を賜ひ、内外の民をして感荷の涙に咽ばしめたことは、一般の記憶に新なる所である。尋いで昨秋兩殿下の間に第一王男子御誕生、晉と御命名あらせられ、今上陛下には優詔を下し給ひ、待つに皇族の禮を以てし、特に殿下の待遇を用ゐしむべく宣布あらせられたのであるが、叡旨のほどいとも畏き次第で、李王家萬代永昌の基たるは、更めて申上ぐる迄も無く、竹の御園の彌榮りに榮り行くは洵に御目出度の極みである。

三殿下には續々御健勝に渉らせられ、這次御揃にて御入鮮あそばされ古來の鑑典に則て大孝を申べさせらるゝ次第であるが、是實に彝倫を萬姓に示させらるゝ所以で、殊に王世子妃殿下並に李晉殿下の李王殿下への謁見の儀は、今回が初めてであつて、久しく御憧憬の歳月を送らせられ、茲に平昔の御冀望を御滿足あそばさるゝ次第であるから、無幸多き御饗饌の高會を成させらるゝならんと恐察し奉る次第である。而して這般の美事は一般蒼生を感奮せしむること幾何たるかを測り知られぬのである。

彼の高く晴れ渡る碧空の下に展開せる山川草木は、皆其の裝を新にして、錦繡も及ばぬ美觀を呈し、内鮮同胞が三殿下奉迎の誠意を相映じて、宛かも三殿下の御安泰を壽き奉るものの樣である斯る瑞祥に圍繞されたまふ三殿下には十分御暢情あらせられ御欣悅を感じさせ給ふ義と私かに拜察されるのである。

予は前任諸先輩總督の後を襲ぎ、此間日夕營々統治の實績を擧げんことに努めしも、唯纔に騷擾の餘波を鎭定して鮮内の靜謐を致し、教育、殖産、交通、衛生等の文化政策を積極的に進むるの基を据たることを得るのみで、轉た慚汗の背を浹ほすを覺ゆるのである。將來は一層勉勵、只管統治の治績を擧げ、共存同榮、内鮮一家の理想を實現せんことを期する次第である。時正に惠風和暢の好季節に際す。予は切に三殿下が此の愛すべき自然の風趣と、赤心を披露せる官民の奉迎とに長途の御旅情を慰めさせられ、御機嫌麗しく豫定の御日程を終へさせたまはらんことを禱り奉る次第である。

往時を追懷すれば感激の涙に咽ぶ耳
東京御留學當時の狀況 侯爵 李完用氏談

李王世子殿下が東渡されたるは明治四十年即ち殿下の御齡が漸く十歳にも達せられぬ時であつた今にして當時を追想し感慨に堪へぬことは故李太王殿下と嚴妃が晩年幼沖なる愛子を膝下より遠く離して東京に留學するを勸許された一事である此の動機は故伊藤公爵が太子太師である時或日余に對し『太子の御性格を拜見するに假令幼齡に在らせられて極めて御聰敏にて頭腦亦明敏到底普通兒童の及ぶ所ではない且余が始めて殿下に謁見せし時殿下には余の手を堅く握らせられたが其の態度が極めて御活潑であつた、宮中にて舊式教育を受けさせられてはつまる所强壯なる御身體も弱くなられ英明なる天資を發揮あらせられざるやも知れぬ故に惜むべき事であると嘆息の情止まざるものがあつた余も亦之れに共鳴しいろ〳〵と其の方法につき講究した、が別に妙案が無かつた尤も余の内心では東京に留學さるゝ事が最も適當な方法と思ふたけれども前述の如く兩宮の勸許至難なるものゝ如く考へ

敢て奏達する

ことも爲し得なかつたのである、其後伊藤公に對して右の如き意見を述べたところ公も亦其の良方法なるを嘆へられたるも結局兩宮の勸許至難であらうと云はれた、余は茲に於てか公と約束した夫れは兩宮の御許容を奉得することは余の任務とし萬一天幸にも御許容があつた場合は之に對する萬般の準備は公の任務とすることゝした依つて余は時々機に乘じ太子の御教育に就して留學せしめらるゝ事が必要である事を奏請したが久しうして後、御許容あらせられ又嚴妃に於かれても太子の百年の大計を想はれ最愛の情を忍ばされ終に同意あらせられたのである、茲に於て余は伊藤公に此の事を語つた處公は非常に喜び且つ感激して早速萬般の準備を整へ東遊の大事を決定したのである而して京城

出發の時には

特に伊藤公陪從し仁川にて軍艦に乘御あり夫れより拔錨の際艦内にて皇禮砲を發射する際公は殿下の兩手を堅く握り、『御動なさるな』と申上げたるに殿下には泰然自若として毫も驚きなさる氣色も無かつた、公は予を顧みて『斯の如くあらせらるれば萬事に心配は無い』と喜色滿面に溢れ余も亦嬉し涙にかきくれた譯であつた、當時伊藤公の世子に對する誠は今日之れを追想しても誠に感激に堪へぬものがあつた、東京に御著あらせられた後には、明治天皇に於かせられても親生子の如く御寵愛せられ伊藤公逝去の後にも益々意を致密にされ一事にでも疎漏無からしめられたことは世人の共に知る所である、今や殿下には其の間の十有五年を一日の如く勉勵せられ學業

大成あらせら

れ一昨年方子女王殿下と嘉禮を御擧行相成り昨年は晉殿下御誕生遊ばされ而して今回は三殿下御一緒に御歸鮮御披露の盛典を行はせらるゝについては太王殿下在天の御靈も嘸御滿足であらうと拜察する、伊藤公も萬一今日まで在世であつたならばどんなに感激されるであらうと余は誠に感極まつて涙の先んずるを禁へないのである

英明の資、勤儉の德
王家の御開鑾拜祭するに餘りあり 李王職長官 李載克男談

王世子殿下は故李太王殿下の第七男で純獻皇貴妃嚴氏に於て誕生遊ばされた、時は光武元年丁酉九月二十五日である、天資俊敏にあらせられ、發育早達、幼沖の時より勉學なされ九歳にして修學院に入學された當時高羲敬氏は英語、安宅重氏は漢文、嚴柱日氏は、日語、算學、地理歷史等の課程を各分擔して御教授申上げたるが、御聰明の上に熱心にあらせられし爲め學業日增しに進步せられ、十歳の時當時の太子太師たる伊藤公に伴はれ東京遊學の爲め御出發なされたのである、其の時の隨從者は當時の宮内大臣李允用、農商工部大臣宋秉畯、宮内府祇候官嚴柱益、陪從武官長趙東潤、東宮大夫高羲敬、東宮侍從嚴柱日、陪從武官金應善、宮内大臣秘書官尹世鏞、醫師工部秘書官李範益、表勳院總裁官閔泳綺等である、故李太王殿下と嚴妃に於かせられては惜別の情を禁じ得なかつたのであらう然して殿下は伊藤公に師事せられ熱心とに御勉學あらせられ十四歳の時漸成の年に王世子と稱せられたが其の間御用掛等に就き尋常高等小學科と中學一年程度の學問を修められ十五歳に勅命に依つて學習院中等科第一學年に御入學されたのである、不幸にして同年七月嚴妃薨去せられ、其後士官學校を御卒業の後軍職に從事されたる越えて大正八年には李太王殿下薨去せられた、其後嘉禮あり次いで昨年晉殿下御誕生あらせられたのであるが往事を追懷すれば無量の感慨が湧然として生ずるのである而して予等が平常世子殿下に感服する所は殿下が東渡せられて滿十有五年間に小學科から學習院中等科、陸軍中央幼年學校豫科同本科を修められ近衛步兵第二聯隊に入隊され、大正六年に陸軍士官學校を卒業せられて現在陸軍大學に在學せらるゝまで、極めて健康に渡らせられ又學業に勵まされ而も成績常に優秀にてあらせらるゝ事と、一昨年嘉禮以後と雖も起も時間を徒費せらるゝことなく、規律嚴正起床就寢は悉く變ることなく夜間は十二時頃までも學科を研究せらるゝことである、又方子女王殿下との御語らひも濃やかにて妃殿下に於ても乳母を選定せられたるにも拘らず、三時間毎を隔てゝ必ず晉殿下に親しくお乳を御授けなさるのであるが是は承はるだに感服に堪へない、さうして世子殿下は幼年から今日まで平民的に心を持たれ謁見者をして欽仰の心を自ら發せしむるものがある、而して李王同妃兩殿下は日常三殿下を憶懷せられ今般豫定の如く御歸鮮さるゝ事となつたが王家の御歡樂は察するに餘りありといふべしである終りに一言を加へんとするのは世子殿下には東渡なされし以來十有五年間封緘親書を以て李王殿下に對し安否を問はせらるゝの禮を缺かされしことなき事である

恐悅の感に堪へぬ
濃かなる御物語ひ今より拜察さる 大庭軍司令官談

萬物の甦る春陽の好季節に際し王世子同妃兩殿下には王子を御連れ遊ばし御歸鮮相成らせらるゝは、誠に家の慶事であり又内鮮人に取り無上の恐悅に堪へざる次第である、王世子殿下には昨年御歸鮮遊ばされて又一年振りに而も妃殿下及王子を御同伴御歸鮮あらせらるゝは初めてのことで殿下は申すに及ばず李王同妃兩殿下のお喜びも嘸かしと拜察せらるゝ殊に妃殿下が王子と共に李王同妃兩殿下其他御近親の方々に初めて御對面遊ばさるゝ御悅びは如何ばかりと拜察せらるゝ京城日報其の他の新聞紙に依り内鮮人の億兆が衷心の熱誠を捧げ御歡迎の意を表示せんとしつゝあるに見ても内鮮同化の上に多大の好影響を與ふることは申すまでもない而して余が茲に一言せんとするは京城日報が特に御歡迎號を發行したことは余の同感禁じ得ざる所である、余は王世子殿下とは同聯隊の將校であつた關係上殿下の御歸鮮に對しては特に何とも申し上ぐる術を知らぬ程恐悅の感に堪へぬ次第である。茲に謹んで一言御歡迎の辭を奉呈する次第である。

衷心お慶び申上ぐ
唯た其の及ばざらん事を虞る 吉松京城府尹談

李王世子殿下には今回同妃御兩殿下御同列にて御歸鮮あらせらるゝ事となりたるが道は洵に目出度いことで吾々府民は衷心よりお歡び申し上ぐる次第であります、それにつけても李王同妃兩殿下を始め其他の御方々のお待ち受は申すまでもなく拜察するに餘りあります而して吾々府民としては此の盛典に對し如何にして御歡迎の意を表示申し上ぐべきかにつき種々苦心し過日府協議會をも開催して之れに關する協議を重ねた次第であるが要するに唯其及ばざらんことを憂ひて居る次第であります殿下の御歸鮮は御成婚後に於て直ぐにもとの御噂もあり府民は爾來今日あるを待ち焦がれてゐた次第で今回の御歸鮮の實現は府民として洵に此の上もない事であります唯此は府民としては充分節度を守り苟くも敬意を缺くやうな事なきを期したいものであります尙今回の御歸鮮は内鮮の融合上至大の好影響を與ふる事は言ふ迄もありますまい

滿腔の祝意を捧げて
御歡迎申し上げん 工藤京畿道知事談

内鮮融和の範を我々一般にお示しあらせられた兩殿下には昨秋晉殿下を設けさせられ御三方お揃ひの上今回御歸鮮遊ばさるゝ事は洵に御目出度く吾々は滿腔の悅びを以てお迎ひ申し上ぐる次第である更に妃殿下には御近親と始めての御對面とて其の御喜びは如何許りかと拜察申し上ぐる次第である吾々は此の盛典に際し出來得る限り御歡迎申し上ねばならぬことは言ふ迄もない尙妃殿下には李王祖の御墓參等をも遊ばされる筈であるが要するに今回の御歸鮮に依つて御結婚當時の御歡びを一層深からしむるは勿論一方より以上内鮮融和の範をお示しに相成る譯である吾々は此の兩殿下の御示範をば決して無駄に終らせないやうに努めなければならぬ

是れ空前の盛事
御慈愛に在はす王世子妃殿下 上林李王職次官談

今回王世子同妃兩殿下並に晉殿下御歸鮮遊ばさるゝは王家のため一般民のため洵に喜ばしい事である昌德宮李王殿下は晉殿下御誕生あらせられしより百日以後には直御歸鮮あるならんとお待ち詫びであつたが事情は斯くあるを許さず御誕生九ヶ月の後遂に今回三殿下お揃ひにて御歸鮮あらせらるゝ事となつたのである、三殿下今回の御歸鮮については李王殿下同妃殿下の御悅びは如何ばかりであらうか拜察するに餘りある次第である、尙世子妃殿下には淑順柔和の德を愛に在はし人をして敬慕の情を禁ぜざらしむるものあり而も物事に御綿密にあらせらるゝと拜承す今回の如き三殿下御同列御歸鮮の盛事は空前に屬する事で吾々は滿腔の喜びを以て奉迎する次第である

奉迎の慶び限りなし
有賀殖銀頭取談

王世子殿下には此のたび妃殿下並に御令嗣晉殿下御同列にて朝鮮に御歸省相成り親しく李王殿下並に妃殿下に見え給ひ、諸の典禮を執り行はせられ、且多數官民に謁を賜ふことゝなり、一路平安御入城に際し、我等茲に手を額にして迎へ奉り感慨禁ずべからず喜悅限りなきものがある。王世子殿下が明治四十年の冬未だ御年齡十一歳にして東京に御留學相成りてより星霜早くも十有五年を閱した。其間明治天皇の御優渥なる御親遇と、今上陛下の御慈惠なる扶掖の下に成人あらせられ、且つ故伊藤公其他名臣賢者の御薰陶により英明の御天資愈々勝れさせられ今や遁れなる李王家の元儲としての御發達なる御風采を以て朝鮮に御歸省あらせられ、同時に一昨大正九年の御嘉婚の方子女王殿下並に王孫晉殿下を初めて御伴はせらるゝこと、相成りしは、朝鮮として洵に新なる歷史であつて、李王殿下並に妃殿下の御滿悅は申すまでもなく、一千七百萬民衆の喜びや例ふべくもないのである。時しも陽春百花を競ふの時、殿下御一行を迎へ奉り半島の山河光輝に滿ちると申すべきである。今回の御歸鮮は其の意義に大なるものがあり種々の意味に於て慶祝すべきであるが、今は感想を列ぬるの遑なく衷心の歡喜を以て奉迎の至情を披瀝し、李王家の御長榮を頌祝する次第である。

東西南北

▲トロツキー日本を罵倒 トロツキーはイツヴエスチヤ紙に『ゼノア及び浦鹽に於ける日本』と題する記事を寄掲し、日本はゼノア會議に臨んで世界平和の確立に努力してゐるが極東に於ては山賊に等しい態度を續け、極東をして無政府狀態に化せしめ又支那に對しても常に侵略的態度でゐると盛んに日本を罵倒してゐる

▲極東赤化と西伯利 勞農露西亞の赤化團の我國に於ける活動は表面停止したやうな觀を呈してゐるが事實は之と正反對に其潛勢力を一層强くしてゐる、即ち東京と大連とに本部を置き普選運動、軍備縮小其他の政治方面を益々紛擾せしむると共に一方日本の米の買占めを敢行して物價騰上策を講じ經濟的に人心を攪亂せんとし既に神戶に於ける某大商會に巨萬の資本金を供給した形跡がある

▲官吏の總罷業 支那では中央政府の財政枯渴してゐる爲め財政部員にすら俸給の不拂が四ヶ月に及したので代理總理に交涉したが要領を得ないので各部の官吏は十五日から一齊に同盟罷業を開始した

▲北京の恐慌 時局切迫の報に連れて北京の人心頗る恐慌を來し十四五日頃から交通銀行の紙幣は流通困難となり中國銀行の紙幣も亦十七日から流通不完全となつた、在留歐米人は神經過敏となつて萬一を慮つて食料を買込んでゐる

▲玄米と白米 白米より玄米の方がよいとか或は半搗米の方がよいといふ事は十年以前から唱へられて今日では殆ど誰一人として之を疑ふ者がない程になつてゐるが佐伯博士を所長とする榮養研究所の研究によると未だ決定的に斷言する事は出來ないが白米の方がよさゝうである

奉迎 李王世子垠殿下
本店 東京 支店 大阪、京城、奉天、天津、上海 出張所 京城南大門通二丁目 株式會社 大倉洋紙店 京城出張所 電話四九〇番

綿糸布商 京城本町二丁目十番地 宮林泰次商店 電話二一六〇・三四九五番

京城黃金町三丁目 京城自動車講習所

京城煉瓦共同販賣所 京城南大門通ファミリーホテル内 電話三一六一番

豐國セメント株式會社 京城出張所 主任 吉川宇造 京城南大門通五丁目 電話長六四七番

印刷製本 和洋紙販賣 京城南大門五丁目 土佐紙株式會社 京城支店 電話長三五九番 振替京城八五九番
釜山埋立新町 同 荷捌所 電話長四二〇・二七〇番 電略(ト)サ

京城本町二丁目 向井鞄店 電話二四八四番

旅行用大鞄及手提鞄 各種製造販賣 高木鞄店 京城本町一丁目 電話二五一四番 二三六番 振替京城三一三四番

朝鮮各道特産物販賣 京城南大門通三丁目九七 富田商會 小倉部 京城本町二丁目 長電話三三〇九番 富田出張店 電話長五五四番

西洋雜貨 絹物毛織類 販賣 同順泰 京城黃金町二丁目九番地 電話二〇二三番

龍山工作株式會社 第二工場 京城府漢江通七番地 電話四六二・一八三番 電話四六八番

工業用 醫療用 酸素瓦斯製造販賣 朝鮮酸素合資會社 朝鮮京城府龍山漢江通十五番地 電話龍山長八〇二番

京城本町二丁目 窪田醫療器械舖 電話長一八〇一番 振替京城四〇二一番

ゼノア會議失敗
歐洲復興は第二
犠牲的問題不進捗

【倫敦電報】ゼノアよりの報道は特別の意見を述ぶるために送られるか或は偏見より出でし報道等にして殆ど凡てが矛盾撞着し居る有樣なれば會議に於てはゼノア會議の眞の形勢を知る事絶望なり今やゼノアには世界的論議の一大勝負行はれ歐洲恢復の如きは第二段の問題となり居れるは事實なり各國代表中には先づ以て自國の有利なる事柄を取極める事に浮身を窶し居るものあり之がため犠牲的精神に出づべき事柄は一向に進捗せず今やゼノア會議は濁流に浸たされ居れり佛の露獨條約についての佛國政府は同條約を以て不合法なりと宣言し英國首相ロイドジョーヂ氏は同問題は既に片がつきたりと聲明し奇妙なるコントラストを呈し居れり英國に於ける論者は露獨條約を締結するに至りし事情を遺憾とし居れるが條約其のものは排斥し居らず

佛、露獨回答に抗議

【ゼノア電報】佛全權バルツウ氏は聯合國の通牒に對する獨逸の回答に抗議し獨逸は虚言を弄ぶと信じ更に負債を承認すと言ふ露國の覺書にも文句をつけ物情甚だ穩かならず

露、法王と條約締結說

【倫敦電報】羅馬法王と露國との間に一條約締結せられんとするものゝ如く羅馬聖教徒及びブンシヌ教徒の露國入國を許可することを規定しありと

ハバロフスク排日運動

【敦賀電報】最近ハバロフスクに排日示威運動行はれ群衆は日本國旗の撤去を迫り特務艦乘組の樋口大尉は頗る激昂せるが群衆の包圍を受けて一時危險に瀕したるが後難を恐れる露國官憲の擁護にて事なきを得たりとの報あり

奉直兩軍前哨衝突
暫く砲火を交へたる後退却

【北京電報】京奉線の廊坊より前進せし奉天軍の前哨部隊は固定點にて直隷軍の前哨部隊と衝突し暫らく砲火を交へたる後双方とも退却せり

時局は急轉直下せん

【北京電報】奉直の危機は間一髪の中にあり調停者の運動最も猛烈を極むるにも拘らず曹錕氏は病氣を名として天津行を拒絶したることに依り一縷の望みも消えたり是に於てか徐總統は最後の決心を以て三巡閲使を勸告に加へたり然れども徐總統の勸告に依る調停者の運動が効を奏するか否かは頗る疑問急轉直下時局は爰に展開を見る模樣なり

奉直調停終に失敗

【北京電報】京漢線は二十四日朝より全部不通となれり目下開通の見込なく奉直衝突の結果か否かは不明なるが調停も失敗に歸せり

徐總統最後の決心

【北京電報】奉直兩者間風雲益々急なるを以て徐總統は最後の決心を固め調停が全部無効とならば辭職を決行すべく之と同時に中外に向つて奉直戰爭の爲め若し外交上の重大事件發生するも決して其の責任を負はざることを宣言すべし而して徐總統は其前提として二十四日外國公使を總統府に招じ自己の立場を詳述し豫め外交團の調停を求むるの希望を以て二十三日外交團に招待狀を發したり

徐孫兩氏間密約成る

【上海電報】徐樹錚氏と孫文氏の北伐軍とは(一)先づ江西を攻め(二)徐氏は軍費百萬圓を補助すること(二)李烈鈞氏を總督軍とするの密約を締べり

江蘇督軍南京に援軍依賴

【南京電報】江蘇督軍沈光遠氏は廣東北伐軍に對する省境の派兵援助を南京の督軍に電請せり

露獨回答と聯合國側意嚮

ゼノア會議出席の全聯合國全權がラパロに於て露獨條約を締結し露獨兩國の聯合國側の憤怒を招き聯合國側の對露獨共同通告となり形勢頓に危險の傾向を呈するに至つたが右の聯合通告に對する獨國の回答及び露國政府の債務承認に關する勞農政府の意嚮通告の趣意如何は最も注意されたが聯合國側からは條件附で政府の債務承認の旨獨逸側から獨露條約破棄に不同意の旨夫々通した右兩國の

回答內容は 未だ詳細を確めせぬが露國の承認は同國のゼノア會議參加條件の一項でこれに對し該政府は勞農政府で露政府の侵略行動の債務を承認する代りに白衛軍の侵略行動の爲め露國が蒙つた損害賠償を(該軍援助の聯合國に)要求すると云ふ態度を明かにして居つたのであるから條件付とは之の意味に外なるまい而して聯合國側では強硬な佛國は別として露國をして永く現狀を繼續せしめ

歐洲復興の 阻害たらしむるよりは若干聯合國側で露國に讓る方が望ましいとの立場から戰時中の對露債權の一部放棄の意嚮を仄めかしてる程であるから露國債務承認問題は露國側より交換的條件を提出した事により寧ろ解決を困難ならしむるものとは察せられない又獨國の露獨條約破棄不同意の回答は強硬派の失望するものであるが併し之が爲め同問題の局面を全く

行詰まらし むるものとも思はれぬと云ふのは元來露獨條約成立の報に接し十七日ゼノア會議議長たる伊國首相ファクタ氏官邸で五大國會議を開き其の結果其の翌日更に小協商國等を加へ聯合國側の對策を攻究した際佛國及び小協商國方面に猛烈な激昂が示されたが會議の中心たる英國首相は勿論伊國首相は會議招請者たる地位より聯合國內部に於ける激昂緩和乃至調停的態度に出で對外聯合通牒の如きも

其の斡旋に より孰れかと云へば穩健妥當なる辭句を以て認められたのである聯合國內部に於ける對露獨條約反感は要するに露獨に先んぜられたのを不快とし又該條約が同盟乃至之れに類似の功果を伴ふ事を恐るゝに外ならぬ從つて締結者たる露獨兩國に對する態度なりといふに露國政府としては已むを得ぬ處だから唯獨逸が之に應ずるのは不都合であるとして獨逸のみを責め

露國の責任 は不問に附する傾きに在る之れに對し露獨側では露獨條約は決してゼノア會議を裏切るものでなく寧ろ其の目的を助成するものであるとして該條約をゼノア會議の審議に附するに同意を表してる獨逸側の同問題に對する態度はと云ふに極めて控目で獨國の評論界も極めて遠慮勝の態度を示してる右側に於て同政府が遣り過ぎたとの譏を責むる聲ある外大體に於て政府の

遣口に贊成 を表してる又ゼノアに於ては獨逸の經濟的復活上之以外途なく從つて歐洲諸國としても其の復興の一必要條件たる獨國の經濟復興に資する該條約に異議を云ふべき理由あるまいと云ふ如き辯解に努めてる之れを要するに露獨側は案外に安心的態度に在る一方に於て之を脅迫し過ぎ兩國脫退の形勢ともならば此處に歐派兩分の局面を生じゼノア會議開催の目的も全く失敗に終る事情もあり勞々形勢漸次緩和さるゝに至らうと觀測される(東京)

第二艦隊第六戰隊廢止

海軍縮小の結果海軍第二艦隊は廢止せられ第六戰隊少將竹內重利氏は二十七日付を以て待命仰付けられたり

師團出發

西伯利派遣軍第十一師團と交代すべき第八師團將校十七名兵卒六十五名は廿六日正午御用船石丸にて浦鹽へ向ふべしと

支那內亂經緯(三)

作戰

支那の戰爭では兵數は當にならない今日一萬あつても明日は一萬五千にも七千にもなるのである從つて戰局に關する者は主として總統の度、士氣及作戰であるが今度の戰爭では北京に在る曹錕の直系第一師第九師第十三師の直系軍統轄下の向背も大に影響する。而して此三師が又今の所稍多く直隷軍に好感を持つて居るが旗色次第で何れへ隣くか分らない一團であるので直隷軍としては何等かの受動的口實を設けて第三師及び京漢線を北上しつゝある廿四師と合して先づ趙倜を粉碎し直に濟南に長驅して石家莊の三師と天津馬廠軍の正面及び側面を攻擊し他方保定軍を以て北京通州附近の敵を擊破して天津軍の背後を脅威するを以て最も有效な策とする然るに今日迄の行動に見るに洛陽軍を石家莊に集中し北上しつゝある二十四師をも等しく石家莊に集中せんとしつゝある模樣で其志す所は北京保定の間若くば北京天津間に戰ひを求めるに在るらしい

策動

奉派の作戰は之に反し遠く南方の孫陳と相策應して呉軍を挾擊しやうとなし北京保定の間德州石家莊の間に兵力を集中し張店の田中玉を側面より牽制し其內に北京奉天馬廠の間に云ふ大略に於いて趙倜をして洛陽軍を戰ひを求め北京軍を手中に收め張家口の張景惠と合して保定から一文字に南下するのが先づ普通の考へ得られる作戰である然し乍ら一方では趙倜は既に三十萬元を送つて呉に降つたと云ふから洛陽軍牽制の策は先づ怪しいが他方に呉も濟南へは向はない模樣だし北京の東側には既に奉天軍が來てゐるから兩軍の第一の作戰は既に望みがない者となつた其處で孫軍の策動であるが最初桂林から衡直岳州に向ふ豫定であつたが最近作戰を變じて陳炯明は單に大本營を韶州に移すと稱し一般には道路險阻戰備不成を口實とし其の實は人員及兵力不足せる所より又一つには陳の態度の動もすれば疑はしい所から之を手裏に確實に收め李福林と合し湖南戰線(趙恒惕)と併せて一方は岳州へ他方は南昌へ北上する模樣で既に李烈鈞は梧州に著した樣である爲之が孫と其關係に第一の部下である陳炯明とは其關係を一層惡化した然乍ら陳炯明の居る林、廣州から惠州迄は約一二師團乃至要するし且つ孫陳李福林等の所謂北伐派の兵力は合計七萬と稱してゐるが實際は三萬であらうと云はれてゐる從つて完全に北上した所で僅かあるし到底的勝利を得る事は出來ない張孫策動の主旨は結構であるが聊か長驅馬廠に及ばずの感がある以上支那人もかなり良く見ての觀測である然し歷史に見る時は假令戰爭をするにしても還遊はしてゐるが迄一週間や十日では開戰を見ないであらうと云はれてゐる又假に戰爭が始まつても『十數萬會戰、激戰數旅、死傷數に十數人』と云ふ新年と大した變りはなからうと云ふ事である

御救恤金下賜

去月二十三日廣東省北道東海岸に於ける暴風に際し漁船乘組員遭難の趣き天聽に達し天皇皇后兩陛下より御救恤として金三百圓特に御下賜相成る旨二十四日御沙汰ありたり

朝鮮民曆發賣規程中改正

二十五日總督府令を以て朝鮮民曆發賣規程中左の通り改正即日實施の旨發布せらるゝ筈

第三條の二、元賣捌人及小賣人は其道以外に朝鮮民曆を販賣する事を得ず但し朝鮮總督の承認を得たるときは此限にあらず

第十一條に左の二項を加ふ

朝鮮民曆の發賣に關し朝鮮總督に於て元賣捌人を不適當と認めるとき亦前項に同じ

第十二條、第三條の二又は第八條を指定の取消に因り元賣捌人に損害を生ずる事あるも政府は其賠償の責に任ぜず

第十二條、第三條の二又は第八條第三項の規定に違背したる者は科料に處す

財界悲觀を要せず
朝鮮銀行總裁 美濃部俊吉氏談

經濟界が世界的大動搖を來せし以來既に二年餘り整理の事業はまだ完成せざる折柄外國貿易は依然巨額の入超を續け其結果金融の硬塞を招きて本年二月末以來株式市價の暴落となり一般の人氣を

益々險惡 ならしめて居る併し財界整理の中道に於て株式市場が時々動搖を來すは已むを得ざる所で昨今の悲觀人氣を見て直に財界の根柢に動搖を生ずる惡材料の發生したものと思ふのは漸に早計に失するのである成る程本年一月後の入超額が多大なりしは何人も意外とする所であるが是迄貿易表に現はれて居る輸入品は昨年冬より本年一月二月頃に亘りて注文した物品が到着したもので三月後に於て新規注文の輸入品は減少して居る筈である而して輸入品の內容を點檢するに棉花、羊毛、砂糖、米、鐵類機械類等必需品又は

原料品か 多い是等の原料品は輸出國に於ても漸騰の傾向に轉ぜるものが多いのみならず最近英米獨等相場の回復に依り今後の輸入を困難ならしめ居るから一月後の輸入增加を以て一概に悲觀すべきではない輸入して輸出貿易を見れば東洋方面では支那印度南洋各地の購買力が增加しないのに我商品が高價であるから此方面に對する發展を期待し得ないとするも歐米經濟界が漸次回復に向つて居り生絲の需要も增加する傾向があつて今後の

輸出貿易 が此上不況に陷る懸念も少い而して貿易が常調に向へば正貨が急減する憂ひはなくなり貿易上金融市場の受くる壓迫は緩減される加之近來英米金融市場は緩漫の度を高めて居るのに內地の金融が此上緊縮するときは外資の輸入を招く希望もありされば金融が漸次益々緩慢し經濟界を混亂せしむるが如き事は全く杞憂に過ぎないであらうと思ふ然るに人心が不安に傾いて居るのは財界の整理が充分に遂行せられざるに

一般浪費 の風が全く衰滅しない高價なる物資に對しても相當の需要あり又一般生產費が毫も低減しない爲海外市場に於ける我製品の需要を減少すると共に內地市場に於ても海外製品の競爭に堪へずして萎縮する憂ひを生じて居るからである即ち今後經濟界の健實なる回復を謀る爲には國民の消費を節約すると共に生產費の低減を謀らねばならぬのであるが第一は先づ政府が行政整理を斷行して經費を收縮し一般國民に消費節約の急務なる範を示し第二に

勞働賃銀 を適度に引下げ且つ事業と金融の聯絡を緊接にし健實なる事業に低利の資金を供給する途を開き第三に事業の改善を行ふことが急務である就中我國にて事業と金融の聯絡が完全でない爲め金融業者は技術上經營上の事業の良否を鑑別せずして急に貸金の回收を圖り少しく金融が逼迫すれば事業の經營は困難となり又金融が少しく緩慢であれば忽ち貸付を開放して

投機思想 を增長する弊習がある要するに我經濟界は目下整理の中道にあつて其完全なる回復を見るには前途幾多の曲折があることと思はれる

都市研究幹事會
府廳舍新築意見交換

京城都市研究會にては廿四日午後三時より商業會議所に於て幹事會を開催したるが出席者吉松副會長外七名にして主として多年の懸案たる京城府廳舍新築に關する件に付協議せるが同廳舍の敷地は少くとも三百萬圓を要すると新廳舍の位置を現在の廳舍の敷地とするか又は他に適地を求むるか都市計畫上極めて重大なる關係を有するを以て同日は單に意見の交換に止め來る五月一日協議會を開き充分協議研究したる上其具體案を決定し當局に建議すべしとの事に決定し午後七時散會したるが當日は尙此の外にも數項の重要問題提出されたるが是亦總て五月一日の協議會に於て協議することゝなりたり

北海道產よりも朝鮮の天然氷が良質
周防京畿道衛生課長視察談

京畿道衛生課長周防正季氏は此程來衛生事務視察の爲め內地各府縣へ出張中の處其任務を終へ二十三日歸任せるが內地天然氷に就て語つて曰く北海道の札幌と朝鮮の京城とは氣候風土から山の具合まで相似て居る只朝鮮は北海道よりも雪が少い而して北海道は朝鮮よりも寒い時期が長く十二月から翌年四月中旬までは氷を見ることが出來ない氣温には差がなくても寒さを感ずる時期は北海道に於けるよりも長いそこで

天然氷の狀況 を見るに從來は東北地方から東京を止めとして送り出して來たのが近年では魚類の冷藏用として遠く山陽方面から九州まで送り出して來る樣になつた此爲めに朝鮮から送り込む天然氷と種々の問題を惹き起す樣になつて來た斯くなると自然兩者に對する品質上の比較が起つて來る今其採取する方法を比較して見ると朝鮮では川の流れを取除いて直接川から取るが北海道では一の川或は池からセメント造りの水溜の中へ水を引入れて其れを凍結して氷にして居る然しセメントは凍結し易いから自然の池と少しも異らないそこで函館の五稜郭の堀から取るのが有名であるところが此天然氷は濠渫は行つて居るが除り十分には行かないから自然

不淨物の混入 は免れないそこになると朝鮮の方が遙かによりも餘程良質である大正九年には長崎で朝鮮天然氷の陸揚げを止められたけれども十年には幸ひにして左程ではなかつたが兎に角北海道の天然氷と朝鮮の方が發達して內地に打勝つことを豫想し得る總てに於て內地に勝るとも決して劣りはない只注意すべきは上層にたまる砂を除去することに努力しなければならない一事であると云々

軍團隊長會議

朝鮮軍にては來る五月六日午前九時より管內各團隊長を召集し同部隊上司令部にありて同月七日午前九時に於て會議を開催すべく又第二十師團より管下聯隊長會議を開くべしと

土木所長會議

總督府にては五月十日より四日間の豫定を以て土木部出張所長並に各道

局部長會議

總督府にては二十五日午後三時より同府第一會議室に於て總督總監列席の下に局部長會議を開催し王世子殿下御歸省に關する件其他種々打合せする所ありたり

高普師範設立認可

二十五日總督府官報を以て公州公立高等普通學校を認可の件及忠淸南道公立師範學校設立認可の件告示せらるゝ筈

檢疫生牛受託停止

京畿道警察部衛生課にては釜山鐵道檢疫所內に牛疫發生につき其筋よりの注意により二十五日より向ふ三週間同驛受託生牛の受託を停止することに決せり

佐靑電線修理完了

本月中旬以來不通なりし佐世保、靑島間電信線は去る二十一日午後零時四十分修理完了せるを以て從來滿洲方面を迂回したる靑島方面への電報は今後迅速を見るに至るべし

龍山借地人組合總會

龍山借地人組合にては來る二十八日午後二時より三角公園町集會所に於て總會を開き多年の懸案たる敷地拂下問題を討議決定すべし

商議評議員會

京城商業會議所にては二十五日午後一時より評議員會を開催し李王世子殿下上京に付協議したり

長崎教育視察團

長崎縣島中學校長堀池行藏氏外三氏(農學校長、女學校長、師範學校長)は今回縣命に依り鮮滿支の教育狀況視察のため來る二十七日長崎出發、路上海に赴き夫れより漢口、北京、南島、滿洲を經て五月二十五日京城着の豫定なりと

人事消息

▲赤松繁夫氏(群山商議會頭) 二十四日入城二十六日退城
▲田中環氏(高普校長) 二十五日朝入城浦尾旅館へ
▲德羅南靈兵大佐 二十五日朝退城
▲木佐木海軍機關中將 二十五日朝退城
▲佐藤政治郎氏(群山學校組合會議員) 二十四日入城二十六日退城
▲松前善九郎氏(群山學校組合會議員) 同上
▲三木芳太郎氏(群山實業家) 同上
▲本田建義氏(本田病院長) 二十四日內地より歸城

勞農露國近情(八)
在哈爾賓 ウォンフーウヰッチ氏(寄)
莫斯科

この家には今では『高級特務委員部』委員や其他の者が住んでゐる是も矢張り以前は旅館メトロポールの建物であつたのであることもハリコフ同樣に共同の舍宅ではあるが流石住んでる人々がそれぞれ教養のある人ばかりで、革命前の清潔さや立派さや設備の完全は缺いでゐるけれども兎も角住み心持ち好く維持されてゐる、是は現今の露國では珍しい例外であつてハリコフやオデッサやキエフ諸市の共同舍宅とは到底比較にはならないのである

停車場から此舍宅まで馬車賃が四萬留であつた、この馬車屋から聞くと莫斯科人は自由商業が許可されて今は大喜びである、今後益々此種の改革の行はれん事を熱望してゐるといふ事であつた

『政府でも變つたら今より善くなると思ふのか』

と私がきいたら

『ソウですね、今より惡くなりつこはありますまい』

と答へた

『人民は何んな政府を望んでゐるか』と問くと『いろ〳〵な考へがある樣です』と極めて不得要領な返事をした

莫斯科の外觀は他の何の都市よりも良い、市街はちやんと掃除められてゐる、電車も動いてゐる(電車賃片道二千留)裸足の通行人は多くない、歩いてゐる人々も智識階級らしい者が多い、行き交ふ人々の挨拶も戰前同樣の慇懃さを示してゐる少くとも他處で見るやうな『僚友』諸君の粗暴や不作法は滅多に見當らない小術や以前からの商店で食物類は賣つてゐるが雜貨類や化粧品の類などは見當らぬ職人が手工的に靴下などを編んだりシャツ類を小規模に作つてゐる、靴屋は主に短靴を拵へて賣つてゐる皮が少いので深靴は出來ないのである、玩具なども手工的に作つてゐるだけである、露國藥街の大商店はスッカリ無くなつてゐる。

兎も角大貨物といふものは全くない、特務委員の沒收を恐れてゐるので市街にある多くの乳製品や嗜好品の類も相當にある帝政時代と同じ菓子が一個五千留、牛乳一杯が二千留、珈琲一杯が二千五百乃至三千留である物價は枕檢鄰販とを除けばハリコフより安い

夜は市街にも燈火は極めて尠いだから往來は隨分暗い、然し屋內には大抵の所に電燈が點いてゐる水道も下水も止つてはゐない然し家々の周圍は相變らず汚い掃除が少しも行き屆いていないからである

私は莫斯科で一人の文學批評家と一人の大學教授とに會つた私はこの二人と話して稍々に逢つたやうな蘇生の思ひがした中央政界では既に共產主義の政策の行き詰りを自認してその經濟政策の根本的變革を研究してゐるといふことである共產主義政策の撤廢とソヴィエット政府の崩壞とは國民の全體の疑はない所である唯如何なる形で實行されるかと云ふ事が問題となつて居るだけである多數の人々は武力革命による政權の移動は信じて居ない現今露國內には武力によつて現政府を倒し得る程の有力なる黨がないからである多數の人々は變革は平和手段によつて行はれるだらうと思つてゐる過激派は所謂自ら政權を投げ出して勇退する外はないと信じてゐるのである

產婦人科 小兒科 文醫 遠山醫院 京城永樂町二丁目交番所前 長電話本局一六三四

蛇頭石
避暑地にもお宅でも
お一人一個で充分です
總て夏の毒虫の害には
一個三十錢
說明書進呈
本店 京都寺町 鳩居堂 支店 東京銀座

渡邊霞亭著 (四六判函入 口繪顏優美・定價二圓 送料八錢)
(版五) 千鳥ヶ淵
色と戀とこれに誘惑されたる薄倖の美人との慘ましく悲しき戀を描く、波瀾曲折讀むものをして思はず泣かしむる大傑作なり。

佐藤紅綠著 (四六判函入 口繪顏美麗・定價二圓五十錢 送料八錢)
(版五) 春の流
相思相愛の若き男女が幾多の障害を排して愛の勝利を得るまでの堂々六百頁に亘る戀愛小說にして著者會心の傑作たり。

佐藤紅綠著 (四六判函入 口繪顏美麗・定價二圓五十錢 送料八錢)
(版四) 紅椿
華族の一人息子と貧家の少女との烈火の如き戀を中心に幾多の怪人物をからませ古來の因襲に苦鬪する等波瀾重疊の快著。

本田美禪著 (四六判函入 口繪顏麗・定價一圓九十錢 送料八錢)
(版再) 八百屋の娘
八百屋の娘が將軍の兒出しに預つて中臈に出世する迄のいきさつを中心に禁裏錯雜を極めし德川女人國の戀愛生活を描ける小說也

岡本靈華著 (四六判函入 口繪顏麗・定價二圓五十錢 送料八錢)
(版再) 銀鈴
父の犠牲となりて愛人を捨て、思はぬ人に嫁したる美人に纏はる幾多の悲劇を描ける家庭小說謠篇。豔かにして描字深刻を極む。

平井晩村著 (四六判美本 口繪顏美麗・定價二圓 送料八錢)
(版再) 天婦雛
縮緬の小紫短、利久の眼外二十數貫、寔に嫋々と鳴る一曲の珠玉の如し。一般子女の寶物として登上の好讀物たり。

武田仰天子著 (四六判函入 口繪顏美麗・定價一圓廿錢 送料八錢)
(版三) 天晴才次
二人の美女より慕ひ慕はれし才次の一代記にして出色ある俠客傳と云ふべく新講談として俠客の價値ある快著。

小橋梅夜著 (四六判函入 挿繪數枚入・定價一圓六十錢 送料八錢)
(版三) 五九郎劇集 百圓紙幣
天下獨步の五九郎喜劇の脚本集にして好評高き『百圓紙幣』以下數篇の庭より笑ひ倒ふれんとする者須らく來書に來れ。

筑波四郎著 (四六判美本 挿繪十數枚・定價二圓 送料八錢)
(版五) 探偵十種
殺人鬼、ピストル强盜、美人の批探し、女軍事探偵等近世探偵實話十種奇怪壯絕鬼氣溢り一讀戰慄すべき探偵物語りなり。

發行所 東京市本郷區駒込坂下町四八 (振替口座東京六六二九) 講談社

お迷ひなく 懷中藥は
寶丹
にお決めなさい
消化力……
殺菌力……
藥效……
を完備した代表的懷中藥は是一つ

模範的懷中藥は寶丹唯一つ
彼の一時的流行の懷中藥と異り寶丹には治病上最も有效な數種の貴重藥品が配合され且つ强度の殺菌力を具備して居りますから旅行遠足や家庭執務の際常用すれば健胃整腸頭痛を鎭靜し精神を爽快ならしめ四季の流行病を完全に豫防するの偉效があります。

主效
●氣付、毒消 ●食傷、水あたり ●中暑、日射病 ●過飲、過食 ●消化不良 ●下痢、腹痛 ●船車、酒の醉 ●頭痛、眩暈 ●惡疫豫防

定價 金十錢、金廿錢、金卅錢、金五十錢、金壹圓、金貳圓、金五十錢以上に寶丹匙添附
本店 東京下谷池之端仲町二七 振替東京二九八五番
支店 大阪市東區平野町一ノ四 振替大阪五七七三九
守田治兵衞
全國有名各藥店にあり

京日案內

農場 湖南線其大驛所在地二十二町歩其他二十三百坪…石畓二千三百坪 京城平洞十二番地 急希望者は御方迄 提 社

賣地 京城府之町三丁目二番地 武橋四郎上地 及物件京城上參式參部 大邱府元町一番地 東洋拓殖株式會社

賣地 大邱府元町四坪地上建物一切賣却 坪數壹〇五 東洋拓殖株式會社

賣地 平壤府橋口町八二番地 大邱府東本町六二番地 坪數參〇式坪地上建物 東洋拓殖株式會社

貸家 西大門停留場より北約 洋館二階建 煖房完備 水道浴 右問合所 安井

ほねつぎ くうにちみき 一切の治療御依頼に應ず 京城明治町二丁目 術道崔

古本 無比高價買入 是非御試賣を乞ふ 御報次第即刻參上仕る可く 京城本町二丁目五番 電話九七一 常盤

賃貸 十二封度レール 岩田留補商店

募集 小店員數名年齡十四五歲ヨリ二十歲迄 希望ノ者ハ履歷書携帶本人來談アレ(內地人ニ限リ) 本町一丁目 電話四八三番 ますや呉服店

採用 集金人一名年齡三十歲以上 志望者は本人自筆履歷書を添へ來談あれ 京城黃金町一丁目 電話本局一三〇八 秀文社 米田印刷所

貸家 光化門通大廣場角 希望の方は午前九時より正午迄 御來談あり 光化門通二一〇 竹內

募集 自轉車に經驗ある外交員 入用希望者は本人來談あれ 京城南米倉町 電話二七一一番 江草鐵工場

入用 男一名年齡三十歲以上 希望者は本人來談あれ 京城新町 朝日 電話一七〇九番

店員 外勤內勤數名將來當支店主たらんとする志望ある十四五歲以上二十五歲迄の青年を望む 保證有本人來談 附月東洞 出町(電二八七〇) 木村屋

宮內省御用達
水道衛生暖房工事設計請負
須賀商會京城支店
京城大漢門前 電話一八三五番
本支店所在地 東京 大阪 神戶 京都 名古屋 博多 大連 青島 臺北

强胃消化錠 マーゲン

夏服地各種荷揃 平壤旭町 丁子屋洋服店 電話長二七番 振替京城三二番五二

[illegible]

奉票暴落に就て

【奉天】奉天票の暴落に就ては既報の通りであるが支那官憲では此の儘に推移したならば殆ど其の底止する處を知らずと迄は行かなくつても百六七十弗を見せるは何人も豫想に難くない處であるので二十一日に
一、交易所に於ける一日の取引高五十萬を超えざる事
二、奉票對大洋銀の交換率は百五十元を超えざる事
三、奉票對金票の交換率は百三十八元を超えざる事
四、奉票對硬貨の交換を停止す
とのお布令が出た斯の如きお布令今日迄も行はれて支那は到底邦人の豫想では解釋の出來ない處であると云はねばならぬ殊に交易所に於ける十九日の殘玉は三百五十萬元に達して居たので是を二十五日限りの其の日迄に仲買人をして解合をせしめ以て市場の整理をなす目的を以て毎日の取引高を五十萬元と制限したので此の整理さへ豫定通りに解決すれば二十六日からは以前同様に復活せしむるものであると稱してるが果して其の際豫定通りに行くか否か又奉票對金票の交換率を百三十八毛を超ゆる事が出來ないなどゝ云ふては居るが官銀號の如きは時局の前途を遠慮し百三十一元位の處を奉天関係等でシコタマ買込んで居たのを百三十六元位から百四十六元の間で處分したので其の利益と云ふものは甚大なものであら是から先づ時局問題が豫想の通り側の持久戰に入るとすれば之に類似した手は屡々繰返され張使の軍費は調達される事と覺悟して居なければなるまいそれにしても此の際硬貨を持たず又其の機微を觀ふ事の容易でない邦人は此の邊の事情を十分に考察してかゝらないと實際に邦人の頭痛に踏み拔きをする様な目に遭はぬとも限られないだらう要するに今回奉票の下落と云ふものは其の原因は何も奉直開戰の噂は奉天軍に勝味が無いとか或は既に勝敗の數は歴然として見て崩落したのだと云ふのではなく十萬の大軍入關し其費用が悉く硬貨で奉票の通用區域外の事であるから日頃から不換紙幣に等しいものと見られて居たのが愈々其の基礎が薄弱となつたので此の崩落を演じた譯だから或は臨戰地域に於ける戰機が如何に動くか其の動き様次第では更に又一段の崩落を見るかも知れず又反對に大に反撥して來るかも豫想の限りではない張使の頭腦は随分と各方面に極めて鋭敏に且つ微妙に働くから奉票の通用區域の如きも或は此の際大に擴大されて來るかも知れない是又大に注目に値する處だらう

女の小手先で一日 煙草箱七千二百
一日の製造能率百八十萬本
專賣局平壤支局長 美座流石氏談

【平壤】總督府專賣局平壤支局の近況に就き美座支局長は語りて曰く
▲當支局管内から産出する煙草は平安南道成川地方の十二萬貫、瑞興金川平山にかけての二萬貫、黄海道谷山の二萬貫は輸出用としてその中谷山の二萬貫は輸出用として契約濟となつてゐる。勿論政府の許可を受け、自家用として一戸三十坪を制限し
▲煙草を耕作 してゐるものは到る處にある。又當支局で製造してゐる煙草はメープル一種に限られてゐるが近くマコーをも製造販賣の企圖を有してゐる。メープルの材料は主として忠州の黄色葉に山東省の米葉本國の米葉それに朝鮮で出來る内地種を巧にコンビネーションして製造してゐる、斯の如く各種の煙草を調合する譯は味を美くし香氣を保たしめ切口を鮮麗ならしめ灰の色をよくし火付を容易くする爲めと、如何に朝鮮種を調合すればよくなるかと試めたのである。目下メープル一日の製造高は約百八十萬本で四月十一日の實蹟に依れば百九十二萬本出來上がつてゐる。これに對し
▲木箱八十梱 を要する譯である。現在職工數は約二百六十人で十一日の出勤者は二百廿八名であるから欠勤の歩合は約一歩に當る、機械は卷煙五臺包裝六臺合計十一臺を運轉し一日の勞働時間は十時間と定めてゐる一臺のボンサックが一日運轉すると十八萬本内外の煙草が出來る譯である、職工は少年少女の幼年工が最初見習ひで勞金二十錢から熟練したのになると一日二圓五十錢位稼ぐのもある、職工は大抵朝鮮人で、一日平均の勞金八九十錢になる。從來東亞煙草會社時代には醫務室も無く食堂も設けられてゐなかつたが當支局の經營に移てから、食堂を設け湯茶の準備をし
▲更に醫務室 を設け毎日嘱託醫院から醫官の出張を仰いで診察を願つてゐる、又仕事を終つて歸る時には毎日入浴せしめてゐるが、總て彼等に對する種々の慰問方法を講じたいと計畫してゐる、斯うした煙草の製造に從事する職工は男性よりも女性の方が小手先が利いて器用であるから、職女工にしたいと思つてゐるが、現在の狀態では急に出來がたい、然し男工と云ふ二十一才の女工は煙草の包裝を張るに一日七千二百個は易々たるもので其の巧な指の働きには何れも驚異の眼を瞠かせてゐる、千個張ると十五錢になるのだから七千個で九十一錢となる譯だ、女で一日一圓の收入は朝鮮の女工としては優秀なものである。

高女 敷地實地踏査

【大田】大田高等女學校敷地實地踏査に付いては既報の如く二十二日午後二時より野間議員の建議に係る候補敷地三ケ所に就き踏査をなしたる後現場に於て選擧議長より調査委員を指名し併して委員調査の爲め十日間休會する旨を告げ散會したり

忠南 知事實地踏査
大田川改修と面擴張區域

【大田】水野政務總監出迎への爲め來田せる金知事は伊藤郡守渡邊面長の案内にて四月二十三日大田の懸案たる大田川改修及面擴張に對する區域の實地踏査をなしたり

滿洲 簡易保險實施

【大連】六月一日より滿洲にも簡易保險法を施行せらるゝこととなりたるが關東遞信局にては滿洲に同法を施行する以上は支那人にも之を適用して加入せしめては如何との議起り目下支那人の衛生狀態並に戸籍身分關係又は死亡率等を調査中なるが下級支那人は百非衛生的なる割合に無病強壯なるも唯身分を證明すべき戸籍法不完全なるにつき目下支那本國に於て取りに英米人が保險を試みつゝあるが如く契約の際地位身分正確なる支那人の保證人を立て之に一切の責任及び契約上の履行を負擔せしむる行爲さば可ならしむとの意見にて目下着々調査進行中なりと

忠南 造林奬勵施設

【大田】忠淸南道にては過般の技術員會議に提案したるが如く地方人民に造林思想の有利なるを覺醒自覺せしめ造林思想の向上を圖るべく企圖し本年度に於て個人模範經營林の設置、委託苗圃の設置、苗木の配給、林業講話會及實地視察、林産物品評會及林業模範經營者の表彰、濫伐防止、除蟲、私有林伐採取締、保護組合設立等を行ひ植林事業の奬勵をなすべく之が準備中なり

郵便事務共助

【定州】二十三日定州郵便局で開催の平北郵便所長會議は平壤局より提出の本道郵便局所長會議事項何れも原案を開き意見を述ぶる處あり僅に一日の會議で

忠北金融組合 狀況

【清州】忠北道金融組合は都市一、村落二十にて三月末現在組合員一三、一三八人貸出金一、八八二、九三七圓借入金一、二二四、四九六圓預金五七圓拂込濟出資金一二九、三七四圓七一、七三七圓で十年度純益は五五、四〇八圓の多額に達し昨年度に比し預金及純益は共に額の增加を示して居る因に本年度新設組合は都市組合(永同面)村落捂倉面の二ケ所にて數日中に設立準備委員任命せらるる筈

あつたが意義があつた同會の如何は事務運行上直接の影響を及ぼすは勿論事業の盛衰に關する等其の關係する處も少くないから之が完備に努め成績の向上に努力するは云ふ迄も無く公衆の信用を厚くする事業の完全を期する事に協議し郵便所長會議を最も有意義ならしむる爲め『附近郵便所相互間の意志疏通』『事務共助』等特色ある會風』『自治的施設』に關し本部長述べたるに對し何れも其の實行を誓つて散會した

湖南の自轉車競走大會
本社の優勝旗を贈る
全州選手の鼻息凄じ

【全州】我が社全州支局主催に係る自轉車競走會は二十三日擧行の筈なりしもトラックの手入れに數日間を要するため已むなく延期したるが全州の選手は連夜練習に餘念なく湖南線一帶の選手又は京城方面の選手には絶對に一等を讓らじとの意氣込みなり尚後援者たる朝鮮自轉車會社にては優勝旗の外選手メダルを提供すべく其他各料亭よりも既に優勝旗の寄贈ありたり我が社にても優勝旗の製作中にて尚記念メダルをも贈る筈なれば當日の盛況思ふべし因に場内設備萬端は德津池川氏に一任せり

平澤校運動會

【平澤】平澤公立普通學校に於ては既報の如く二十三日午前九時三十分より同校庭に於て春季大運動會を開催したり前日より雨氣はれたる空模樣も朝來晴天を保ちたる爲め砂塵立たず折柄散り敷く紛々たる櫻花を浴びて嬉々たる兒童の運動振りに父兄も參觀の來賓も自然氣乘りして數十番の競技を終り夫々賞品を授與して四時散會したるが當日來觀者約千名に上り稀なる盛會であつた

銀行團運動會

【平壤】平壤銀行團春季運動會は二十四日午前十時より牡丹臺旅館前市街を隔てたる專賣支局グラウンドに於て開催數十組の番組何れも面白く中にも假裝競爭は觀衆の意表に出で拍手喝采止まざりしが當日の見物たる優勝旗爭奪戰たる八百ヤード競走リレー戰に於て大同銀行八點、殖産銀行五點、朝鮮銀行五點にて大同銀行優勝を占めた(平壤)

銀行團野遊會

【安東縣】安東組合銀行團では來る五月七日午前十時より鎭江山藏霞亭附近に於て懇親により野遊會を開催する筈である(安東縣)

北成 大豆改良勵行

【清津】大豆は咸北農作物中の大宗たるを以て本道にては夙に之が改良を獎勵しつゝありて各郡をして農家を督勵して種々選擇に力を注がしむべく努力する處ありたるが今日調査の結果其の督勵が未だ不充分にして今尚之が精選を實施せざるものあり多く同種類を混じ品種の混入せるもの多く且模範農場に於ける成績却て不良なるを以て今回更に訓令を以て各郡に對し一層督勵方を訓達し同時に異品種と虫喰等は絕對に除去せよと注意した

大田養鷄品評會

【大田】大田郡當局同畜組合にては養鷄奬勵の目的を以て十月十、十一の兩日郡廳後庭に養鷄品評會を開催する事に決定したるを以て各面に宣傳ビラを立て改良種の孵化を奬勵しつゝあり

關東廳 本年建築事業
大連の分八十三萬餘圓

【大連】大正十一年度に於て關東廳の大連に於て建築する工事は工費二十萬圓の大連重要物販賣所を始め同十七萬二千八百圓の大連郵便局現業室、九萬三千四百圓の大連第六小學校の增築八萬八千五百圓の大連水上事務所、七萬七千八百圓の大連埠頭增築、七萬三千八百圓の沙河口公學堂增築、四萬六千圓の沙河口市場新營三萬八千圓の沙河口第二小學校、三萬二千九百圓の大連の屠獸場、一萬〇八百圓の神明町巡査宿舍等にして何れも土木課派出所監督の下に夫々工事に著手せらるべし

大藏滿鐵理事一行

【大連】滿鐵理事大藏公望男一行は二十二日午後七時半東京出發歸任の途に就きたり右は日支通信連絡會議に出席の爲なりと

安東春季 大運動會
驛軍優勝す

【安東縣】滿鐵運動會安東支部の主催にかゝる春季陸上大運動會は廿三日午前八時から安東驛前北廣場の運動場に於て催された當日は朝から花曇りで小粒の雨さへポツリ〱と降り出したので天氣は聊か氣遣はれたがあまり大降りにも到らず首尾克く午後四時頃には豫定のプログラムを全部終つた晝食の休みには例によりて假裝行列があつて各組夫々奇抜の趣向を凝らしヤンヤの拍手喝采を受けるものがあつた、滿鐵側の競技番組は相も變らず驛軍が第一で次は電燈會社驛即ち驛軍は三ケ年ブッ通しで優勝旗を手中に收めた譯である、

讀者慰安巡回活動寫眞

今日 裡里 裡里座
廿七日 鳥致院 青年會館

平壤と傳染病
平南道中第一位

【平壤】去る十一日より二十日迄の平安南道傳染病狀況を聞くに猩紅熱は平壤府一名發生二名現患平原郡二名發生一名死亡痘瘡は平壤府二名發生一名死亡大同郡六名發生二名死亡二名現患江西郡五名現患德川郡一名現患德川郡一名發生一名現患ジフテリアは安州郡一名發生一名現患价川郡一名現患江東郡一名現患腸チブスは平壤府一名發生一名現患永柔郡八名發生二名現患順川郡一名現患安州郡三名發生一名死亡三名現患价川郡一名發生一名現患德川郡一名發生三名現患赤痢は平壤府三名發生三名現患である又本年一月以降四月廿日迄の本道傳染病發生者を累計してみると猩紅熱十八名平壤府が殆ど大部で他に平原郡がある。痘瘡は十七名で大同孟山平壤德川安州の順、ヂフテリアは十七名で平壤安州价川江東順川大同の順、腸チブスは五十三名で永柔が最も多く次は平壤德川順川安州价川大同龍岡江西といふ順、赤痢は四名で平壤ばかりであると

畜産同業組合豫算

【大田】大田郡畜産同業組合にかける大正十一年度の豫算は七千八百二十二圓五十錢にして大正十年度に比し六百八十九圓を增加したるが其豫算の内容は歳入は地方費補助に於て三百四十七圓五十錢を財産收入に於て二十四圓を繰越金に於て四百五十圓を雜收入に於て五十圓を增したるも手數料に於ては八十圓過年度收入は事務費に於て百四十八圓を減じ歳出は事務費に於ては七十九圓事業費に於て千百四十八圓を一時積立金に於て百圓を增し豫備費に於ては百圓を減じたり而して現在組合員四千五百六十人にして年額一人に對する組合費負擔は二十錢なりと

平壤郵便私函增設

【平壤】從來平壤郵便局私書函は十二個を有するに過ぎなかつたが四月二十一日より二十五個に增設した單に是だけでも平壤發展の一端が窺はれる

馬山高女開校記念

【馬山】二十二日は馬山高等女學校開校第一回記念日であるので午前九時より職員生徒及卒業生等參集まり記念式擧をなし職員の講話生徒の餘興等を催した

機業傳習所擴張

馬山機業傳習所は從來馬山府及咸安昌原の各郡より每期傳習生十五名を收容し主として木綿織物のみの傳習をなしつゝあつたのであるが本年度より地方費豫算が增額せられて傳習生の募集區域を擴張し河川晉州山淸居昌宜寧等方面にも及ぼし生徒を三十名に增加し絹織物をも傳習せしむることゝなつた(馬山)

湖南自轉車競走大會

日時 四月三十日
場所 全州德津池畔
主催 京城日報全州支局
後援 朝鮮自轉車會社全州支店

銀行會社

中央證券創立

【奉天】豫ねて設立中であつた中央證券會社は十六日創立總會を開催したが其の創立事務は報告通り承認の上定款一部の變更且つ役員報酬の變更等ありて役員選擧の結果左記當選就任を見た
取締役社長吉田稷治、專務取締役山縣朋雄、常務取締役西村三郎
取締役伊和地正治、同川西幸夫
同山本憲次郎、同江口管太郎、同
監査役池田卓之進、同滿尾碌助、同
韓雲階

交易所上棟式

【奉天】豫ねて建築中であつた奉天交易所證券交易所の新築家屋は其の工大に亊捗し來る廿二日午後三時より十間房新築場に於て上棟式を擧行する筈

天潮丸積荷

大連汽船天潮丸は二十四日午前出帆大連天津に向ひたるが積荷は大連行雜貨百二十噸天津行木材三十九萬才雜貨百二十噸雜穀一千五百袋なりし(安東縣)

忠淸丸出帆

朝鮮郵船忠淸丸は廿三日入港廿四日出帆龍口に向ひたるが貨物は雜貨百五十六噸雜穀五百噸材料卅噸なりしと(安東縣)

記者團の櫻狩

【平壤】平壤記者倶樂部有志は二十三日の日曜を利用し午前十時から鎭南浦三和花園の花を賞し一日の行樂を恣まゝにし同夜朝日館に於ける有志の歡迎宴に臨み主客交々醉し鼓に打ち興じたさうであるが大朝と京日は事故ありこれに參加しなかつた(平壤)

觀光團歸る

【安東縣】安東商業會議所、民團役所、滿鐵地方事務所、採木公司、安東新報社等の主催にかゝる平和博覽會安東視察團一行二十八名は二十五日午前十時二十分著の列車で無事安東に歸著した驛には多數官民の出迎へがあつて引續き歡迎會が催された(安東縣)

地方集會

▲作間副官送別會 【馬山】作間鎭海要港部副官は今回練習艦隊航海長兼分隊長に榮轉し近く遠洋航海の途に上るので馬山官民有志は二十日午後七時より望月樓に於て盛大なる祖道の宴を張つた

地方人事

▲和田豐治氏(富士紡績會社長)は京奉線故障の爲め延著し二十三日來連(大連)
▲松岡洋右氏(滿鐵理事) 山東鐵道受渡前後の同沿線視察中の處二十三日長平丸で歸連(大連)
▲荒川六平氏(安東行政委員會議長) 平和博參觀中の處二十五日午前歸安(安東)
▲森田平作氏(安東取引所重役) 同上
▲原田市松氏(安東信託重役) 同上
▲有馬泰氏(安東商業會議所書記長) 同上
▲山田恒男氏(安東地方事務所員) 同上
▲秋月技師(平南土木課長) 東上中の處二十三日歸任(平壤)
▲梶本益一氏(平壤郵便局監督課長) 平北郵便所長會議の爲二十三日定州に出張同夜歸任(平壤)
▲田邊地方部長 初度巡視として二十日來奉二十二日歸連(奉天)
▲島德藏氏 五月三日來奉の筈(奉天)
▲市川師團長 二十二日來奉二十三日運河地方視察(奉天)
▲吉野小一郎氏(哈爾賓取引所專務) 來奉中の處二十二日大連へ(奉天)
▲萩原信雄氏(東拓大田支店金融係長) 內地旅行中二十二日夫人同伴歸田(大田)

營口より

▲取引所の新記錄 十九日の當地錢鈔は上下ともに前場百四十一萬五千圓後場百〇六萬五千圓合計二百四十八萬圓出來昨年九月廿一日の二百四十三萬三千圓を突破して新記録を作れり
▲經濟日報發刊 先頃來豫て發刊の目論見中なりしが藏平山藤藏氏指導の

夜明前 【15】
室津鯨太郎 守田かずえ畵

煙る雨 【九】

少時は鈴木の話に對して誰も何とも云ふものはなかつた、輕い串談や洒落で紛つて終ふには餘りに無殘な話でもあるし、餘りに深酷であつた。また鈴木の樣子を見ても決してそんな言葉が一同の口から出て來さうもなかつた。

『奴つて罪なものですわねえ』

お澁でさへしんみりとして眼には涙さへあつた。山澤は默々として先刻からそれを聞いて居たが、其時鈴木を慰めるやうに靜かに語り出した。

『鈴木君、それは女を責めるのは酷かも知れない、君が其女に未練があつたのも無理ではない、然し好く君はそれを堪へ忍んで、再び其女を追つかけなかつた。兎に角戀愛は純でなくつてはならない、純潔でない戀はするものではない、君の方がいくら純でも其女は純ではない、君に濟まないと思ひながら、悪いと知りながら、金錢の爲に他に男をこしらへたのは不純の極だ、兎に角其女は純潔でなければならぬ、貞操問題に對して、無神經であり、盲目であり、低能である。女は或はさういふのかも知れない、だつて私が不見轉であつた事は好く知つる筈ではないか、今更心さへ賣らねば、金を得る爲に他に男を一人位持つても默認してくれても可いといふかも知れないが、之が大間違だ、少くとも戀者が落籍してくれた君に對して、過去の不貞操に醉ゆるに、其後は一層貞操でなければならぬ筈だ、それを何とも思はぬ奴は、低能だ、少くとも貞操に對して低能だ、淫蕩常習者だ、既に性が腐つて居るではないか、鈴木君、君の胸中は察し入る、けれどもそんな女の爲に君の前途を、君の生涯を誤るのは愚だと思ふ』

さう言はれても鈴木は何も答へないで、靜に盃を舐めた。

『其後其の人にはお逢ひなさらないの』

空になつた盃へ酌をしてやりながらお澁が問ふた。

『逢はない、逢ひたくはないのだ』

『嘘、逢ひたいのでせう、何處の何といふ藝者だつたのさ』

『赤坂へは誰と言つて出て居たんだ、もう藝者はして居まいよ』

『まるつきり貴方を瞞したのでもないわね』

『さうは思へない、今まで僕の爲に盡して呉れた事もある、然しもう此話は止めやう……』

と言つて居る所へ又入口の硝子戸を開けて一人男が入つて來た。眼の光る色の黒い背の高い服を着た男である。此方に五人が卓子を圍んで居るのを見ると、鳥打帽を取つて。

『今晩は』

と快濶に挨拶をして、此方の誰彼にも之に對して同じやうな挨拶をしたが、別に離架でもないのか、今來た男は少し離れた卓子の方へと行つて腰かけた。

『入らつしやい、好く降りますね』

とお澁が立つて愛想好く笑ひながら食物の註文なんぞを聞いて居る中に此方では山澤が鈴木に私語いた。

『オイ君、彼奴知つてるか』

『知らないよ、君は』

『彼奴、乾度探偵だよ』

『成程、オイ』

と鈴木が傍に居る高橋に小さな聲でいふと、他の二人も察したらしく頷き合つた。

『オイ、もう歸らうか、姐さん、勘定だ』

と山澤が少女の方に向いていふと向ふの方に居たお澁が振返つて言つた。

『まあ可いぢやないの、それにあの方がまだ入らつしやらないぢやないの』

『いや、もう歸る』

山澤は無愛想に言つて立上つた、それに應じて皆どかどかと立つて硝子戸を開けた。

雨はまだ小歇みもなくしとしとと降つて居る、夜も更けたか人通りも少くなつたし、もう店を閉ぢた家もあつた。

短歌 尾上柴舟選

題『戀』佳作

○ 美登利(京城)
かりそめの戀の心のつのり來てねざめ心のやるがたもなき
いつときに剰して死なばやよしひとの未練がましといふに任せて

○ 松井まなぶ(江西)
人氣なき京城の果ての砂山にひそかに戀ず世に亡きひとを

○ 西田幸吉(京城)
よくだます女なれども黒髮と肌の匂ひにいつはりはなし

○ 芳子(市川)
破れたる戀の故かも勞働に疲黄の服の君にふさはし

○ 松永素秋
我が戀ふる人皆集めその中にじつとひたりて死なむと思ふ
ことごとに戀といふこと口にする男哀れに今日も思ひぬ

○ 横田高男(京城)
かたらむとして語りえぬ一言を根としてさきぬ悲しみの花

○ 村上咲子(金泉)
黒髮もあつき血潮も措からず生命にかへて君を戀ゆれば

○ 栗田口秋水(京城)
戀らしき胸を抱きてお互に寄る術をなみ別れたりけり

短歌募集

題『髮』『時』
選者 尾上柴舟先生
賞金 天位金壹圓
締切 四月三十日
注意 各題別紙五首以內用紙半紙、宛名京城日報社文藝係

俳句 本社編輯局選

題『風光る』

○ 龍川 芳柳
放牧の馬の尻尾や風光る
○ 京城 南堂
支那人の石工歎たり風光る
○ 京城 鶯樓
掘返す畑の土や風光る
○ 龍山 まさ子
風光る濱に海月のむくろ哉
○ 京城 晩峰
合覽のポートレースや風光る
○ 京城 水藍
貝殼を拾ふ渚や風光る
○
光風や滿艦飾の御召艦
○ 龍山 紫軒
光風や天氣豫報の旗赤し
○ 兼二浦 乾雨
風光る野を學童の二列かな
峠より見おろす町や風光る
○ 京城 水藍
國賓を迎ふ波止場や風光る
○ 德川 黒潮
山頂の三角標や風光る
○ 東
光風や牧場に跳れる二才駒
○ 春
神木を挽く鋸屑や風光る
○ 龍山 今千代
差かゝる木の芽峠や風光る
○ 京城 能美
平和神の像見上るや風光る
○ 龍山 臥牛
葉ずれ聞く寄宿舍の若葉風光る
倉勤りのなげ上ぐる粘土や風光る
蒔き終へて畦畔に早し風光る

俳句募集

題『運動會』『蜆』
選者 本社編輯局
賞金 天位金壹圓
締切 五月五日
注意 各題別紙五句以內、用紙半紙、宛名京城日報社文藝係

土曜會句集

題『鳥の巣』 二、四、二三

○ 宵む木の梢に揺るゝ小鳥の巣 夕舟
○ 鳥の巣や塔の足場の大櫻 稍集
○ 松生ふる烏帽子ケ岩の鳥の巣 華木
○ 鳥の巣や下馬札立てし五葉 哉平
○ 鳥の巣や古き碑の一里塚 仙
○ 庭松の鳥の巣に新聞延しけり 鶴
○ 鳥の巣や山の古枝の火 不知
○ 大風に騒ぐ鳥の巣の草 漠
○ 鬼瓦の鬼の口なる雀の巣 一葉
○ 古沼や蘆の繁みに小鳥の巣 淺子
○ 蛇の出て皆巣に騒ぐ親雀 默哉
○ 鷲の巣や松古りて怒濤岩を嚙む 麥風
○ 廢殿の石燈籠に小鳥の巣 兎耳
○ 聞の巣ありポプラの高きこと 殘假
○ 鳥の巣を探ろべく兒等の謀 盤花
○ 巣に叫ぶ鶯や王陵の松林
名を知らぬ小鳥異國の木に巣くふ

川柳 井上劍花坊選

題『丸髷』

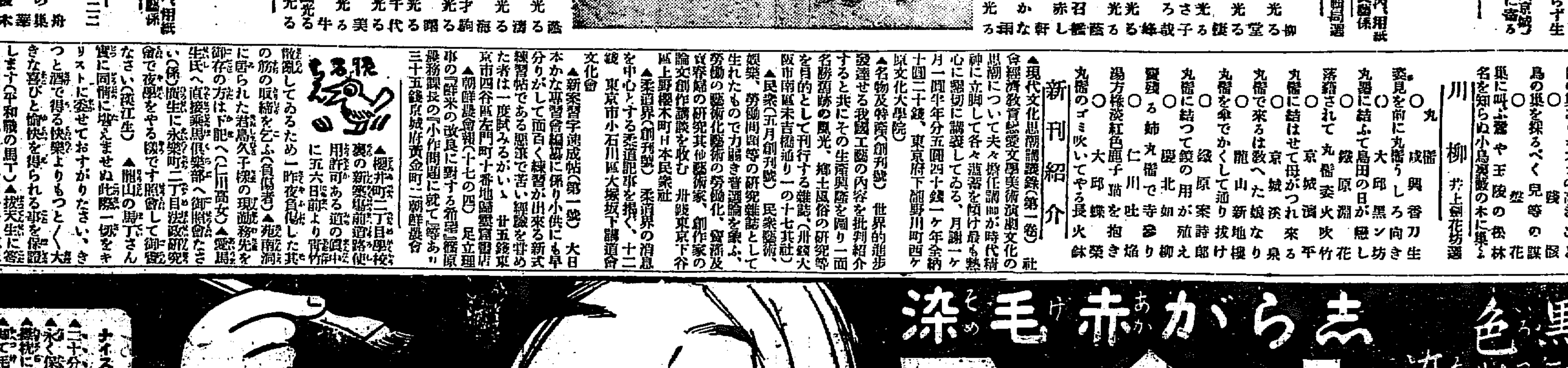
○ 成興 香刀生
姿見を前に丸髷うしろ向き
○ 大邱 黒ン坊
丸髷に結ふて島田の日が戀し
○ 鐵原 淵花
落籍されて丸髷姿火吹竹
○ 京城 演平
丸髷に結はせて母がつれて來る
○ 京城 浜泉
丸髷で來るは數へた娘なり
○ 龍山 新地樓
丸髷を傘でかくして通り拔け
○ 鐵原 案詩郞
丸髷に結つて錢の用が殖え
○ 慶北 如柳
賣殘る姉丸髷で寺參り
○ 仁川 吐焔
湯方樣淡紅色匣子猫を抱き
○ 大邱 蝶榮
丸髷のゴミ吹いてやる長火鉢

新刊紹介

▲現代文化思潮講義錄(第一卷) 社會經濟教育戀愛文學美術演劇文化の思潮について夫々擔任講師が時代精神に立脚して各々蘊蓄を傾け最も熱心に懇切に講義してゐる、月謝一ヶ月一圓半年分五圓四十錢一ヶ年金納十圓二十錢、東京府下瀧野川町西ケ原文化大學院
▲名物及特産(創刊號) 世界的進歩發達せる我國工藝の內容を批判紹介すると共にその生産興隆を圖り一面名勝舊跡の風光、鄕土風俗の研究等を目的として刊行する雜誌、(卅錢大阪市南區末吉橋通り一の十七共社)
▲民衆(五月創刊號) 民衆藝術、娛樂、勞働問題等の研究雜誌として生れたもので力弱き普選論を棄ふ、勞働の藝術化藝術の勞働化、資本及資本家の研究其他藝術家、創作家の論文創作講談を收む 卅錢東京下谷區上野櫻木町廿本民衆社
▲柔道界(創刊號) 柔道界の消息を中心とする柔道記事を掲ぐ、十二錢 東京市小石川區大塚坂下講道會文化會
▲新案習字速成帖(第一號) 大日本かな專習會編纂に係り小供にも早分りがして面白く練習が出來る新式練習帖である趣味で若い練習を始めた者は一度試みるがいゝ 廿五錢東京市四谷區左門町十番地歸雲窟書店
▲朝鮮農會報(十七の四) 足立理事の『鮮米の改良に對する希望』篠原農務課長の『小作問題に就て』等あり三十五錢京城府黃金町二朝鮮農會

快ろちる

▲櫻井町二丁目學校裏の新築場前道路使用許可ある道の眞中に五六日前より帶竹散亂してゐるため一昨夜負傷した其の筋の取締を乞ふ(負傷者)▲苑南洞に居られた若島久子様の現勤務先を御存の方は下記へ(仁川高女)▲愛馬生氏へ直接乘馬倶樂部へ御照會下さい(係)▲假生に永樂町二丁目洪政研究會で夜學をやる際です照會して御覽なさい(淡江生)▲龍山の馬丁さん實に同情に堪えません此際一切をキリストに委せておすがりなさい、きつと酒で得る快樂よりもつと〱大きな喜びと愉快を得られる事を保證します(平和職の馬丁)▲拔天生に答ふ漢池暉士の講演は不日紙上に掲載します(係)▲診斷で簡易肪膜との事で服藥はしてゐますが田舍の事とて醫者を求めるにも日數がかゝり困ります良藥御存じの方は御教示を願ひます(田舍の愛讀者)▲鰐乃鍬の愛藏家に是非見せたき品あり(山崎生)



婦人と家庭

家庭教育（5）
子供にお錢を持たす時期
尋常五年生位からが先づ適當
遊びに小遣錢は斷じていけない

京城の子供は無駄錢使ひが荒いと云ふ事をよく耳にするが之は朝鮮ばかりでなく内地でも都會と田舍の兒童とは金錢の取扱ひについて餘程考へが違つてゐます。一體子供に一定の金錢を與へて自由に

學用品 や其他の日用品を買はせる事については子供の性質を下品にするといつても反對する人がある樣です勿論これは精神教育ほど重大なものではありませんが經濟生活が生活の一要素である以上强て金錢の取扱ひから遠ざける必要はないと思ひます、のみならず金錢の實物に親しませる事によつて賣買といふ事を事實上經驗する事になり、延いて儲ける損するといふ意味も判つて算術を解く上にも

好結果 を來す事になります、然し一歩其方法を過ると子供はいつでも金錢を欲しがるやうになり同時に何とも思はなくなつていろ／＼惡癖を成長させる事になりますそんなら子供が何歳位になつたら學用品などを自分で買はせていゝかといふとこれは子供の家庭生活によつて自ら異るわけですが學齡に達しない以前から外で遊ばせる蹟に小使ひ錢を與へてゐた樣な家庭を除いては尋常五年位を適當と思ひます、なほ六年位になつて相當に

克己心 が發達し意思も强くなつて買ひ度いものでも我慢できる樣になつたら今月はこれだけお前にやるからうまく使つて御覽といつて毎月一定の小使ひを與へてやりたいと思ひます、さうすると子供の趣味もわかるばかりでなく思ひの外のものを買つたりする事によつてより賢く思つて居た父母教師などの

反省 の材料にもなりまた將來教育の參考にもなるわけです、同時に惡いものを買つて來た時にも直ぐ叱る樣な事をつゝしみいゝものを買つて來た時には其心がけをますく助長させてやるが必要です、それから子供に小使錢を與へて遊びに行かせる事は衛生上にも風教上にも惡い事でありますから是非やめてもらひたいものです。

花信
春の牡丹臺

平壤花の名所たる牡丹臺及大神宮境内の櫻花は二十三日夜來の雨にて何れも咲き競ひ金色の連翹淡紅色の桃花と妍を競ひこゝ二三日が全くの見頃である、既に早きは二十四日風無きにひらく／＼と飜るもあり次の日曜日までには持つまいと云ふ二十四日激雷雨の小止みを利用し大神宮より乙密臺に出で牡丹臺を迂回して花下を逍遥したが落花に香をとゞめるも道が既に趣きが深かつた。大同江岸の柳は更に緑の色を增し一しほの風情を添へてゐた（平壤）

難産の恐ろしい人は
腰と腹を强くせよ
青春時代の運動不足は有害

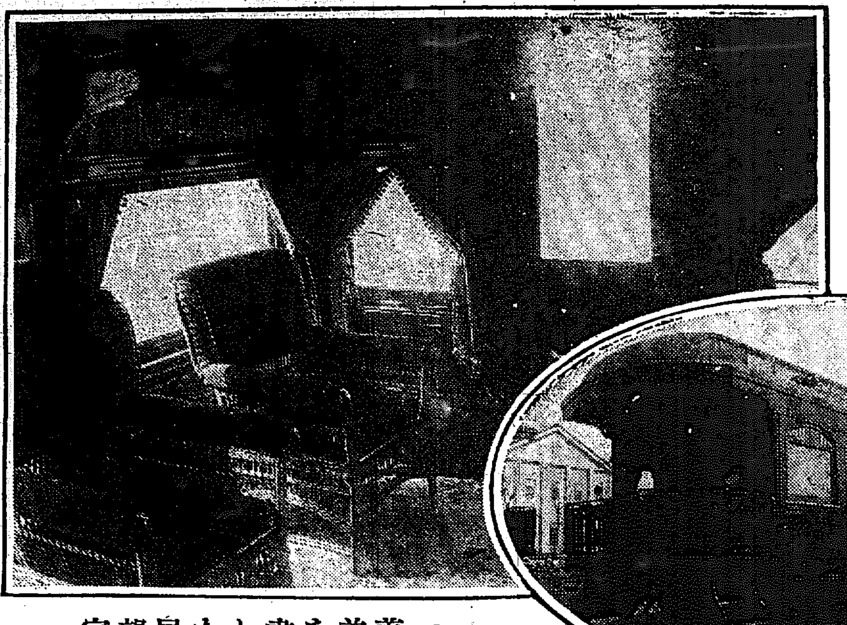
日本婦人を仰向けに寢かして兩脚を揃へて持ち上げる體操をやらして見ると直角の屈折するものが尠く十度位しか曲らぬといふ人が多いこれは腰の股關節と腹部筋肉の運動が足らぬ爲で婦人にとつて最も大きい負擔であるお産の苦しみもこれが爲に來ると云つてよい、よく上流の奥樣が姙娠した場合重いもの一つ持ち上げさせず營養に注意せしめる等何から何まで注意おさく怠らぬのに

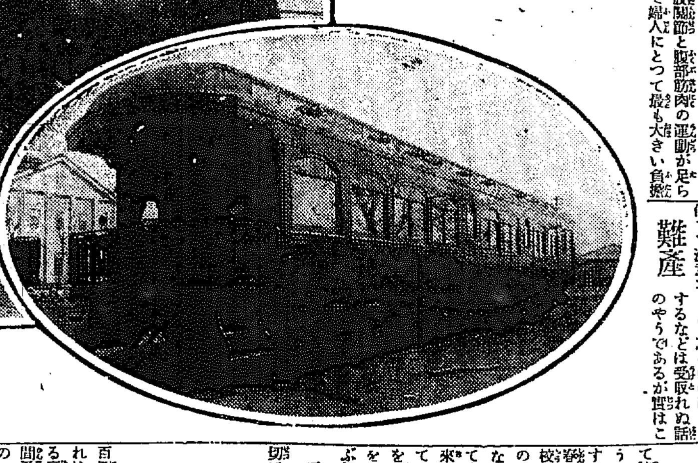
難産 するなどは受取れぬ話はこのやうであるが實はこれ程自明の道理は無い一番大切の青春時代に運動もせず勞役にも服せず疊の上に生活ばかりをして來た婦人の難産は當然だと云つてよい、これには何うしても腰と腹を鍛へる爲めに運動を奨勵する必要があるとて女子高等師範の宮田教授は日本婦人の腰と腹について左の如き話をされた『日本の婦人が漸く腰を十度位曲げること出來ないのは難産の因となるばかりでなく如何に起居動作を不活潑にするかは想像以上です、これは色々の

原因 がありませうが日本婦人が歩くのに内股である事などはその大きな原因でよし内股でなくとも大體膝の關節を動かして歩くものが多いやうですこれでは腰の關節の働きを發達させることは出來ませんそれに腹部を充分ゆるやかにして置かないのも大きな原因です私は冬期にお茶ノ水女高師附屬の尋常五六兩學年の女生徒で和服を着てゐる者がどの位腹部に物をしめてゐるかを調べ見ましたら腰まきの紐が二本都腰まきの紐が一本それをとめる紐が更に一本下着と襦袢の紐上着の下紐その上に三尺帶等を締め袴の紐が三めぐりばかりあるのを算へると一番多いのは十六めぐりもあつたのに驚いた事がありましたこれでは

お腹 の屈伸自在の筋肉の運動は出來ません、從つて膝の下でチョコく步きをするやうになるのです、特に私どもが心配するのは最も女子の發育の盛んな青春期に日本の習慣では小學校や女學校でつゞけて來た體操や遊戲や徒歩の習慣をすつかり廢めて温順しくなつて仕舞ふことです、これではとても難産の苦痛から脱ることは出來ません、近頃都會の婦人が結婚しても子供を産みたくないと云ふことを口癖のやうに言ふのは單にお洒落をつゞけ度い爲の虚榮やサンガーかぶれであると云ふよりもこの

分娩 の苦痛の豫想に恐怖してゐると云つた方が適切である位ですこの恐怖感を取り脱く爲めには何うしても腰と腹を强くする運動の奨勵が必要であります』





善美を盡した展望室【上】

三殿下の御召列車【下】

初夏への流行髮
簡便なハート髷
山本久榮女史談

今頃から初夏へかけてお髮は何と申しても輕いのが一番でございます、殊に唯今流行はれて居りますお髮を見ますとどれもこれも附屬品が大變で（附け髷）あれなどは二十五匁からありピンを二十本も要します、其上ピンばかりで持たせてありますので直ぐ髷が落ち易く女學生などは之ばかり氣にしてゐるので體操なども充分に出來ずいつも惡い姿勢をして居ります

▲重い上に非常な手數（一寸外出をなさるにもお髮の手入に一時間半を要します、私は之を精々二十五分位に致したいと思つて居ります）で、どうも活動的な此頃の時勢に適して居りません、それに一々髪結さんの手を煩はさなければならないと云ふのも不經濟でございます

▲さうした缺點を何とかして除きたいものと考案致しましたのが、これは髷の無い束髮でたゞ一本のピンで止めて置きますばかりで今迄のやうに、アンコ附け髷などの世話がありませんから、非常に結方が簡單で誰方にも直ぐ自身で結ふ事が出來ますその上保ちがよく（三日間は大丈夫です）輕いのも特色でございます

▲このハート結びから出て、年增の方のために考案しましたが、擬手結びと云ふ結び方で、これは今迄の七三のやうに髮を斜に二つに割つて先づ三分の方から後へ持つて行きその上へ七分の方を持つて廻せるのです、それに今流行つて居ります耳隱しのお髮でございますが、あれも今までのやうに根を詰つて耳隱しを造り上から髷をつけますのでは、矢張り活動的でないのでこれを工夫いたし私共では髷の處へヘーヤパットを入れて髷の毛を後から冠せて髷にして居ります

恐しい百日咳が流行
潜伏期が長いので一寸感づかないが
餘病併發すれば大抵死亡する

百日咳が今大變流行して居ますがこれは乳兒から十二三歲迄の子供が罹る病氣ですこの病氣に潜伏期が一週間乃至二週間續いて其間熱が出ないので本人は

勿論父兄 もそれと氣づく事が出來ませんそれからカタール期に進んでも發生する樣な事はなくたゞ普通のかぜの樣な咳が出る許りなので大抵の人はそれとは知らないで過ごしてしまひますこの症狀が約二週間續きますとそして痙攣期になつて始めて顏を眞赤にしながら後へ引く樣な咳をするので普通の人は漸くそれと氣づくわけです此痙攣期は三週間乃至四週間續きますが萬一其間にかぜでもひいて氣管支肺炎でも起すと熱が

三十九度 乃至四十度になつて普通の時の氣管支肺炎より經過が永くなり從つて心臟が弱つて大抵は死んでしまひますそれで此場合には成るべく入浴させる事をつゝしみ夜も早く寢かせる樣にして寒い風にあたる事を避けるのが第一ですがこの期間は約二週間位ですしかし咳が少くなつたといつても油斷をすると

肺や氣管 が弱くなつて居るからかぜを引かぬ樣にするが第一です殊に乳兒が百日咳に罹りかぜを引くと十人の中九人迄は肺炎に侵されて死亡する狀態ですから子供の一人がこの病氣に罹つたら是非隔離する事が必要ですそして食物は普通の物で差支へ有りませんが吐かない樣に大きな咳をした後に與へる事が肝腎ですが此病氣には特效藥がありませんしかし最もいゝのは其菌と同種類のワクチンを

肩胛間部 に注射する事ですさうすると百日で癒るものは一ヶ月半位で全快するといふ風に經過を短くし餘病をおこす事が少くなりますなほ全快したらしばらく溫泉等の暖地に轉地するのが最良です（竹野醫學博士談）

平壤丸座洲

當地は數日來濃霧深く沿岸航路船平壤丸は二十日午後五時頃濃霧のため航路を誤つて城川口に座洲した當時港内に碇泊中の大阪商船宮島丸は平壤丸の非常汽笛を聞きたるも全く咫尺をも辨ぜざる程の濃霧で如何とも爲す能はず翌朝の釜山丸が辛うじて救助に向ひ積載せる荷物を陸揚げして漸く引卸し廿一日夜無事出帆元山に向つた（清津）

鑵詰肉の鑑別法
主婦へ御注意

鑵の蓋も底も膨脹して居らず多少凹みを持つたものを選べば安全であります膨脹して居たり强く振つて試ますに液が澤山にある樣に思はれるものは中身の腐敗したものが多うございます。又鑵詰の中身の良否を知るには打診檢査法があります、其の法は鑵の上面を輕く叩いて試るのです堅實の音のするものは良品で輕く浮いた響きのするものは鑵内に空氣が多く存するか或は瓦斯の發生したもので不良品であります此法は一寸困難の樣に思はれますが數次の經驗に依りて其の響き方の判斷を會得さへすれば決して困難な法ではありません。鑵を開いた後の組織原形が其儘であり脂肪が白色或は淡黃色であつて材料の内臟に變化の無いものは良品であります鑵を開ける時瓦斯が漏れたり肉が液化して居たり纖維が柔軟になつて居たり液汁が濁つてゐたり惡臭があつたり酸味や鹹味を帶びてゐるものは不良品であります。

味噌汁の鹽加減

味噌汁の鹽加減は最初仕立てる時に淡くない樣に氣を附けて濃い加減にして置く方が宜しうございます淡いからと云つて後から摺り味噌を作つて加へることは面倒でもあるし又味を損します、濃い時は二番煮出汁を注して伸ばしても決して味を損する事はありませぬから最初濃い加減にして置く方が安全であります

十三歲の社長
クーガン少年

チヤプリンの有名な喜劇キッドにチヤプリンの相手役となつて妙技を示した少年活動俳優があります。其の名はヂヤツキー、クーガンといひます。處がクーガン君此の『キッド』以來米國のソルレツサー監督に見出されてキネマ界の人氣俳優となりめきくと賣れ出しました。其處でクーガン君モウ他人の會社に雇はれてゐるのは面倒臭くなつてクーガン會社といふ活動寫眞會社を起して社長になつてしまひました。クーガン君歲は十三歲、いたづら盛りの社長さんです。自分で主役になつて澤山のおとなの俳優を使つて自分の撮影場で撮影し、作品は大へんな人氣でどん／＼賣れるので兩親には自動車を買つてやるやら家を建てゝやるやら米國一の孝行振りを見せてゐます。最近の作品では『いたづら小僧』と云ふのが日本へ來ました、いづれ近く京城へも來るでせう、クーガン君が主役で活躍したものださうです。

小學教員が童話劇
や舞踏を研究

東京市内小學校訓導達も遊戲研究會を組織して居るが今度其の同人が中心となつて最初の試みとして來月八日から十日迄麴町元園町小學校に於て第一回講習會を開く筈で山口縣から上京參加する者もあり小學校教員が十三名研究の爲め上京參加する事になつてゐる。講師としては音樂家の北村季晴、本居長世、田邊尚雄、童謡作家の北原白秋、野口雨情氏等其他に交渉中で田邊尚雄氏の家庭舞踊を始め、舞踏式の表情唱歌、遊戲等各般に亘つて充分の研究をする方針であるといふ（東京）

米のとぎ汁と茶がらの使方

米の磨ぎ汁と茶がらはなか／＼有效に使ふことが出來ますまづ米の二度目の磨ぎ汁で味噌汁をこしらへると白味噌の樣な味がしておいしい許りでなく、これを食べると平常便秘に苦しむ人でも一回宛つうじがありますまた濃い汁を稍熱い位に温めて髮を洗ふとよく垢が落ちてつやもよくなりますのみならず磨ぎ水を洗濯水に用ふると白い物は見ちがへるほどきれいになるものです茶がらで油物を盛つた食器を洗ふと臭味もぬけギラくもとれますまた乾かしたものは枕に入れるそばからの代用になりこれで食物を貯へてある戸棚や臭氣のある室内をいぶすと臭氣もなくなつてしまひます上等の茶は一度使つた後また乾かして使ふと番茶などよりはるかにおいしくまたこれからは便所の窓に入れて燃くと臭氣をとめウヂのわくのを防ぎます

京管局夜學科
廿四日開講

京管局に於ては從來局員の爲め夜學科を設け修養につとめてゐたが今回其内容を徹底的に改造し愈二十四日から開講するに至つた修學期間は一ヶ年にして每週五日、一日二時間で科目は英語、簿記、漢文、鐵道法規、法制及科外講演であるが入學者は六十名であると

女房殺し犯人
遂に捕はる

昨夏安州郡大尼面南上里倉晉墨は或夜夫婦喧嘩の揚句妻女金氏（二七）の口返答が癪に障つて毆打即死せしめ其筋の目を晦まし逃走してゐたが二十一日安州署に捕へられ目下嚴重に取調べ近く平壤地方法院に押送の筈

火業倉庫に賊
銃器火藥を盜む

黄海道海州道廳内の銃器火藥倉庫に數日前何者か忍び込み保管中の銃器數挺及び火藥を盜取せるを發見し各方面に手配し極力該犯人を嚴探中であるが未だ緒に就かず當局では恰も李王世子殿下一行の御歸鮮を控へ何等か劃策せんとする不逞團の仕業ではないかと引續き捜索中である

電車に衝突す

二十三日午後十時十分新龍山發光熙門行電車六三號が古市町熊野材木店前を進行中冷洞一五三番地韓龍鎬（三二）が空車を挽き向方面に向ふ内不注意に依り電車と衝突し空車を滅茶苦茶に破損された

いろ／＼

樂園洞の小火　府内樂園洞二五五番地醫生金誠洙方より二十四日午後三時二十分失火したが大事に至らず間もなく消火した原因は藥劑を調製する爲火に掛けたるが要品に轉火したものと判明した

關釜連絡船

釜山發　午前六、四〇分　午後八、三〇分

廿六日	朝、對馬丸	夕、新羅丸
廿七日	朝、壹岐丸	夕、高麗丸
廿八日	朝、對馬丸	夕、新羅丸

三百五十萬でならば
山を賣つてもよいと云つたら

疑獄事件の公判は二十四日午前十一時より東京地方裁判所刑事第一部[illegible]裁判長[illegible]の係にて開廷[illegible]の手を經て東洋拓殖に移[illegible]と認めましたと答へ裁判長第一回の更込二十五萬圓は何故使用したかと問ひ[illegible]たるも唯知りませんと答へ更に第二回の[illegible]三百五十萬圓ならば[illegible]

銀行頭取偉の下女を片っ端から孕ませ

[illegible]

姙娠せしめて之れを闇に

[illegible]

行方を

[illegible]同家ではもう一人の女中も姙娠して[illegible]

縮緬兵兒帶 一本只一圓七拾錢

東京市日本橋區本石町一丁目縮緬問屋伊谷商店にて本場縮緬兵兒帶の處分賣を始めたが其製品は同店專屬工場の特製品なれば京糸に於て絞り模樣風に於て一般の市中に比なき保證品のみ也而も大巾八尺物一筋只の一圓七十錢大巾八尺物二圓三十錢特別製大巾一丈物三圓五十錢何れも珍絞りと水色と同一値段にて尚又茄子紺珍絞り本製錦紗縮緬兵兒帶大巾一丈物破天荒の六圓五十錢本縮緬兵へこ帶持大巾珍絞り一丈物十圓五十錢山まる糸織兵兒帶大巾一丈物三圓五十錢と云ふ前古未曾有の馬鹿値に投飛す由元來信用ある伊谷商店の表示値段は世間有觸れの廉賣投賣とは性質を異にし眞實の格安物出し品なれば希望の方は賣切れぬ内此の際今直に申込まるゝ方得策なるべし。（東京通信）

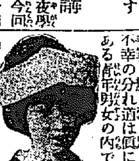
株式名義書換停止公告

來ル五月一日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス

大正十二年四月

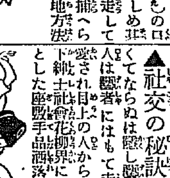
東亞煙草株式會社

◎鼻が高くなる
▲隆鼻器無料進呈



鼻は人生の花で最も大切な物で幸ひに鼻の恰好が好いのは男女の内で一つであるが▲だんご鼻▲わし鼻▲獅子鼻其他鼻の惡き人は隆鼻術でなく自宅で人知らずに高くなる新案特許の隆鼻器を無料で貸與すハガキで申込め　東京市牛込

●人に好かるゝ隱し藝
▲獨り稽古活用自由自在
▲社交の秘訣



社交と宴會になくてならぬは隱し藝である隱し藝で夫人令孃からは醫者にも賞讃され目上の人からは引立られる花柳界に大流行のちよつとした座敷手品、洒落、滑稽、二わか、加チヤリ、なぞかけ、長唄、端唄、淸元、新内、義太夫、さは、都々逸、及び流行歌其他一切の諸藝中の粹中の粹を無理なく集めたる粹人諸君必備の一大寶典で本書一冊あれば酒席や宴會に於て決して恥かく事なく人を驚かします

◇本書は三百數頁出來る限り希望者に特價五十錢送料六錢代金引換はハガキで注文あれば送る▲但し前金送料共切手代用は二割増

大阪東區平野町一丁目　振替大阪五一七九番　博友社

◎他に類のない金もうけ

◆無資本同様片手間で◆金儲けは樂に出來る見込人には收入も多く事業とは全然異る職業を教授す詳細はハガキで

中村商社

己が罪

當る廿六日より　特別大興行　料金特に普通

菊池幽芳先生傑作　面目一新せる　松竹キネマ新撮影　空前大寫眞

配役　全六卷

▲櫻戸子爵……岡本五郎
▲環夫人……川田芳子
▲塚口虎三……岩田祐吉
▲塚口の許嫁お島……栗島すみ子
▲漁師の作兵衛……關根達發
▲環の父輪傳造……野寺正一
▲おうた……鈴木歌子
▲子爵の愛兒正弘……磯野秋雄
▲玉太郎……久保田久雄

女大盃

歌舞伎大名題　澤村源之助主演

地獄船　全四卷

松竹キネマ超特作　フオツクス新作大映畫　▲マドレーヌトラバース嬢主演　海洋活劇

大正館

玩具投賣
替金處分之爲

ゴム製セルロイド製金屬製木製紙製の人形動物汽車電車軍艦鐵砲刀ハモニカ風琴ラッパ等市價六十錢より二三五錢の流行品全部取合五百個送費共七圓也
●代金引替の節は送金●本品は全部小賣無處分の投品にて御全部遊商其他祭禮と行商に利益多大也今回五百箱限り
東京淺草玉姬町六九　秋山商店　振替東京五七二七一

金銀
地金商　德力本店　出張所
京城明治町二ノ五九番地　電話一五七二番

金牌受領

謹告

櫻花咲き誇る悦樂の春と相成申候處各位益々御清穆の段奉賀候平素は格別の御引立を蒙り難有御厚禮申述候扨て財界の不況に依り總ての物價下落したるとは申ながら中には依然として少しも下らず聲のみに止まり我同業者に用ゐる材料の如きは少しも差なく或る一分の材料は高價と相成居候其材料其他質價を調査せずして財界は不況の聲のみにて止まり我同業者工事の如き上は世間の見積を立てゝも我同業者も不拘かゝる時の技術の進歩も其の意の如く損失を蒙る者多き故に折角調査員を選任し組合は今後斯る事のなき樣致したく各位に於ても精査せしめたる結果左記の通り定價格の廣告を爲し旁々御了解被下度先は右御願迄申上候　拜具

品目	價格
上等　木摺壁	金五圓八拾錢
並通　木摺壁	金四圓
上等　眞壁（但し土代除く）	金六圓
並通　眞壁　同	金四圓八拾錢
上等　人造石磨出し　平壁	金參拾圓
並通　人造石磨出し　同	金貳拾五圓
上等　人造石洗出し　平壁	金拾八圓
並通　人造石洗出し　同	金拾參圓
上等　スタッコ塗　同	金八圓
並通　スタッコ塗　同	金六圓
壁　モルタル塗　同	金四圓
土間　モルタル塗	金參圓

大正拾貳年四月

京龍左官業組合

各位樣

平和博と高木鞄店

今回平和博觀覽者の御便利を圖り左の期間中大勉強大割引仕候間何卒多少に不拘御用命仰付の程偏に懇願奉候

割引期間　四月十日ヨリ四月三十日迄

定價一割引

割引品目　鞄、トランク、バスケット、柳行李、毛布洋傘其他旅行用具一切

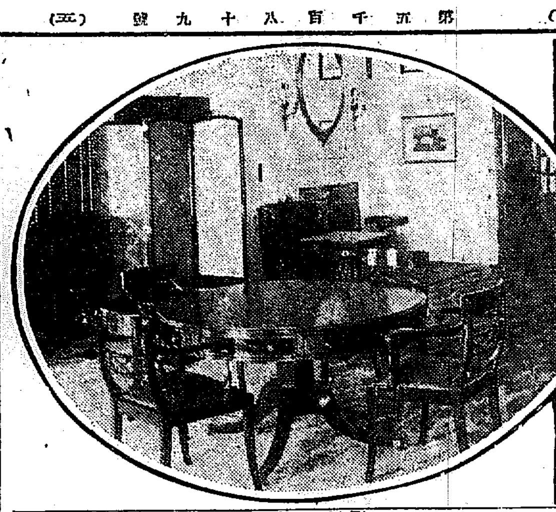
鞄製造販賣　京城本町一丁目　高木鞄店　電話二三五四番

創業五週年紀念大賣出し

來る廿五日は弊店開業五週年に相當致候に付廿五日、廿六日、廿七日の三日間自祝の爲め左記の通り割引御用命に應じ候間何卒御來店の程奉願候

一、特製ビール一本　三十五錢
一、洋食一品　三十錢均一
一、洋酒一グラス　二十錢
一、白鶴一本　二十五錢
以上

京城本町二丁目（朝鮮銀行前）　ホンマチバー　電話本局三三五〇番



王世子殿下の御宿所
（中央）石造殿全景　（右）妃殿下御居間　（左）王世子殿下御居間

古い繪巻物のやうな 大造殿裡御對面の一幕
方子妃殿下朝鮮禮服を召して 棗栗盤、腶脩盤御進獻

王世子、同妃兩殿下には廿八日早朝御宿所なる德壽宮石造殿御出門公式鹵簿にて順路を昌德宮に御成りあり午前九時より李王、同妃兩殿下に對し親見の儀を行はせられる筈であるが此の儀は方子妃殿下が李王家の人として始めて李王、同妃兩殿下に御對顔の御兄床のお盃を交はさせられるのであるから意義最も重大である式はすべて朝鮮式御服裝も亦すべて朝鮮式である、珠簾丹碧輝くばかりの宮殿を背景にして行はれる此空前の盛儀、それは古い朝鮮を再び今に引き戻したやうで古雅にして莊重典麗にして嚴肅宛ら活きた繪卷物を見るが如き壯觀を呈するだらう――御式の順序は概略左の通りである

▲其の日になれば李王職係員は早朝式場を裝飾する式場は大造殿で先づ正面大廳の稍や東に王殿下稍西に王妃殿下の御座を南向に設け

殿庭には紅白の幔幕及び舖陣

等の設備をなし西階に御控所及び殿所を又正面大廳の殿外兩側に參列者席（東は男子西は女官）を設け前階門を經て御休憩所に至る間に行步席を設ける、準備全く終れば李王職長官李載克男、上林次官並に儀式關係の高等官等が或は文官通常服或は武官正裝と云ふ姿で參列し數多の女官も亦相當の禮服著用の上參列する、午前九時と云ふに王世子妃殿下が翟衣を召させられ李禮式課長の御先導で御附の高等官を隨へさせられ西廂の御控所に花の如き御顔を御現しになると間もなく絳紗袍を召した王殿下、翟衣を召した王妃殿下が掌侍司長韓昌洙男以下多數の女官扈從の下に御參進御座に就かせられ次いで翟衣を召した王世子殿下が御參進

王殿下のお側 稍東南の位置に

侍立せられる高級女官二人は御座の稍北兩側に侍立し其の他の扈從者又所定の位置に就いて了ふと李禮式課長の御先導で王世子妃殿下が靜々と大廳間に御參入遊ばされる、其のお後から御附きの高等官、各自に棗栗盤（棗と栗を入れた皿）腶脩盤（肉の脯と云ひ酒を混ぜて作つた眞ん圓い餅）を捧げた女官二名が續き王世子妃殿下が大廳間に御參入遊ばされた女官は廳內兩側に分立し禮式課長以下夫れ〲所定の位置に就く、斯くて席愈々定まれば王世子妃殿下には拜位に就かせられ女官の恭しく捧げる棗栗盤を受けさせられて王殿下に獻じ訖つて四拜せられ次に前と同樣の順序で王妃殿下に腶脩盤を獻じ訖つて四拜せらる、是が濟むと王世子妃殿下には西南の位置に設けられた臨時席に東向に御着席あり此の時女官は妃殿下の

御前に進んで 饌卓を薦め謠を

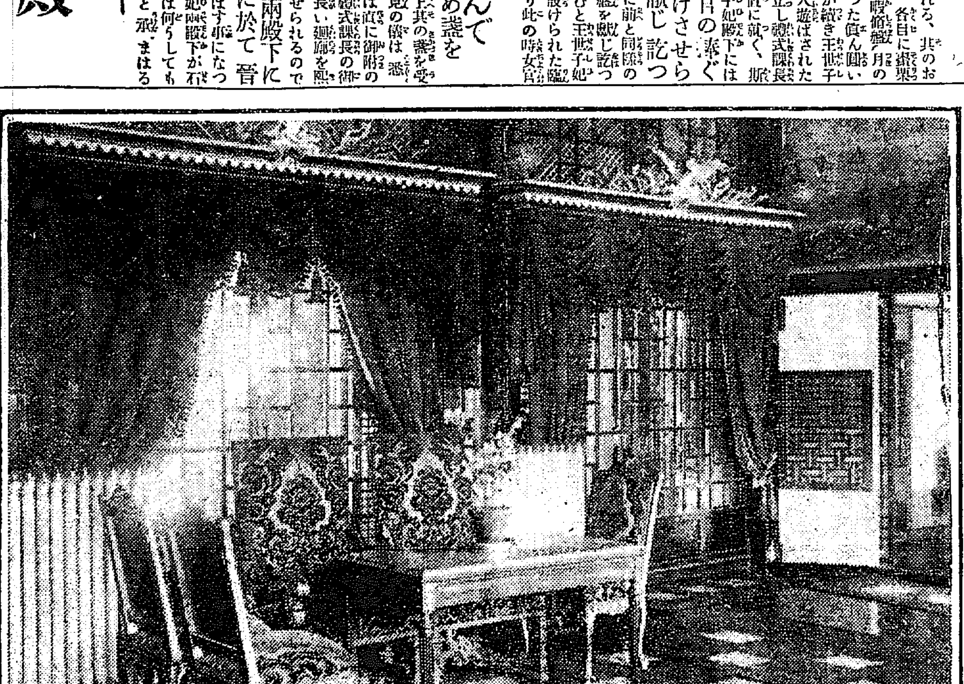
捧げ妃殿下は御一禮の上其の饗を受けさせられる、是で覲見の儀は悉く終つたので妃殿下には直に御附の事務官等を隨へさせられ禮式課長の御先導で大造殿を御退出長い廻廊を照政堂の御休憩所に入らせられるのであるが李王、同妃兩殿下には引續き同所に於て晉殿下に御對顔遊ばす事になつてゐる斯て王世子、同妃兩殿下が石造殿へ御歸還になるのは何うしても正午を過ぎるであらうと承はる

昌德宮物語
歡喜に包まれた 平和の宮殿
壯麗善美眼を奪ふばかり 眞に是れ王者の樂園

昌德宮は明治十七年の變亂からこの方二十餘年間は荒涼たる廢宮であつたが今の李王殿下が御卽位の大禮あるに依つて再び王家の宮殿となつたので李王職では多大の興味と渾身の努力とを以て其の修理造營に著手し時に小宮次官は朝鮮古代文明の遺物たるべき建築物を保存し永遠に傳へ世界學術の研究に貢献する方針を以て成るべく殿閣亭台等の主なる部分を選んで之を修理すると同時に又不用の家屋等は容捨なく之を撤廢し樹木を植ゑ道路を開き池を掘り溝を通じて更に一層の庭園を築造した當時の統監伊藤公が宮廷政治の刷新を斷行せられ此殿の文物制度儀式典例を改善し一面に仁政殿を始め大小殿閣の大修理を行ひ一國の主權者たる威容を擬はしめられた

昌德宮は今を去る五百餘年前李朝の太祖卽位の後始めて都を漢陽に定められ別宮として造營せられたもので其の後仁祖の二十五年に火災あり又三百餘年前の文祿の役に殆ど宮殿樓閣の全部は兵燹に罹つたが其の後十七年を經て光海君の元年に再建され爾來三百年間數多の變亂があり政爭があつて盛衰隆替交々至り殊に明治十七年花房公使駐在の時代に起つた朝鮮事變なるものも此の宮闕內に行はれて兵馬倥偬の巷と化したのも未だ新しく記憶されて居ることである此事變の後當時の國王卽ち故李太王殿下は德壽宮に移居遊ばされたが乙未の亂あつてから更に慶運宮（今の德壽宮）に移られた李王殿下が當時の韓國皇帝として卽位あると同時に荒廢荒草の間に埋沒して居た昌德宮は再び李朝の宮殿となつて輪奐の美を改め今や正に平和と幸福を享有して我至聖至仁なる殿德に浴し限りなき光榮ある李王殿下の御住居となつた次第である左れば昌德宮の一殿一木一石一草は悉く是李朝五百年のものでないものはないのである。

昌德宮の正門は所謂敦化門で宏壯美麗であるが此門は建立の年代が明かでないが舊記野史等の語る所に依れば儀式上昌德宮の明政殿に比し稍後れたるものゝ如くであるが此等は何れも王殿の災禍を免れたもので約四百年を經過したものであらうと云ふ所の敦化門を入れば當面は衛兵所で右折して石橋を渡れば右に李王職あり左に朱門高く構へて大なる屋棟の上金色の花欄檻を巡らして居るのが卽ち昌德宮內の造營の中心たる仁政殿である仁政殿は純祖の四年今を去る一百餘年前に建築せられたもので時の國王が文武百官を引見さるゝ時の正殿で之に續いて宣政殿がある宣政殿は所謂便殿で現今は普通此殿を以て接見所と定めてある而して日常の御住居は大造殿と云ひ純祖の三十四年に建設（現今は再建）せられたもので中央の大廳間を大廳と云ひ向つて右を興福軒と云ひ王殿下左を麗理閣と云つて妃殿下の御居室である尙其の前後左右に景薰閣、澄光樓、熙政堂、寮心閣等がある此等の樓閣を接續するに各數十步の廻廊がある此邊は所謂內殿で係の吏員又は女官でなければ出入することは出來ない又仁政殿の前庭には近年數百株の牡丹が栽培してある熏風五月春も稍ゝ老ゆるの頃紅黃の花氣馥郁として玉階に映る珠簾丹碧宮苑の花と相映射する麗觀に是れ王者の樂園である



歡びの殿堂 覲見の儀を行はれる大造殿（大廳間の內部）

傳說に富んだ秘苑
史譚に富んだ昌慶苑
李王職掌苑課長 末松熊彦氏談

王世子殿下御結婚披露の大園遊會を催さるゝ秘苑及昌慶苑について李王職掌苑課長末松熊彦氏は語る

秘苑は何時頃出來たものか宮職史にも書いてなければ其の他の文獻もないので詳かに知る事は出來ぬが建物の年代から見ても先づ三百年乃至三百五十年位前にはもう出來上つて居たものと思はれる傳說によると此の秘苑は始め

樂民翁と云ふ 仙人の所有だつたが

李朝の太祖が此處に別宮を定めると同時に樂民翁は何處ともなく隱然として風の如く姿を晦ましたさうであるつまり新しい山の主が來たので古い山の主が隱退したのである此の樂民翁と云ふ人物は果して實在して居たか何うか固より傳說の事とて明かでないが秘苑に行くと今でも樂民翁を祀つた壇と云ふのがある以前は此の壇で毎年盛大な祭典を執行したものださうである現在の秘苑が昔の儘の秘苑か何うかと云ふ事も亦明かでない近年に至つて松林を開伐し櫻楓を植ゑ又城壁に沿ふて廻遊道路を付たる以外には恐らく改築と云ふほどの改築をされた事はあるまい昌慶苑は高麗の離宮の址であつたが今から四百五十年前王家九代の成宗王が此處に昌慶宮を造營された其の後火災の爲めに殆ど烏有に歸し只明政殿の一廓のみが殘つたのであつた故に此の明政殿は

京城中で最も 古い建築物なのである

其の外の現在の宮殿は其後再建したので凡て博物館の陳列場になつて居る今動物館のある所は當時報漏閣と云つた測候所の跡で毎日一定の時間には『鷄の鐘』を打つたものである此處で一つ鐘をゴーンと打つと今の團成社（活動寫眞館）の所にあつた擔盜鐘が一つゴーンと鳴り更に又一つ鐘路二丁目の交叉點に在る鐘がゴーンと鳴るので市民は不完全ながらも先づ時を知る事が出來たのである話が岐路に外れたが今植物園の所にある大池は昔國王が農事を御覽になつた

試作田の跡で

もとは朝鮮八道の田圃を象つて八つに仕切つてあつた又秘苑の映花堂から植物本館橫手の芝原は昔文武官の試驗場で弘化門から動植物園に通ずる道路では盛んに騎射が試みられたさうである斯うした由緒ある場所も久しく廢墟となり荒涼を極めて居たが明治四十年十一月李王殿下が德壽宮より新に昌德宮に移居さるゝに當り李完用侯の發起に基き小宮前次官が計畫を樹て、昌慶苑を創設したので最初は劉漢性と云ふ朝鮮人が市內で動物の見世物を興行して居たのを買收し同人を主任として動物園を開設した次いで宮內省內苑頭職羽子田氏を招いて植物園の經營に著手し博物館の方は是と相前後して專ら私が蒐集の任に當つたが何しろ始めての試みではあり仕事其のものゝ困難と云ふ以外に

痛くもない腹 を探られる事も屢々

あつて隨分苦心したものである昌慶苑は初め李王殿下の御慰樂に供する目的で創設されたものであるが設備の充實に伴ひ王殿下の思召しに基いて之を公開し洽く一般民衆に樂しみを頒たれる事になり四十二年十一月を以て盛大な開苑式を擧げた其の後も經費の許す限り日に月に設備の完成に努めた結果今や朝鮮無二の名苑となり京城に於ける屈指の遊樂地となつたのである尙今日までに博物館に蒐集した朝鮮古今の備品名器は約二萬點で植物園には二百餘種の植物一萬餘株を栽培し動物園には約四百の珍鳥奇獸を飼養して居る

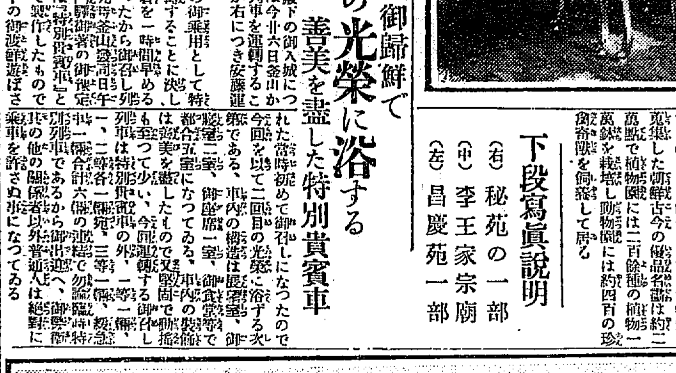
三殿下の御歸鮮で 二度の光榮に浴する
善美を盡した特別貴賓車

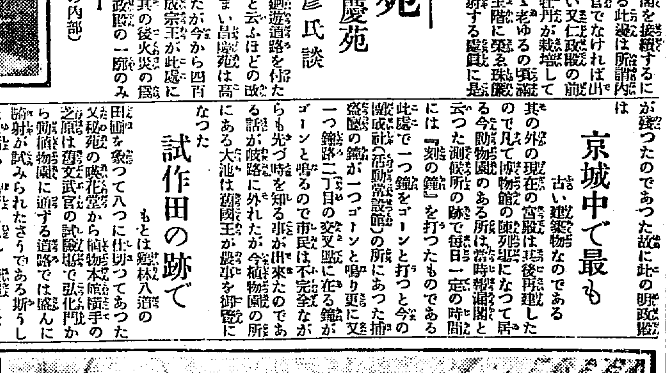
王世子、同妃兩殿下の御入城につき滿鐵京管局では今廿六日釜山から京城まで特別列車を運轉することになつて居るが右につき安藤運輸課長は語る

京管局では御一行の御乘用として特別召し列車を運轉することに決したが連絡船の釜山著を一時間早めることに交涉が纏まつたから御召し列車は二十六日午前九時釜山驛發同日午後六時十五分南大門驛著の御豫定である御召し列車は『特別貴賓車』として龍山工場に於て製作したもので曾て閑院宮同妃殿下の御渡鮮遊ばされた當時始めて御召しになつたので今回を以て二回目の光榮に浴する次第である、車內の構造は展望室、御寢室二室、御座席一室、御食堂等で都合五室になつてゐる、車內の裝飾は善美を盡したもので又堅固で動搖も至つて少い、今回運轉する御召し列車は特別貴賓車の外、一等一輛、一、二等各一輛、三等一輛、緩急車一輛合計六輛の編成で總べて特別列車であるから御出迎へ、御警衛其の他の關係者以外普通人は絕對に乘車を許さぬ事になつてゐる

下段寫眞說明

（右）秘苑の一部　（中）李王家宗廟　（左）昌慶苑一部





奉迎 李王世子垠殿下

慶尙南道評議員 迫間房太郎

慶尙南道評議員 釜山商業會議所會頭 香椎源太郎

慶尙南道評議員 大池忠助

朝鮮唯一の靈泉 慶南東萊溫泉 蓬萊館 電話五番

朝鮮唯一の溫泉 慶南東萊溫泉 荒井旅館 釜山 荒井旅館

東洋燐寸株式會社 釜山出張所 電話二〇八番

東洋拓殖株式會社 釜山支店

釜山高島町 大阪商船株式會社 釜山支店 電話長一四番同五一四番同八七四番

釜山 朝鮮紡織株式會社 電話長六〇二番長九七九番 一二三番 一二四番

釜山大倉町 海運業 陸運業 澤山兄弟商會 電話長七五〇番（營業用）六八番 六〇六番 二八一八番（石炭部）

釜山埋立新町 福榮商會卸部 電話一〇八一、八九八、九九四番
釜山辨天町 福榮商會小賣部 電話二三五、一二三番
大邱本町一丁目 福榮商會大邱支店 電話六四九番

釜山水產株式會社

釜山 朝鮮瓦斯電氣株式會社

御繁忙の中にも寫眞趣味をお樂み
現像もおみづからお手際も鮮か
垠殿下の御近情

王世子殿下の御生活振りを拜聽すべく麻布鳥居坂の御用邸を訪問すると高事務官は折惡しく不在、林屬が代つて語る

王世子殿下が晋殿下の御養育に就て御心を注がせられる事は一通りでなく御生活も至つて御質素である陸軍大學御入學以來非常に御多忙で御歸邸は普通午後三時十分乃至十五分であるが昨今は夜八時から遲い時には十時頃御歸邸に相成る事もあります大學の學科は普通の者でも非常に疲れる相ですが殿下には非常に御勉強遊ばすにも拘らず毎朝午前六時には御起床になります私共としても殿下の御精力の旺盛なのには全く感服の外ありません。從つて殿下唯一の御樂しみとして居らるゝ撞球もこの頃は御中止になつて居ます殿下は近來寫眞に御趣味を持たせられ最初は御撮影の原板は寫眞師に仕上げを依賴して居られたが昨今は少しも仕上げを仰せ附けられない御邸內に暗室が出來たので殿下自ら現像して居られます御手際も非常に鮮かです殿下の寫眞趣味は梨本宮樣が非常に寫眞の御好きな關係から御始めになつたのだといふ事で時折妃殿下や晋殿下の御寫眞を御撮りになる事がありますがモウ大分溜つて居る事でせう

としては喜び此の上もなき次第であります、世子殿下には益々御健康に亘らせらるれば今後も御學事の多きこと、拜察いたします、殿下には御幼年時代から寧ろ腕白な御活潑に渡らせられ如何に初對面の方にでも羞にかむやうな事はあらせられず臣下などにも極めてお氣輕であらせられました、又日常御遊戯を好ませられ誰でも殿下と同年輩の兒童を御覽になれば貴賤の差別無く共に御遊戯あらせられました、上下の階級の甚だしい時代にも殿下は少しも驕りたかぶる御態度なく至つて平民主義にてあらせられました、ですから其頃から殿下の御盛德に感服せぬものはなかつたのであります、御兩親殿下が今日まで御在世あらせられたならばどれ程か御喜び遊ばさるゝでありませうか……』

○幼年時代の王世子殿下

腕白で鳴つた
垠殿下の御幼年時代
お乳を上げた乳母の思ひ出

李王世子殿下の乳母として多年王宮に奉仕せし徐某女史は殿下御幼少の頃の感想を語つて曰く『今回三殿下の御歸鮮につきましては上下擧つて歡び喜んで御迎申上ぐるはいふまでもありませぬが取り分け私として一入嬉しく何んとも申上げやうがありません、私は殿下が五歳の御歳から十歳になるゝまで御乳を差上げました恐れ多い話しですが身分に上下の差別こそあれ私としては御肉身のやうな感じがいたしいとしお懷かしう存じます之れは乳母としての人情でありませう殿下には今日大きく顯れ凛々しい御姿となられ又御學問も御上達遊ばれ仰ぎ見るさへ勿體ない感じがいたします昨夏王子までお設けになられましたが之れは私共

李王殿下の御日常
御趣味は玉突と讀書

けふ御來鮮の三殿下を迎へさせらるゝ李王家御一門のお悦び——それは實に吾々の想像の外であらう李王職事務官長韓昌洙男は王殿下の御日常について語る

お目醒めは每朝十時頃であるがいよく御起床になるのは十一時である。それから正午十二時に御朝食午後四時に御晝食十時に御晩食を攝られて十二時にお寢みになる是がまづ定つた一日のプログラムである御食事は朝と晝は朝鮮料理晩は洋食であるが何れにせよ御前に差上げる時には女官が一々味をする御食事が濟むと御運動の爲め仁政殿東行閣の玉突場へ成らせられる是は殆ど御日課と云つてよい御技倆は

六十點位で

何時も女官や贊侍達がお相手申上げるのだが何しろ殿下は玉突に非常な御趣味を持たれ從つて御熱心だから御技倆もメキくと上達して行くやうである玉突の外は大抵御讀書で殊に『登錄』と云つて何王の時代にはドンな事があつたとか何々王はドンな事をしたとか云つた風なものを書き集めた譯はゞ王家の記錄を好んで御覽になる新聞は每日申報を御愛讀遊ばされるが非常に御熱心でソレこそ始めから終りまで一字も落さぬやうにお目をお通しになる若し御自身御讀の出來ぬやうな場合は女官に讀ませてお聽き取りになる此の位だから大は世界の大勢から小は

市井の雜事

に至るまで何でも御存じで下情にもよく通じて居られる然も御記憶力が强大な事は驚くばかりでよく何日の新聞にはドンな事が載つて居たドノ本の第何頁には斯んな事が書いてあるなど〻仰つしやつてお側の者を恐縮せしめられるやうな事が少くない是はひとり書文の上ばかりではなく一度しか謁見を許された事のない者の顏までチャーンと御記憶になつて居るから驚く御性格は溫厚仁慈の心に富ませられるなど眞に王者の風がある

鳥居坂の喜劇
王世子を訝らせた朝鮮服の婦人
實は妃殿下のお戲れ

李王職事務官長 韓昌洙男談

王世子殿下並に同妃殿下に於かせられては嘉禮後、直に御歸朝の議ありしも、世子殿下には陸軍大學に御在學中のことゝて容易に休暇を得る能はず爲に延期あらせられたが今回いよく實現を見るに至り洵に目出度い次第である李王同妃兩殿下には方子女王殿下と一度の御對面もあらせられざる爲め嘉禮後御歸鮮を促された次第であるが殊に王孫御誕生後は一刻千秋の思ひにて三殿下の同道御歸鮮を待たせられて居つたのである世子殿下同妃兩殿下が京城滯在中儀式には朝鮮衣服を召さるゝ事となつたが妃殿下には著來も御不便に思召されず、高事務官に命じ朝鮮衣服を裁縫せしめられ、時折り試著なされる事があつた或日のこと、毎日の例に依り、世子殿下が大學から御還邸ありし時妃殿下は朝鮮服で玄關までお出迎ひになられた、世子殿下は內心朝鮮婦人の居ることを訝りつゝ玄關を通過せんとすると妃殿下が笑はれたので其の實際で始めて妃殿下なりしことを知られ茲に兩殿下相顧みて哄笑されたといふ話がある、之れを見ても兩殿下のお睦ぶひは實に想像以上に圓滿に渡らせられ、我等に取りて洵に喜びに堪へざる次第である、三殿下に於かせられて同道御歸鮮なさるゝことは勿論曾て無き事で慶祝此上もなき事である。

お馬上手の李鍝公
毎日お拾ひで御通學
よく遊び且つよく學ばれる

李堈公殿下の第二子で李埈公家を嗣がれた李鍝公殿下の事について片岡鍾路小學校長は斯う語つた

李鍝公殿下には當年十一歲で第四學年に在學して居られ受持ちは照崎訓導である御通學の際は常に家庭教師の淺沼顧一氏が御供を申上げて居るが自動車や腕車などの乘物には一切召されず毎日お徒歩で樂しく愉快に御通學雨の降る日も風の日も決して遲刻されるやうなことはない頭腦極めて明晰成績優良級中の模範生である學課の中では殊に算術や綴方に御堪能である最近童謠の思索に耽られ是まで度々佳作をものされた程である我校では貴族であるからとて特別に御待遇申上げず一般兒童と全然無差別で現に公家からの御註文でもあるが放課後は運動場を驅つて居る位である殿下は身體が强健であらせられるから運動方面に對しては極々の趣味を持たれ乘馬は非常に御上達遊ばれたと聞き及んで居る學校では多くの兒童と共に愉快に喜々としてよく遊びよく遊ばれ李達鎔氏の二男である李海明さんとは最も親しい際であるが李王世子殿下が今度御歸鮮なさるに就ては一方ならずお喜びで是非水原まで奉迎すると殿下御つて常日を指折數へて待つて居られます最後に殿下のものされた綴り方をお目にかけませう

櫻谷

きのふ淺沼先生や寺をさんと自働車にのつて櫻谷を見に行きました自働車から下りて中へは入つて見ると櫻が滿開でした。そのそばでは寫眞をとつたり酒をのんだりしています。木の枝には雪でもふつたやうにまつ白に花がさいています。花トンネルと名をつけてよささうなものだと思ひました。淺沼先生になぜ櫻谷といふのですかとたづねると谷に櫻があるからだとおつしやいました。先生がここの役人は花見に行かんでもよかろうといはれました。

垠殿下御略歷

李太王第七子▲母嚴貴妃嚴氏▲明治三十年十月二十日生▲字光天、號明新齋

明治四十年八月韓國皇太子册立陸軍歩兵參尉に任ぜらる○同年十二月日本へ留學家庭教師につき尋常高等小學全科及び中學科第一學年の課程を御修學の上四十四年一月學習院に御入學○是より先日韓併合に際し詔勅によりて王世子と稱する事となる○大正四年十二月陸軍中央幼年學校御卒業後近衞歩兵第二聯隊に御入隊士官候補生に準じ同年十一月陸軍士官學校に御入學○同年五月同校御卒業原隊に復歸陸軍歩兵少尉に任ぜられ近衞歩兵第二聯隊附仰付らる九年四月中尉に陞任大勳位に敍し菊花大綬章を授けらる○同月梨本宮第一女方子女王殿下と御結婚○九年十二月陸軍大學に御入學現に御在校中である

李王の半面

昌德宮警察署に賀と云ふ署長が居る李王殿下のお氣に入りで殿下のお召に應じて屢々內殿に伺候して居るが▲殿下には此の賀署長の顏を御覽になると定つて『今は何時だ』とお訊になる賀署長が自分の時計を見て『唯今幾時でございます』と申上げると殿下は直に御自身の時計を出されて若し時間が間違つて居ればお合せになる▲ソレが一度や二度ではないので御側の者が不審に思つて其の譯をお尋ね申上げると殿下はニッコリお笑ひになつて『賀は警察官だ、だから不正確な時計を持つ筈はないぢやないか』▲又殿下はなかく〱の諧謔家で曾て斯んな話があつた李王職の小宮前次官が退官した當時お側の者が『次官は多年李王職にあつて功勞のあつた人ですから御慰勞金でもお遣しにならねばなりますまい』と申上げた所▲殿下は幾度も首肯いて『よしく夫れで二五錢ばかり遣つたら宜しからう』

(右)李鍝公殿下 (左)同妃殿下

內鮮融和の體現
王世子同妃兩殿下の御歸鮮は

釘本京城商議副會頭談

今回李王世子殿下が妃殿下並に晋殿下御同列にて御歸鮮遊ばせられる事は實に目出度い事である血は水よりも濃いといふ諺があるが妃殿下には我が皇室梨本宮家の出で居らせられ今や御兩方の間に晋殿下を擧げさせられてゐる。內鮮の融和といふ事が無かつたら御結婚の事もなかつたであらうし又假令御結婚の事があつたとしても御揃ひで睦まじく御歸鮮になるやうな事は無かつたかも知れない今日の御歸鮮は洵に內鮮融和の貴い體現である。萬人の均しく仰ぎ悅ぶべき一大慶事であることゝ信ずる。元來內鮮融和には色々の手段も方法もあるであらう是等は總督府其他官民有志の常に講究を怠らない所であるが融和の妙諦は憂ひを分つと共に悅びを共にする事である心から互に悅び合ふのが眞の融和であらうと思はれる。從つて心から互に悅び合ふ機會を見るのは即ち內鮮融和上實に結構なことである。併合以來相共に慶賀すべき事は澤山あつたが今回の如く悅ばしい事は從來に例なき處である。朝鮮人も朝鮮在住の內地人も將た又內地の同胞も悉く今回の御歸鮮を慶祝してゐるもの南大門御着の日を待ち詫てゐるものも實に少くないのであつて平素の意見の相違も感情の疎隔も打ち忘れて相共に慶祝慶賀すべき御歸鮮である吾々は王世子殿下並に妃殿下が每年一度位御歸鮮になつて內鮮人をして共々に悅び合ふの機會を與へ賜はんことを希ひ奉る次第である、啻に國民の至情として希ふばかりでなく內鮮融和の上に絕大の功果があるといふ見地からしても之を仰ぎ望まざるを得ない次第である。

先づ範を兩殿下に
內鮮融和の根本義

伯爵宋秉畯氏談

王世子同妃兩殿下には御結婚後今回始めて御歸鮮なされ御披露の盛宴を張らせらるゝとの事であるが眞個にお目出度い次第である、殿下は深宮の幽殿に婦人近侍の下に御生長遊ばされたが故太王殿下の御英斷で十歲の時始めて東京に赴かれ留學なされた其時から故伊藤公は皇室と王室との間には內鮮融和の深奧なる御意が極めて敦厚にあらせられし事と拜察したとのことである、その後兩殿下の御婚儀が盛調に行はれ晋殿下の御誕生を見るに至つたが要するに我々は上下の階級と貧富貴賤を論ぜず一齊に其の深遠なる御意を遵奉して內鮮融和し內鮮人間には間一髪を隔つるなく朝鮮人にありては自家の嫁婦を內地人より迎へ又は內地人にありては自家の嫁を朝鮮人より貰ふやう實際上兩殿下の御結婚されたる根本精神に符合する樣爲すべきである、尙余は東京に滯在中時々殿下の御英姿を拜するが何時でも其の雄壯なる御行動には感服せざるを得ない、要するに三殿下御歸朝の御盛事に對しては衷情を披瀝して奉迎する次第で又三殿下がますく御安康にあらせられんことを祈る次第である

宗廟
その他
各神殿の解說

王世子殿下には御滯城中方子妃殿下御同列宗廟、璿源殿、毓祥殿、六宮、德安宮等に御參拜の筈であるが

▲宗廟▲ と云ふのは李太王以上十八代の歷代大王の御靈を奉祀した所で府內鳳翼洞にある、鍾路二丁目の方から電車で行くと太廟前で降りるのだすると左手に朱塗の門があつて其の棟の上から蘢蓊と茂つた森が見える其所が即ち夫れである太祖即位の三年卽ち今より五百十餘年前創建せられたもので長棟大厦約卅間古色蒼然として覺えず畏敬の念を起させる

▲璿源殿▲ は府內苑藏昌德宮の西北に接した所にあつて太祖以下李太王まで十一代大王の御眞影を奉安してある其の後方には李王殿下亡妃の御眞影を奉安した懿孝殿がある

▲六宮▲ は儲慶宮、毓祥宮、宣禧宮、景祐宮、延祜宮、大嬪宮の總稱で府內宮井洞にあつて直ぐ後に北漢山が恰も守護神の如く聳り立つて居る元宗外六代大王の御生母の御靈を奉祀した所

▲德安宮▲ は府內太平通り一丁目美術製作所の南方高臺にある朱塗門の一廓がそれで此處には王世子殿下の御生母嚴妃の御靈位が奉安してあると云ふ事だ

奉迎

仁川水産株式會社

仁川客主團合所

仁川信用組合

大阪商船株式會社 仁州支店

不二商業株式會社 仁川支店 仁川海岸町 電話六五二

仁川府協議會員 仁川商業會議所議員 張錫佑

道評議會議員 仁川協議會員 丁致國

遞信局仁川出張所長 圓中友太郎

仁川稅關長 永野清

仁川府尹 深川傳次郎

仁川宮町 電話七九番 上田文次郎

仁川本町四丁目 德永商店仁川支店 電話一四七番

東神火災保險株式會社代理店 米穀 石炭 八浪石炭店 仁川本町一丁目 電話八〇五番

仁川仲町 銃砲 火藥 煙火 共榮社

奉迎李王世子垠殿下

朝鮮銀行

三井物産株式會社

株式會社京城株式現物取引市場

仁川稅關貨物取扱人組合

京城電氣株式會社

朝鮮京城府黄金町壹丁目 農業 開墾 水利灌漑 不動産管理 信託業 不二興業株式會社

米穀雜貨及諸物品委託販賣 移輸入 雜貨販賣 精米業 不二商業株式會社

巴城館 京城本町二丁目 電話長三二一番五〇七番

不知火旅館 京城旭町二丁目 電話二二番長七一九番

天眞樓 京城南山町二丁目 電話六四九番長七二三番

山本旅館 京城本町二丁目 電話長二二五番三二六番

清光館 京城本町一丁目 電話一五一〇八番

浦尾旅館 京城本町三丁目 電話長一〇三番一一七番

京城 三越吳服店

合名會社 鈴木商店京城支店 サクラビール

王妃殿下の御日常

熱心に國語を御勉強

李王妃殿下にはこの頃大抵午前七時から八時までの間に御起床、二人の常番女官のお附添ひで御寢室のまゝ長い廊下を傳はれて純西洋式の大理石づくめの洗面所で御洗面あり朝鮮式のお化粧とお髪上げが終ると紫色の袴に桃色或は淡紅などの上衣を召され大造殿の御居間に入られて王殿下と共に典醫寮から差上げる少量の御朝食（粥のやうなもの二種）を攝られる御朝食後はお側近く奉仕する女官について御近親方の其の日／＼の安否を聽き取られ引續いて典侍司長其の他の御機嫌伺ひを受けられるのが常であるが月、木、土の三曜日は午前十時より御學問所興福閣に於て御教育掛り佐々木女史（鐵道病院長夫人）について國語、修身などを學ばれるが非常に御熱心で昨今は丁度

高女四學年

程度である御晝食は十二時であるが實は是が本當の御朝食で純朝鮮式のお料理が數十種も附くと云ふ事である午後は朝鮮の儒者を召されて漢文習字を學ばれ二時頃からはお慰みにピアノをお彈になつたり或は小撞球室に向つて女官をお相手に玉突き遊ばしたりされるそれから御夕食までに御入浴をすませられ四時には又々王殿下と樂しい夕餉（實は御夕食）のお膳に向はれるのだが御夕食には折々西洋料理を召される由夜は多く女官相手に四方山のお物語り

偶には古い

本を繙かれるが名婦傳や節婦傳などは殊に殿下の御愛讀遊ばさるゝ處で御就寢は大抵十時から十一時迄の間であると妃殿下の御聰明なるは近侍の人々の常に敬服して居る所であるが殊に今回は王世子妃方子殿下との御對面を一日千秋の思ひで待ち受けられ愈其の御歸鮮のお日取が決定してからは日夜女官を督勵して方子殿下の召される朝鮮服を多數調へさせられるなど近侍の人々をして今更の如く御情愛の深きに感激の涙を絞らしめられたと云ふ

お髪は大抵束髪　お常着は多く銘仙

前例を破つておみづから御哺乳　妃殿下の御近情

方子妃殿下の御日常及び今回の來鮮についての御模様をと一日葉櫻薫る麻布鳥井坂の御邸に伺候した正門內西側には淡紅の八重櫻が咲き綻び泉石に閑かな邸內の春を語つてゐる、玄關左手の應接室に暫く待たされ高事務官不在の爲め林屬官から妃殿下の御日常について何くれとなく承はる（婦人記者）

かねてお德高き妃殿下の事とて今回の御渡鮮について御心づかはれる事は一通りでなく言語の修業の外折々高事務官夫人を召して朝鮮服の著こなし方を始め純朝鮮式の御禮式をさへ御修業あり昨今では殆と御修業も終らせられ且つ李王同妃殿下に御對面の日を一日千秋の思ひでお待ち遊ばされて居るそうである方子妃殿下の御聰明さはこれによつてその一斑が伺はれる譯で近侍の人々も唯々恐れ入るばかりであると又殿下には高貴の御身であり乍ら常に其御生活狀態なども至つて質素を旨とせられ御頭髪の如きも多く簡便な束髪に結ばれ銘仙などの御着用も珍しくないそうであるそして晋殿下の御養育にお心をそゝがせられる事一通りでなく先に御召しの乳人をさへ廢され看護婦一名を召されたのみで宮家多年の慣例を破られ御自らのお乳を以て晋殿下を御育て遊ばされるのみか最近は育兒に關する數多の書籍なども御購入になつて只管蝶よ花よとお慈み遊ばされて居るさうである

單に『母性』としても優れた御方

合理的な御養育振り　御用掛　櫻井鉚子夫人談

今回王世子妃殿下の御伴として來鮮さるゝ御用掛櫻井鉚子夫人は元海軍造船大佐櫻井省三氏の夫人で方子女王殿下の御母君梨本宮守正王妃伊都子殿下が鍋島家から宮家へ妃殿下として上がられた時から御用掛りとして奉仕し方子女王殿下が王世子妃殿下にならせられてから引續き御用掛りを拜命され妃殿下の社交方面は無論御相談相手として令聞高い方である一日本鄕西片町の御宅にお訪ねして晋殿下の御模様を伺ふと鉚子夫人は出立前の荷造り等の繁忙時にも拘らず和洋折衷の美しい應接室に通して次の如く語られた（婦人記者）

李王の宮に御對顏の事は久しい間の御希望でありましたが愈實現の時となり方子殿下の御喜びは實に一通りではありません晋殿下はこよなく御健かにいらせられ昨今は下二枚の御齒さへ見え初めお可愛さ御增しにましたのは何よりのお土産でございます、方子妃殿下の晋殿下御養育に御心をおつかひ遊ばされる事は實に恐れ入るばかりその以前遊ばされてゐた御趣味などは無論乳人の方すら廢せられてすべてを御養育の時に宛させられ昨今では三時間目に御哺乳遊ばしますので假令御外出遊ばされてもまだ嘗て時をたがへさせられた事なく長時間を要する處には前以て御列席を御斷り遊ばすといふ位に慈い御母樣としての御責任を充分に御感得遊ばされて居られます尚御寸暇の折は晋殿下の御召物の上にお針を持たせられ御常著などは衛生と保温の目的から殆どメリンスづくめでございます以上の事からしましても妃殿下が母性としての御自覺の深くいらせられ且つ因襲を打破して合理的な方法で御養育遊ばさるゝ御聰明に感動せずにゐられません

又李王家よりの御使として東上した李王職掌侍司長韓昌洙男は王世子邸に伺候して三殿下に接見した模樣について記者に語る

私が御對面申上げた際は妃殿下自ら晋殿下をお抱き遊ばされ親しくお話し申上げたが私達は晋殿下は唯御寫眞のみで拜見して居たのでしたが妃殿下のお腕で無邪氣にお笑ひ遊ばすお姿を見た所寫眞以上に肥へて居られ御成長の速かな事に驚くと共に嬉しくて／＼ならなかつた私が京城出發の際王殿下にお暇乞ひを申上げると『一日千秋の思ひで待ち詫びて居ると云ふ事を傳へて呉れ』とのお言葉であつたから此旨を王世子殿下にお傳へすると世子殿下には『自分も一刻も早く御對面申上げ度い』と仰しやつた私は御友情厚い世子殿下のお言葉を聞いて今更の如く感に堪えなかつた

記者は最後に三殿下今回の御歸鮮に就て朝鮮官民に普く御旅程の御安全を希つて止まない旨を言上方依賴して引取つた（東京にて秋山生）

御幼年時代の　方子妃殿下

朝鮮組で伺候攻めの王世子邸

皆大滿足の態

鳥居坂王世子邸へ伺候する朝鮮よりの團體數は增し昨今は一日五組乃至七組は屹度あると玄殿侍は語つた記者が談話中にも二團體のために茶菓の接應をして居たが何れも非常に滿足して退邸して居るのを見た右に就て櫻田本鄕町の總督府出張所に鵜澤事務官を訪ねると丁度不在中で光永屬が代つて語る。

昨今の朝鮮よりの團體入京者は實に大したもので本日（十七日）滯在中の大小團體は二十餘ある其の全部を王世子邸へ紹介する譯でもないが王世子邸へ伺候する團體は全部當方を經て行く譯です。又入京團體の案內の爲めに去る三月十日から特にこれ等の目的で案內者十五名を雇入れて團體入京者の便宜を計つて居ます云々

（左）李鍝公殿下

（右）德惠姬

滿點づくめの德惠姬

算術は最もお得意　家庭教師住永女史の感話

故李太王殿下のお遺見で李王、李堈公、王世子各殿下の異母妹に當る德惠姬（本當は德惠翁主と申上げる）の御近情について御養育掛住永女史は語る

德惠姬は現在日出小學校三學年に御在學中ですが毎朝七時には屹度お目覺め決して時間の入に起された事はありませんそして御登校の準備を遊ばし八時半になれば馬車に召され女官のお供で御登校なさるのが例です御入學後一年の間は一度も遲刻或は早退なされた事無く又先生の言は何事によらず規則的に嚴守されます從つて平民的の方で休憩時間など學友等と遊しの際でも極めて活潑に遊戲して居られます今年の進級試驗には學科全部滿點と云ふ御成績を擧げられましたが特に國語と算術は最もお得意です御還宮の時間は午後二時半或は四時で御還宮後約一時間は必ず私がお復習申上げるのですが御記憶のよい事と聰明の才に秀で居られる事は實に驚くばかりで何うしても普通のお子供衆とは違ふやうです、更に德惠姬が今日の時代に御成人遊ばされ眞心御勉強なさる事が出來るは歷代未だ得て無き御幸福であると思ひます

妃殿下御略歷

守正王第一女（母伊都子）明治三十四年十一月四日生

明治四十一年四月學習院女學部第一學年に御入學大正三年四月同校中等科に御進級（八年一月勳二等に敍し寶冠章を賜ふ）○同年三月同校御卒業○九年四月王世子殿下と御結婚遊ばさる

御日程

王世子殿下御滯城中の御日程は概略左の如くであるが更に一般の參考までに重複を厭はず掲載する事とす

第一日（四月廿六日）
一若宮各殿下南大門御著石造殿に入らせらる
一王世子殿下昌德宮御伺候

第二日（同二十七日）
一王世子殿下昌德宮御伺候
一在京城陸軍將校陸軍儀禮に依り參殿伺候

第三日（同廿八日）
一王世子妃殿下覲見の儀を行はせられ了つて御近親御接見
一若宮兩殿下左の諸員御接見
李王職高等官同夫人
御親戚並に朝鮮貴族及優遇者同夫人
文武勅任官以上同夫人
各國領事同夫人
奏任文官並に京城府尹の帶同する公職者（所定の場所に整列）
一若宮兩殿下李堈公邸御訪問
一昌德宮兩殿下並に若宮兩殿下晩餐御會食李堈公同妃殿下陪席

第四日（同廿九日）
一若宮兩殿下宗廟永寧殿廟見の儀を行はせられ尚各殿下璿源殿御展謁

第五日（同三十日）
一若宮兩殿下六宮德安宮並に大院君廟御展拜

第六日（五月一日）
一王世子殿下宗廟大祭に御參列
一王世子殿下洪陵裕陵並に永徽園に御參拜
一王世子殿下總督官邸御訪問

第七日（同二日）
一昌德宮兩殿下並に若宮兩殿下晩餐會李堈公同妃兩殿下陪席
一昌德宮兩殿下御主催第一回午餐會御招待御親戚貴族李王職高等官等同夫人

第八日（同三日）
一王妃殿下御主催晩餐會（御內宴）
一昌德宮兩殿下主催第二回午餐會御招待文武勅任官以上外國領事等及同上の夫人
一王妃殿下御主催レセプション御招待昌德宮に縁故ある夫人並に內人等

第九日（同四日）
一王世子殿下軍司令官御訪問
一李堈公殿下主催の午餐會

第十日（同五日）
一昌德宮兩殿下御主催園遊會
御招待文武奏任官並に民間の主たる者同夫人

第十一日（同六日）
一總督同夫人主催午餐會

第十二日（同七日）
一軍司令官主催の午餐會
一若宮兩殿下御主催御內宴晩餐會
昌德宮兩殿下御臨席

第十三日（同八日）
一昌德宮兩殿下若宮兩殿下御會食
李堈公同妃兩殿下陪席
御招待若宮御滯在中の關係高等官等

第十四日（同九日）
一若宮兩殿下御出發

李王同妃兩殿下を始め一日千秋の思ひにて

お待ち兼ねの事ならん　男爵趙東潤氏談

今回李王世子殿下同妃方子女王殿下並に晋殿下の御歸鮮遊ばさるゝ事は眞に慶祝に堪へざるも其の裡には一喜一憂の感の無からざるを得ないのである、兩殿下嘉禮御擧行以來吾々は今日まで一度も謁見する機會が無かつた尚更晋殿下御誕生あらせられた事に對しては何んとも譬へやうのない喜びの情の湧き出づるを禁じ得ない李王同妃兩殿下に於せられても一日千秋の思ひにて御待兼ねであらう、けれども一方から考へると李太王殿下には世子の御慶事の際には此の世にあらせられず昇遐遊ばされ洵に悲しみに堪へぬ次第で今回の御歸鮮については殊に此の感を深らせざるを得ない余は殿下と與外六寸たる威分にあり御東渡當時は陪從武官長として殿下に侍側して居たが其後不幸にして病にかゝり歸鮮せし以來嘉禮當時にも一度も進謁する能はず遺憾に思ひ居りしが今回御三方御同列にて御歸鮮に相成り洵に喜ばしい次第である之につけても吾々は兩殿下の意を體し內鮮融和の精神を飽迄も把持し一家兄弟の如くならんことを希望せざるを得ない

若し太王殿下在しまさば

其の御喜びは如何許りか　渡邊高等法院長談

此の度李王世子同妃御兩殿下御歸鮮遊ばさるゝにつけても思ひ出さるゝは故李太王殿下が殊の外垠殿下を御鍾愛遊ばされたことである、取り分け晋殿下を設けられ御三方打揃ふて御歸鮮の事とて其の御喜びは如何ばかりであつたでせうに……今は此の世の人にあらず又此事を思ふにつけ垠殿下の御心中を御推察申上げ吾々としても無量の感に堪へません今回垠殿下には妃殿下晋殿下を親しく御近親の方々に御引合はせさせられ更に御祖先の廟參又は諸臣に謁見を賜はるやに承はつてゐます下々の吾々は此の際如何にせば此の光榮に酬ゆる事が出來るかを衷心考へて居ります

英宗太王の御眞筆

北漢山の南麓李王家六宮內の便殿に『風月軒』と云ふ扁額が揭げてある門外漢の目にも實によく書いてあると思つたのも道理是は成宗太王に次ぐ李朝の能筆家英宗太王の御眞筆だそうな

奉迎李王世子垠殿下

仁川學校組合議員　仁川商業會議所議員　中條榮藏

仁川濱町　仁川造船鐵工所　電話二三八番

仁川商業會議所議員　矢上丑之助

仁川花房町　中村運送店仁川支店　電話二八九

遞信局仁川出張所　鈴木勇之助

仁川山手町　能治齒科醫院　電話三五〇

土木部仁川出張所長　武藤倍雄

貴金屬時計商　糸岐商店　電話二七〇

仁川郵便局長　齋藤小一郎

仁川松函組合

仁川宮町　吉田精米所　電話長三一七番

仁川煙草元賣捌組合

仁川內里　日鮮人向雜貨　赤松商店　電話七六六番

仁川花町　上城酒造場　電話七五八番

府立　仁川病院

仁川本町　萬盛庵　電話八四三

仁川本町四丁目　南方竹次郎商店　電話一六六番

朝鮮郵船株式會社

サツポロビール　大日本麥酒株式會社　京城出張所

京城電氣株式會社仁川支店

朝鮮殖產銀行

平壤慈惠醫院職員一同

京城醫師會

東洋拓殖株式會社

町田新聞舖　本店　京城本町二丁目　電話長一七五番　振替口座九九番　支店　京城水標町　電話一四一六番　龍山漢江通　電話五二一番　仁川本町　電話長四五番

キリンビール發賣元　宮內省御用達　株式會社明治屋京城支店

御帰鮮奉迎

鎭南浦郵便局員一同

鎭南浦第二公立普通學校職員一同

鎭南浦三和金融組合職員一同

鎭南浦商工學校職員一同

鎭南浦 富田儀作

平壤監獄鎭南浦分監 職員一同

鎭南浦稅關長 釜瀨富太

朝鮮鎭南浦府港町 滿洲製粉株式會社 鎭南浦工場 電話鎭南浦長四四八番・二三三番 發信略號(マ)又ハ(マン)

鎭南浦警察署長 佐土原岩熊

株式會社朝鮮銀行鎭南浦支店
株式會社朝鮮殖産銀行鎭南浦支店
株式會社大同銀行鎭南浦支店

鎭南浦府尹 橋本豊太郎

鎭南浦公立尋常高等小學校 職員一同

鎭南浦 西崎鶴太郎

鎭南浦高等女學校 職員一同

鎭南浦府立病院 職員一同

鎭南浦公立普通學校 職員一同

平壤商業會議所評議員 吉田與市 電話長一六番

平壤承認運送店組合
內國通運株式會社
平壤支店
協同組平壤支店
小林運送店
大和組運送店
荒金運送店
南浦組
西洋運輸組
永盛運送部

平壤大同江土木部出張所長 本間德雄

平壤驛町 三根旅館 電話長二五六番 長四三〇番

平壤高等女學校 白神壽吉

平壤櫻町 東洋電氣商事合資會社 平壤商業會議所評議員 代表者吉川勝太郎

平壤中學校 鳥飼生駒

平壤山手町 柳屋旅館

清水組京城出張所 京城府黃金町二ノ二〇一 電話長三四九番

京城府漢江通十一番地 龍山停車場前
專賣特許宮崎式ペチーカ 新案特許宮崎式ペチーカ 販賣 各種建築設計
宮崎組 電話龍山長八四二番
支店 大連天千代田通三河町 電話長一七三二番・一二四二番
出張所 平壤 山縣長春 南 安東縣 四平街 本溪湖 大石橋

京城南大門前 朝鮮總督府御用達 官報其他諸新聞賣捌 合名會社 盛文堂 電話四二六番
龍山驛前 盛文堂支店 電話四一四番

株式會社第一銀行京城支店
株式會社百三十銀行京城支店
株式會社十八銀行京城支店
株式會社朝鮮實業銀行
株式會社朝鮮商業銀行
株式會社韓一銀行
株式會社漢城銀行

朝鮮火藥界ノ權威
日本火藥製造株式會社朝鮮一手販賣店
獨逸ハンブルグノーベルダイナマイト會社朝鮮一手販賣店
朝鮮火藥株式會社 京城府長谷川町八十四番地 電話一〇七九番

京城本町一ノ四八番地 電氣機械販賣 電燈電話工事 請負電氣諸材料 コシダ電氣商會 電話一四三〇番 振替京城六五六七番

宮內省諸官衙御用達 須賀商會 京城太平通二丁目大漢門前 電話長本局一八三五番

朝鮮活動寫眞株式會社 鮮活直營 中央館 京城永樂町三丁目 電話本局三〇一番

營業科目 水道、衛生、煖房、温水、灌漑、噴水、事業設計請負、各種機械工具販賣、最新式湯沸器便器洗面器、永道用諸器具、瓦斯管鉛管ゴム管、パイプ類販賣、建築用各種タイル類販賣
芳賀商會 京城永樂町二ノ七 電話本局一四〇一番

平安南道廳 高等官一同

朝鮮平壤府南門町 圖書雜誌、和洋紙帳簿、文房具、活版印刷、運動具 脇坂文鮮堂 電話二四番・一四三番 振替貯金口座京城九二番

平壤電氣株式會社 電話長五六番 電話六三七番

平壤憲兵隊 小川市之烝

平壤商業會議所議員 平松亮三

平壤府南山町七番地 辯護士 瀧本理 電話五三〇番

平壤商業會議所會頭 福島莊平

平壤監獄署 職員一同

小野田セメント株式會社 平壤支店

大邱府本町 ㋡松前商店 出張所所在地 京城、釜山、金泉

朝鮮銀行太邱支店
殖産銀行大邱支店
鮮南銀行
大邱銀行
慶尙共立銀行
慶一銀行
漢城銀行大邱支店
東拓會社大邱支店

大興電氣株式會社 大邱府東雲町

組大邱製絲所
朝鮮生絲株式會社
片倉製絲紡績株式會社大邱製絲所

大邱穀物組合 大邱府大和町

平壤府大和町 奥田洋行 電話二二一番 一二五番 三三六番 八八五番

奉迎
朝鮮銀行平壤支店
朝鮮殖産銀行平壤支店
漢城銀行平壤支店
漢城銀行大和町出張所
百三十銀行平壤支店
大同銀行
東洋拓殖會社平壤支店

平壤高等普通學校 教職員一同

朝鮮電氣興業株式會社 電話長三四四番 電話八四九番

平壤女子高等普通學校 教職員一同

平壤料理店組合

滿鐵事件の公判＝森氏審問

升やな法螺を吹くなど云ふか

……位であつて價格は五百萬圓少き……三田村……安藤氏より三好龜吉の手に……り掛に農商務省の許可を受けて日支合……百萬圓の價値はあると認めました所……から資金の一部を……と問はれて片山理事と面會したる模樣につき……申しましたと陳述し夫れより森氏の……政友會に入りたる時より代議士に……高木陸郎飯田延一上し……尙一段内輪に見積つて百萬圓内外……ると語つて居るが如何か』と問はれて……

王世子殿下

＝少尉任官當時＝

＝御留學の當時＝

＝幼年學校時代＝

＝御幼年時代＝

＝御幼年時代＝

雲深き昌德宮は歡喜に包まれ
京城全市生色に滿つ
三殿下今宵六時御入城遊ばさる
有史以來空前の御盛事

御成婚以來全鮮上下官民を擧げて最も熱望して止まなかつた李王世子垠殿下、同妃方子女王殿下御同列御歸鮮の儀は茲に愈實現し兩殿下には晉殿下御帶同今二十六日午後六時十五分戰風一路御恙もなく御入城遊ばされる事になつた

皇室 の御血を享けさせられた妃殿下が王家の人として親しく朝鮮の地を踏ませられるのは全く始めてゞあつて實に有史以來空前の御盛事と云はねばならぬ妃殿下には夙に御貞淑の譽高く殊て吾等民衆の崇敬措く能はざる所であつたが世子邸にお輿入れ以來其御賢德は彌々輝き渡りよく

王家 の御家風を御理解遊ばされ宮に於ても鮮語を學ばれ朝鮮服を召されて鋭意其の風俗習慣に同化せんと努められつゝある御模樣である而に融和協同の好龜鑑として吾等の感激措く能はざる所である今や雲深き昌德宮は歡喜に包まれ京城全市又生色に滿つ三殿下の御入城に際し吾等は京城日報の名に於て本紙幾萬の讀者と共に滿腔の誠意を捧げ謹んで奉迎せんとするものである

學校生徒の奉迎要項

二十六日王世子殿下御入城に付總督府にては之が奉迎送に關する件及提灯行列並に石造殿參候旗行列等に關する諸般の要項を發表した概略左の通りである

各學校にては二十六日午後五時四十五分迄に生徒を所定の位置に整列せしむる但し笑福旅館より南大門迄は最初電車線内側車道に整列せしめ御通過約二十分前電車運轉停止と同時に電車線路へ後退せしむ而して殿下御退城の當日は石造殿御殘の時より三十分前に前記同樣所定の位置につく事になつてゐる

提灯行列 三日夜擧行

尙各學校にては來る五月三日午後八時より松村道學務課長統裁の下に盛大なる提灯行列を行ふ事になつた此行列は第四隊に區分され各隊は第一第二の二組によつて組織される事に決定した即ち

第一隊、第一組京城法學專門學校　第二組高等商業學校
第二隊、第一組京城師範學校▲第二組京城中學校
第三隊、第一組龍山中學校▲第二組善隣商業學校
第四隊、第一組鐵道學校

右の如くで順路は德壽宮大漢門より石造殿前に至り用康門を出て解散する豫定で各隊引率者は各組の石造殿前に極まる頃を見計つて萬歲を三唱せしめる事になつてゐる

初等學校の旗行列 二日午後二時

京城府内初等學校にては來る五月二日午後二時二十分迄に大漢門前廣場に各生徒を集合せしめ吉松府尹統裁の下に盛大なる旗行列を擧行する事になつた而して石造殿中央に向ひ全部停止したる後指揮者の合圖によつて萬歲を三唱せしむる豫定であると但し尋常科第二學年以下の生徒及第三學年以上の生徒と雖も平素病弱の者は如何なる事あるも參加せしめざる樣注意されたしと

二十分間停電 御到着時刻に

李王世子殿下一行が二十六日午後六時四十五分南大門驛御着に就き電車課では御到着時刻は吉野町、南大門驛前まで二十分間電車を停車し又御通路は隨時停車する旨龍田電車課長より昨日運轉手車掌に對し訓示した

赤十字社員と愛婦奉迎心得

王世子殿下二十六日午後六時十五分南大門驛御着に付赤十字特別有功京社員並に愛國婦人會役員は御着二十分前迄に驛構内に出向係員に名刺を差出し建札所定の場所に奉迎し一般社員會員は多數に付驛前構外に設置しある建札標示の地點に整列奉迎されたしと

臨時救護所

日本赤十字社朝鮮本部にては王世子殿下御著發兩日南大門驛前及京城日報社前二ケ所に臨時救護所を設け應急救護の施設をなす由

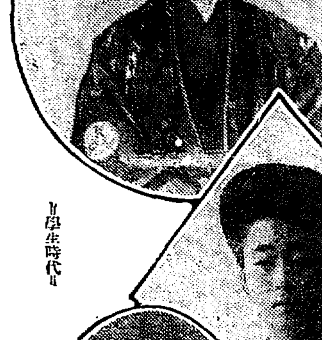
新羅丸の化粧

王世子殿下御召し連絡船新羅丸は廿五日朝入港と共に直に荷物の積卸に着手し船内の大掃除及び御召用船室の裝飾模樣替へ等に忙殺されて居る（下關電報）

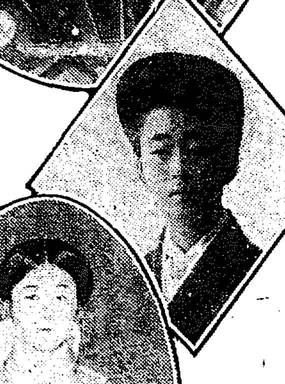
方子妃殿下

＝御結婚後＝

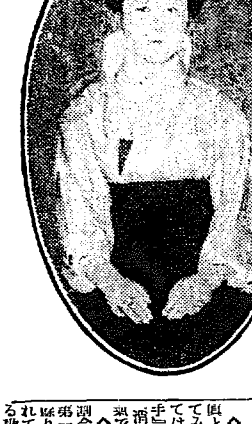
＝學習院御卒業後＝



＝御輿入れの日のお姿＝



＝學生時代＝



＝同じく學生時代＝

プリンス、オブ、ウエルスの御動靜

雨中の蘆の湖御遊覽
霧深き湖上に發動機船を浮べられ
攝政宮、東伏見兩殿下と御舟遊

廿四日は雨で閑寂の箱根は一層靜かであつたプリンスは午前七時頃御起床山の空氣を御堪能遊ばされたそうして當日の芦の湖御遊覽の御豫定は『雨でもやる』との御仰があり接伴員は雨中の準備に忙殺された（箱根電報）

十分間で御止 二間先も見えぬ湖上

プリンスは二十四日早朝御朝食後脊廣服に御召替へになり攝政宮殿下、東伏見接伴の宮殿下と御一所に自動車に御召になつた攝政宮殿下の御服裝も背廣服であつた正午蘆の湖に御着御後モーターボートで湖上の舟遊を遊ばされたが當日は雨と霧の爲に二間先が見えぬ位、爲めに十分間程で船遊びを御止めになつた同夜は岩崎邸に御泊りになつた（湯本電報）

樂燒に 興がらせ給ふ

前日おそく今村氏の別莊に入らせられた英皇太子殿下には樂燒に興がらせ給ひ裸體に帽子を冠つた英國人や櫻の花等を描かれたが夫れが濟むと岩崎邸に御歸りになり玉の樣な溫泉に御浸りになり非常に心持がよいとの御仰あつた（箱根にて特派員發電）

箱根一帶 天候險惡 舟遊御中止

英皇太子殿下には二十五日蘆ノ湖に成らせらるゝ豫定の處二十四日の下山分にて通路の湖畔は連日の降雨に御通過困難なると又二十五日は箱根一帶天候險惡の豫報あり蘆ノ湖の御舟遊は斷然御中止となり二十五日は箱根に悠々御靜養あり今二十六日は午後九時半湯本驛發同四十五分國府津發京都に向はせらるゝ事となつた（湯本電報）

活辯を脅迫 僞探偵社員

原籍佐賀縣西松浦郡當時府内黃金町二の六一番地居住小川莫武彥（二八）は朝鮮ホテルに目下滯在中の秘密探偵社小林某より屈傭されたと自稱して喜樂館等に出入の上活辯に對し身元調査の結果素行不良と認められ許可されぬから出金せば好都合に取計ふと脅喝し或は某家の主婦に姦通せることを探知して居るが萬一出金なき時は世間に曝露すると脅文句を並べたが孰れも不成功に歸した事本町署刑事に探知され取調べの上二十五日身柄は檢事局に送致さる

無錢遊興訴らる

府内櫻井町一三二大工職林田孝嘉（二二）は二十一日午後七時ごろ龍山彌生町貸座敷花月に登樓し娼妓チヨ子を相敵に金十八圓六十錢の遊興をしたが懷中無一物なので遂に龍山署に詐欺遊興の告訴を受け目下取調べ中

浪花座の雇人 商品費消して御用

府内本町五丁目浪花座雇人岐阜縣稻葉郡川島村生れ尾關嘉一（二九）は京城府北米倉町古賀商店に雇はれ中本年一月頃取引先より集金したる現金百六十餘圓を拐帶して渡鮮し爾て府内に潜伏せる處を此程西大門署の手に逮捕され二十五日檢事局送りとなつた

本社見學

平南德川郡農事視察團員三十餘名は郡屬安達武士氏に引率され安城公立尋常高等小學校の學生十八名は校長有坂嘉松氏と教員に引率され何れも二十五日午前本社を參觀し、モノタイプ、輪轉機等の新機械には特に感嘆して居つた

負傷した囚人を麻繩で吊し
看守部長等が嬲り殺す
被告の玉川看守長は事實を否認してゐたが 裁判長に再三突込まれてグツと詰る
春川分監疑獄事件の公判

西大門監獄春川分監に起つた囚人殺し疑獄事件第一回公判は二十五日京城地方法院野村裁判長、萩、花村兩陪席判事係り開廷した被告は分監長藤田久、看守長玉川三次郎兩名の外看守部長河野定吉、福地正一郎、小林義一及び囑託醫師平田喜六の三名が職務瀆職と云ふ頗る大袈裟な犯罪で其の事實は

昨年十月四日同分監在監囚殺盜罪懲役五年の白三甫（二）が囚人三十一名と共に同地から一里半の藥泉里に石炭作業中看守人の隙に乘じ逃走したそれを夕刻看守尹接撲が山中で捕へたが其際看守尹接撲が腰部に長さ二仙米許りの淺い創傷を負はせた、監房に引致後當面の責任者として玉川は白を眞裸にして散々毆打凌虐を加へたそれは淺虐から出た事であつたが福地、河野、小林等も面白半分で白を凌虐し剩へ麻繩で吊し上げて半殺しの目に逢せたので元來慢性腎臟炎や初期結核性肺炎に罹つて身體虛弱の白は此の不法逮捕凌虐暴行の爲に堪へ兼ね同夜八時頃死亡したので大騷ぎとなり分監長藤田は狼狽の餘り折柄急報に接して出張した囑託醫平田に頼んで白の死因は先に尹看守が與へた創傷が原因で死亡した如く診斷書を書く樣依頼した平田は其の際こんな小さな傷では到底死因にならぬと跳付けると小林は早速白の死體に印せられた鞭傷に擬縛の繩を突込んで瘢痕傷を大きくした

茲で平田も多くの犯人を出す事を恐れてゐる藤田に同情して該創傷が元で死んだ如く診斷書を作成し一方藤田は尹看守に全部の罪をなすりつけ恰も尹看守が白を逮捕する際過失傷害致死罪を犯した樣に調書を作成して春川支廳檢事局に屆けたが遂に發覺したものである

裁判長は劈頭に福地より取調べ次いで玉川、平田と事實の審問を重ねた福地は恐縮しシドロモドロに應答してゐたが玉川は被告事件の取調べを全然否認し自分は他の被告が自白して居るから白狀せよと迫られ止むを得ず無罪の事實を述べたので決して死に到る程の行爲が無いと陳述したが裁判長から再三突込まれグツと行きつまつたりして兎に角審問が終り平田は皆々の爲め氣の毒で頼まれた儘やつてやつたと洒々たる態度であつた正午休憩午後一時續行となる

破血團
鐵道を爆破す 邦人三名戰死

二十四日陸軍省着電に依れば昨今強盜の被害多く二十二日午前九時半頃ニコリスク基點五十三露里（リブフイツイ北方）驛に於いてパルチザンの爲め鐵道爆破に遇ひ我が郵便車は狙撃され郵便車常務員赤星實外二名は戰死した之れが爲め十一師團の五十三露里間の守備隊（定員二十名）は之れと戰鬪中にして我軍はリブフイツイより守備兵を左方面に增援した（東京電報）

氏名詐稱發覺

潮水洞七五番地寄宿舍監朴東烈（二）は東京へ遊學する爲め竹井町一一三番地李仁永と詐稱し内地旅券下附願を本町署に申請したが身元調査に依り惡事が露顯し目下取調べ中である

其筋の多忙に乘じて
無政府主義者の活躍
秘密結社を組織して不穩文書を頒布
不敬漢六名檢擧さる

警視廳では英皇太子殿下御警衞に多忙なる爲め無政府主義者は五十餘名より成る秘密結社を組織して不穩文書を全國に頒布せんと企てたのを警視廳にて探知し大活動の結果山田外人外（二）六名を檢擧し不敬罪として送致したが尙他に重大事件潜むらしく警視廳は極力搜索中である（東京電報）

飛行機より出火
家屋二戸を燒き盡し 藤谷近藤兩氏大火傷を負ふ

山口縣大島郡蒲野村出身飛行家藤谷宗一助手近藤辰之助の兩氏は同地旅館柳屋方に宿泊し二十三日午後七時頃破損の飛行機修繕中突然火鉢の火がガソリンに飛んで失火し飛行機一臺と家屋二戸を燒失し八時鎭火したが兩名とも大火傷を負ひ重態である（山口電報）

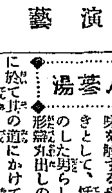
觀行畫伯入城

朝鮮、滿洲、支那繪行脚の途次にある高橋觀行畫伯は入城山本旅館に投宿した氏は美術院係の畫伯であるが會は來る九月東京白木屋に於て朝鮮支那の旅行に依つて得たものを展覽公開する計畫である、因に氏は京城後援會の依頼に應じて製作してゐるが希望者があれば其の作品を頒つても善いそうである

六名共謀して 田舍者を騙る

抱川郡郡内面上城北里六三前科四犯李祐純（三）同西面新浦里四二全前科一犯李英基（三）仁川府原町一の一〇前科三犯李昌根（三）同外里一六一盧許根（三）同花邨里五李平植（三）の六名は常に一定の住所生業なく京城仁川間を往復し田舍者と見れば馴々敷接近して所持金を卷き揚げて居たが三月下旬平北定州郡阿耳浦石山洞白容濟（三）が鍾路五の六三旅人宿金方に宿泊し何處へか就職せんと奔走するを偶々同家に止宿する前記の六名は之を聞き込み一儲けせんと共謀の上鐵道員に就職口があると甘言を弄し所持金二百圓を詐取せんとしたが遂に惡事が露顯し二十五日檢事局に送られた

演藝



黃金舘の歌劇

◇二十四日夜雨を冒して歌劇と寫眞とを併せ出して居る黃金舘を覗いてみる。月曜日でしかも雨の夜としては大入りである。人情劇『女運轉手』五卷、連續活劇エデイポロ出演『所謂る短劍』四卷の寫眞も非常な人氣で迎へられて居る

◇新奇歌劇『あとを追ふて』二幕は調合に調子の弱いもので無いからう、運ばれて行く節にも味が無いし、出て來る歌にも妙味が無い第一回興行としての出し物としては餘り有利なもので無いから

◇京城で常設舘としての黃金舘に於いて、一座は出し物を氣取つた選擇をするから惡い、もつと初步な處から京城に種を下せ。それから此の一座が最も殘念として居る唄手も一日も早く招聘されんことをファンの中入りをして希望して置く、然し女優連には歌川、竹内、松山と出來る人も有る樣ではある

◇何しろ日本の劇界には餘に唄へる人が指を折る程も無いことは僕も知つては居る。で無理は云はぬが今少し歌に對する熱心家を望む

◇『瀧』では竹内まり子と陸翔初代が目立つて居る。男優に中井哲哉、原放夫、高木正夫等が何れもコミツクの的な技倆を發揮して居つた。次興行には『双六』を出すと云ふから大替りは當てることであらう

映寫幕

▲中央舘　廿七日より新映畫、寶塚陶器の製法、滑稽リボル屋のゴルフ喜劇押生三階笠（六卷）活劇鍛の舞踊（前編四卷）新派花夜叉（五卷）等

▲大正舘　廿六日より特別大興行、寶塚スクリンスナツプシヨット第七卷、喜劇化物屋敷、西劇女大盜（五卷）海洋大活劇地獄船（五卷）新派大悲劇已が罪（六卷）入場料は値上せずと

人蔘湯

春正に酣、折花攀柳の趣味を解するや否やはサテ措きとして、恬淡洒落直情徑行垢抜けのした男らしき點に於て山形屋丸出しの邪氣のない點に於て其の道にかけても相當有名なる人氣を博するに運ひあるまいと思はれる、第二十三聯隊經理部長松田直治郎氏が▲頃者ある招待の宴席で自作の鴨緑江節なるものを得意氣に綜合せ試驗濟みの上記者に示したのを茲に紹介する▲『嵐吹くや岸邊の若あしや、縺にかがされ、火にやかれ、生ひ出るよしもなけれども、高麗のたみ草色まして』▲も一つ自作の『男の意氣地が何處で立つ』の前文句を忘れたが之は殘念だつた

院長上京中の處本日歸院從前の通り診療に從事仕候
大正十二年四月二十三日
京城旭町一丁目
嶋崎病院

奉迎李王世子垠殿下

平壤府協議員 下鳥磯八

平壤商業會議所評議員 山村章

平壤港町 平安南道評議員 大橋恒藏

平壤府尹 楠野俊成

平壤商業會議所評議員 富田晋二

平壤商業會議所評議員 荒木武雄

平壤警察署長 齋藤金祐

平壤商業會議所副會頭 平壤府協議員 在間行太

平壤府寺町 平壤典禮株式會社

釜山府廳府尹 本田常吉

釜山郵便局長 小島源藏

釜山稅關長 松井房治郎

土木局釜山出張所長 榛葉孝平

慶南岩南半島獸疫血淸製造所長 望月瀧三

京城明治町一丁目 金銀白金印章指輪彫刻專門 八谷西海 振替四二三二番 特別御急ぎの時は一時間位に彫刻差上候

京城東四軒町 會席御料理 日本料理 甘泉亭 電話一二九八六番

鎭南浦府尹 吉田澄

財務主任 北村豐太郎

京城太平通一丁目百廿九番地 名艸源一郎 電話本局五五九一番

釜山府高島町 釜山埋築會社 電話長二八一番

釜山辨天町 煙草洋酒罐詰卸商 あづまや商店

釜山本町四丁目 内外雜貨卸商 近藤商店

釜山府本町三丁目 綿布綿糸商 松前釜山出張所

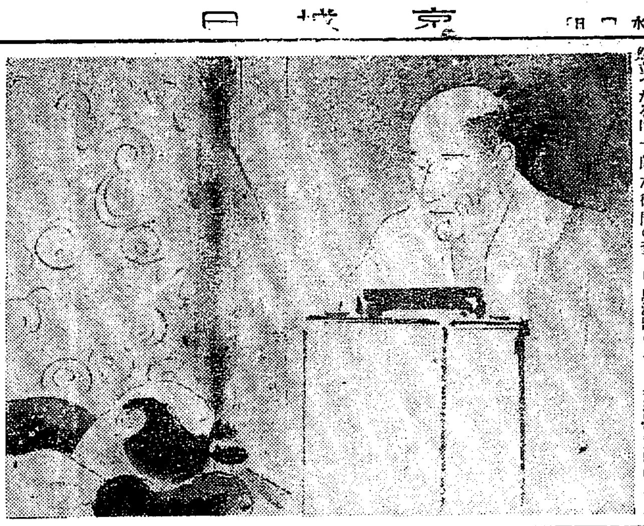
釜山大廳町 株式會社 明治屋

京城東小門外 朝鮮總督府醫院特定御用 平山牧場 電話一三三番

寛永御前試合

第二八六席 小金井芦洲講演

各村文吾は子供ながらも樋口の病氣を心配して 文『お背中でも叩きませうか、お足でも擦りませうか』十『イヤさういふことをして呉れんでも宜い、大分熱が出たやうだから』文『寧ろ熱が出た方が宜しうございませう』十『私もさう思つて居る、大層降つて來たやうだな』文『夜の雨と云ふものは何となく淋しうございます』と文吾を相手に話をして居る中に文吾も勞れて寢て終ひました、十三郎は枕に就いてゐながら、十郎左衛門は追々年を取られるが御壯健であるか、樋口の家は十太郎が相續したであらうか道場は相變らず盛んであるかと、行末を案じて居る中にトロ\/と眠つたかと思ふと、枕元へ悄然立つたるは十郎左衛門の姿、ビックリ驚いて其の儘に起ち直り十『之はお父でございまするか何時の間に之へ……』と云へど何の答へもなく、サメ\/と御落涙の體に十『之はしたり如何になされしかお父上』と呼ばるゝ聲に自分が目も覺め、ビックリ致して十三郎、アヽ今のは夢であつたか、悲い夢を見たと思ひまして、再び枕に就くと又も十郎左衛門悄然と枕元へ立出ました十『之はしたりお父上』十『オヽ文吾か』文『ハイ何ら遊ばしました』十『アヽ大分汗が出た、手拭を取つて下さい』文『此處へ持參致しました、夢でも御覽遊ばしましたか』十『ウム見た一度ならずも二度までも又の夢を見たが、魘されたかな』文『左樣でございます、大層魘されました』十『ウム、事に依るとお父上に何か不慮なる事でもありはせぬか』と斯ら思ふと何となく身體がゾク\/致して參り寢る處の騷ぎでない、其の内に夜が明けたがモウ何處へ、見物に行からうとも思はず、此の上は直に上州眞庭へ歸り度く思ふ位になつた、夢は五臟の勞れとは云ひながら、一つ夢を一夜の中に二度まで見るとは不思議なことでございます、然る所樋口十郎左衛門先生が十三郎の夢に其の姿を現はせしと云ふは、如何なるかな上州の在所に大事件が出來した、何う云ふことが出來したかと云ふに、上州高崎の城主安藤右京之進殿へ三百石にて御奉公致して居る天流の武藝指南を致す新井彈正と申す者がある、舎弟を大學と云つて武藝も大分出來ます尤も兄の彈正よりは弟の大學が至つて粗へ者でございます、ソコデ追々重役にも取入り、大分近頃は評判も宜しうございます、スルト此の新井の門人大勢ある中に、築川七三郎、鳥瀬藏の二人、天流の武藝は近日免許皆傳に入らうと云ふ天狗が居る、或る一日錦川近傍へ遊びに參り一寸した小料理屋へ昇り二人差向ひで飲み初めたが酒の廻るに從つて相變らずの武藝の話が出た 三『今日武藝に於ては島の前だが、どうも我々の先生位名譽の人はあるまい槍術、體術などもあの通りお出來なさる、令弟大學殿は何となく人の噂りが宜い若勞人だから』源『さう\/、御同樣に斯ら云ふ世の中だから武藝を以て名を成したいものだ、今日本第一と云ふ人は誰だらうな』三『そんなことは云はんでも分つて居るではないか、將軍家へ御指南致す柳生飛彈守』三『柳生を別にしたら我々共の先生かな』源『イヤ、拙者の思ふには我々の先生などは失禮ながら三番位に當らう、先づ柳生を別にしたら日本第一番は小石川の石川軍刀齋だらう』三『成る程シテ見れば新井先生は二番か』源『さうではない、眞庭の樋口十郎左衛門、彼が二番で其の次は宅の先生だらう』三『オイ\/貴公は怪しからんことを言ふ成る程樋口十郎左[illegible]老境である。麒麟も老ゆれば駑馬にも劣ると云ふ、樋口が何だ、宅の先生と比べ者になるか、四五年前は樋口も盛んであつたらうが、當今では樋口十郎左衛門の老齡よりは、家の若先生ですから遙かに上だ、彈正先生は又別段、實に何うも樋口などゝ云ふものは次第に衰へて近頃は大分弟子も減つたさうだ』



漢江通京龍館裏
齒科專門 廣瀨齒科醫院
院長齒科醫學士 廣瀨文酒

木戸齒科醫院
京城永樂町二ノ三四

物理療法に就て
お困りの方へ答ふ

本社代理部で施術して居る物理療法に就て、此樣な病氣は癒るかとか何回で全治するかとか御紹介が多數有つて讀者欄に載せ切れませんからた大體の適應症を記して御返事に代へます尤も何回で治するか等の事は面談にはお答へできかねます御手紙入『京城日報社代理部長井讓治』宛に御問あれば秘密にお答へ致します

▲X線療法…ろいれき…痛腫、わきが、痞ね、肉腫、關節炎、骨膜炎、肋膜炎、腹膜炎、神經痛、水虫、ニキビ、頑固な皮膚病

▲KS式ヂアテルミー、アアラヂザチオン其他の療法神經痛リウマチ脚氣、腦神經衰弱、生殖器、神經衰弱肩凝、疲小便、淋病副丸炎、關節炎膀胱加答兒、子宮及附屬器諸病、其他慢性内臓諸病發育增進

▲冷灼及エッフルビウム療法等 いぼ、あざ、ほくろ、そばかす等の除去禿頭病の毛生頑固な皮膚病等

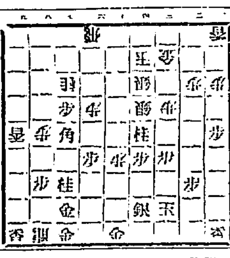
將棋新手合【五】

於平壤黃金町玉屋席亭

角落 △初段 横山直艦(平壤) ▲ 長谷川義雄(平壤)

(圖は前號指了迄の局面)

△持駒 長谷川氏桂歩五



[illegible]指將▽

△九九龍▲七三歩ナル△九七香ナル▲七二と△六三飛▲六九金(ル)左ヨル△八八成香▲六八金△七四香▲八四角(オ)△七七香ナル▲同金△五七桂▲七五桂△六九桂ナル▲六三桂ナル(以下次號)

▲(ル)六九金左ヨル弱し六五桂と飛ぶべし其時八七成香にても捨て置きて七三桂なるにて必勝なり

(オ)八四角惡し三七と引きてよろし

四月廿七日

(舊曆四月朔日) ▲木曜日▲乙丑▲五黄 ▲暗劍無し▲佛滅▲斗宿▲收

▼五黄▲諸事何とか喰ひ違ひ易し慎み深く八方に氣を配らねば失敗する
▼六白▲正當な事なれば何もかも心の儘に行うて大きな儲けを占める日
▼七赤▲按排宜しきを得て發展する日移轉求職金談縁談出産等一切大吉
▼八白▲調子は宜しきも利に疎き日他人の世話事には口出しせぬが安全
▼九紫▲多大な利益を得る日まず攻撃的態度に出で上々首尾
▼一白▲面目を失ふ日氣變りのする事もあれば約束事等は見合するが利
▼二黒▲押付けがましい事ある日旅行なる事は遁ぐるが勝ち新取引見合せ
▼三碧▲内にも外にも纏れ事の生じ易き日常の事は平穩新しき事見合せ
▼四緑▲諸事滯り勝にて終日氣の浮立たぬ日濫りに進んで大損を招く

御帰鮮奉迎

寫眞材料 米國イーストマンコダック會社特約店 島田誠昌堂 京城明治町一丁目 電話一九一九番

京城明治町一丁目 西洋料理 カフエータツ 電話一一一八番

京城明治町二ノ八五 京城魚市場 電話長一四七八番 電略(〇キ)又ハ(キ)

朝鮮京城本町二丁目 日韓書房 電話百四十五番 振替口座百十五番

京城本町二丁目 ダリヤ 電話三八九四番

京城府水標町 松田自動車部 松田壽男 京城電話二一三八番 春川電話四八番 市内貸自動車ハ高尚優美ナル箱形自動車有リ

大邱醫師會

中樞院參議 李柄學 大邱府西城町

杉原合資會社 大邱府元町

平壤府港町 有馬組派出所 電話長五五二五番

平壤商業會議所議員 株式會社平壤魚市場 代表者 蘆田純一

平壤醫師會

平壤府協議員 原田貞輔

平壤府協議員 平壤商業會議所評議員 内田錄雄

平壤貴金町 金千代 齋藤釀造會社

步兵第七十七聯隊長 谷村定規

步兵第三十九旅團長 林田一郎

平壤 兵器製造所長 安岡晴見

平安南道江東郡勝湖里 請負業 久保瀧次

平壤府[illegible]町 平壤府協議員 福西彥太郎

平壤府本町 平壤商業會議所評議員 平壤府協議員 中平岩造

平壤學校組合評議員 辯護士 森岡二三

平壤專賣局

朝鮮料理 海東館 京城瑞麟洞一三八 電話五八六 七三五番

京城府南大門通 農具 肥料 洋家具 戸田農具株式會社 電話長三八六番 振替京城三七五番

京城本町一丁目四五 三中井呉服店 電話長二四番 二二六番

自動車 寢台車 人力車 荷車 人夫受負
京城南大門通 太平組自動車部 電話二九六番
南大門脇 太平組本店 (朝鮮新聞社前) 電話二九六番
旭町三丁目 太平組支店 (喜樂館脇) 電話八五七番

新荷着 ◉フライキャッチ (米國製蠅取紙) 例年ノ通到着仕候御注文願上候 京城 辻本商店

印刷業 犬養帳簿製造所 京城府旭町二ノ六 電話本局二七九番

京龍左官業組合

龍山漢江通一ノ一 陳内茂吉 電話長龍山一四七番

辻本嘉三郎

堀井謄寫堂京城出張所 京城府南大門通二丁目 電話四〇二番 本分店 東京 上海 漢口 天津

京城長谷川町二 京城食堂 電話長二二六番

時代ノ要求ニ應ジテ立テル我社ハ
朝鮮教育界に於けるデパートメントストアーなり
完美せる教材
周到なる我社の機關
伏而 教育關係諸賢の御利用を冀ふ
教育普成株式會社
所在 京城府長谷川町
教育圖書出版部
理化學器械標本部
學校用品具部
教育活動寫眞部

釘本藤次郎

沙糖麥粉製菓直輸入商 德永商店 京城府水標町五十二番地 電話二四四七番 長一二七三番

資本金壹千萬圓 朝鮮勸業信託株式會社 京城府黃金町二丁目一九五 電話本局 二四九〇番 三四六〇番

京城本町一丁目 内外圖書 雜誌運動具 文房具 大阪屋號書店 電話二六〇八 八六四番

朝鮮總督府諸官省會社御用達 紙文房具 測量製圖器 和洋帳簿 印刷並製本 京城府本町二丁目 合資會社 町田商店 電話一四〇 振替九四一

株式會社 中村組農林部 松岡直温 京城南山町二丁目四三番地 電話長本局一一九六〇番

京城本町一丁目 株式會社 大澤商會京城支店 時計部 寫眞部 自動車部 電話長二二六二番 電話三三九〇番 振替長二四三八番 社長 大澤徳太郎 京城支店長 員木仙次郎

支那動亂と對支貿易
大した影響はあるまい

支那に 於ける奉直兩軍の形勢は張、呉兩氏が支那に於ける大立物であり兩軍の兵力が大きい點から今回の動亂が最近支那に起れる動亂に比し其規模が遙かに大きい譯であり從つて日本の輸出貿易に及ぼす影響に就ては多少の懸念なきを得ない今日迄に接した支那各地からの情報に依れば南北妥協の餘地がある様にも思はれると同時に既に實戰に入つたかドーカは判然たらしいが二十四日天津からの入電に依ると京漢線、津浦線が不通になつた事も報じて居るから或地點に於て既に兩派の衝突が開始せられたとも考へられる而して今假りに戰爭が開始せられたとして考へれば

日本 の輸出貿易が之れに依つて妙なからぬ影響を受ける事は云ふ迄もない然し乍ら支那の動亂は從來の例に依ると或は長期に亘る事はあるかも知れぬが之を擧げて經濟機關及貿易が全然停止さるゝ様な事はあるまいと思はれる殊に支那商人は數次の內亂に慣れて內亂と經濟機關とを切離して働くと云ふ他國と異つた所があり政治と經濟とが內地の如く密接でないから其影響は少いかも知れぬ而し日本の輸出狀態が今日の如く不振に遭遇し何か好材料あれかしの時に斯の如く戰事の起つた事は一層の

弱氣 を助長し感じの上に於て輸出業者に惡影響を及ぼす事は免れないが支那の國土は非常に廣く一部に戰亂があつても其他の地方は太平で國を擧げての內亂となる事は恐らくあるまい從つて極めて深刻な長期に亘る大影響を懼れる必要はない只今日の如く財界不況の時期である爲めに精神的に刺戟を受けて一層の不振を來さぬとも限らぬ今回の支那動亂は日本にとつて南洋、支那、印度方面の輸出貿易が非常の不振に陷り工業家輸出業者の困難に陷りつゝある今日云ふ迄もなく不幸の出來事には相違ないが支那の政治問題は頗る複雜で何の邊迄展開するか一寸見當がつかぬ殊に支那戰爭には

聲討 と云ふ熟語がある位で中々實戰には入らない今回の動亂も或は臨時に終るかも分らぬ若し實戰に入るとしても恐らくは北京、漢口間に止まり中部南部は左程の影響は受けまいそこで今度の動亂で眞先に影響したものは銀塊の暴騰で此の間二片暴騰し翌日一片反落した此の原因は云ふ迄もなく動亂は銀塊の暴騰となり金融の梗塞は金塊の騰貴を促す爲であるが又一面に於ては此の銀塊の騰貴が對支貿易を阻礙せしむる場合もある昔から株界の變化にも支那の動亂を買つて騰かつた例もしなしと云はれて居るが如く何時も支那の動亂は線香花火の如くで終りはせぬか今の處何とも斷言する事は出來ぬ(住井三井物產支店長談)

シーメンス社 東洋方面活躍

世界に於ける機械製作界の權威たる獨逸シーメンス社は今回古河と提携し東洋方面に大に活躍せんとしつゝあるが同社技師長フランク氏は朝鮮視察旁各方面に挨拶を兼ね來著二十四日二十五日の兩日は總督府、京城府、京城電氣其他を訪問し二十五日夜釜山へ向け出發したり

朝郵汽船買收

朝鮮郵船會社にては曩に大阪原田汽船會社より櫻島丸を購船し清津航路に配せしが過般松崎專務上阪同船買收の交渉成りたるが同船は千二百七十噸、重量噸當り百二十餘圓即ち百二十四萬圓まで買收することゝなり同社々有船は之にて三十二隻一萬九千餘噸となりたる譯なりと

石油會社計畫

代議士近江谷榮治氏は曩に朝鮮第一の山林地たる江原道の某山の伐採利權を得目下之が經營中なるが最近松方一家と謀り慶尚南道鎭海に於て資本金一千萬圓の朝鮮石油會社設立を計畫し漸次進捗せしが愈々西吉より石油を輸入し海軍に供給すると共に販賣するものなりと

金融組合業績

京畿道金融組合聯合會調査に係る三月中京畿道各組合に於ける貸付金は四百十二萬七千百九十七圓借入金二百八十九萬三千三百五十六圓にして前月に比し貸付金十三萬二千百三十一圓借入金七萬百五十六圓の增加を見たり

銀行會社

勸信開業後の成績 勸業信託會社開業後の成績を聞くに其開業が時恰も經濟界極度の不況に遭遇せるため新規資金の需要起らず殊に同社の如く新規開業の向は從前の取引關係無き所より特に閑散の觀ありき昨日迄に約七萬圓の證券擔保貸付け交渉中の由なるが此他小口取引は多少あるものゝ如く證券の種類は主として京取仁取なりと云ふ同社は新規開業と云ひ又大資金を擁する所より日歩は普通四錢五厘位を標準とし他日不動產及鑛山資金をも貸出す豫定の如く鑛山資金は現在申込者有れども斯れが擔保たる鑛區の調査には是非共專門技術家の鑑定を要する所より商談進捗せずと要するに一般金融界閑散の折柄とて著しき發展の見るべきものなき成績は先づ普通所なるべし

京取上場復活運動 京城市場は京取の短期取引廢止後俄に商內減少し市場の衰微甚だしければ市場關係者は振興策の第一歩として再び之が復活を畫策し過般來諸方面に運動せし結果賛成調印を求めつゝあるが既に數百名に達せる由にて近く正式に市場取役に提議し而して目的の貫徹を期すべく奔走中なりと云へるが成否は別問題とし輿論喚起は時機に適せるものなるべし

東拓の社員優遇 東拓本社は今回東京の平和博覽會開會に際し全社員中十ヶ年以上勤續せる者に對し特に平和博見物の爲め東上せしむることゝなり京城支店內にても數名の有資格者あり孰れ大出發の筈なりと

京畿金融聯合會總會 京畿道金融組合聯合會にては來る五月二十五日京畿道評議會議室に於て大正十年度事業經過報告、剩餘金處分案、役員の停給に關し打合會を施行し二十六、七の兩日は奬忠壇にて京畿道各組合聯合運動會を行ふ事となり目下聯合會に就き準備中なり

倭城金組總會 倭城金融組合は二十五日正午より定時總會を開き道よりは財務部長、理財課長、殖產銀行よりは深尾理事出席せり因に同組合今期の純益は二萬八千五百九十五圓なりと

松都陶器會社創立 開城松都陶器株式會社にては去る十九日發起組合樓上に於て創立總會を開き左の如く役員を決定せりと
社長朴宇鉉、專務取締役林益相、常務取締役金宇鑛、金圭鉉、監査役申田市五郎、金泉澤、

鮮銀券週報 四月十六日より同二十二日に至る朝鮮銀行券發行平均高は一億三百三十萬三千三百五十六圓にして內制限外發行一千五百九十五萬五千四百六十九圓正貨準備平均高三千七百卅四萬七千八百八十七圓保證準備發行平均高六千五百九十五萬五千四百六十九圓なり

商品市況

綿絲布 (保合)降雨の爲客足鈍く阪地の保合を入れ引續き頭重く低迷閑散なり
粗布三エー二百五十七圓▲九龍二百五十四圓▲大エー二百三十七圓▲金剛山二百十七圓▲金閣二百七十二圓▲双鸚百七十四圓▲飛犬(13)十二圓九十錢▲進軍十三圓五十錢▲世樂鳥十二圓五十錢▲金鼎十三圓▲扇面(十六手)二百四十圓 双女(十手)二百三十五圓

鮮魚 (暴落)降雨の爲客足鈍く一昨日花見相場の反動を受け上物二三十圓方下落物四五圓方の惡落を見たるが主なる相場左の如し(十貫匁)
鯛四十二圓▲小鯛三十五圓▲鰆三十八圓▲平すニ十八圓▲平目二十五圓▲鮑四十圓▲鯖十六圓▲柱貝四十五圓▲もえび七十五圓▲小海老四十五圓▲ぼら十七圓

麥稈帽子 (不況)冬季に於て一般生產者が賣行旺盛なりと見越したる事とて在荷は豐富ながら小賣店の賣行不振と安見越しの爲手控へたるより商狀は下落一方で昨年より約一割乃至二割方の下値で需要最盛期に接近しつゝあるが未だ大口取引と見るべきものなく至極閑散不振にして小口の賣行も上物依然として捌けず廉物丈が稍々なりと

塗料 (弱保合)財界四圍の不況の爲め需要期にあれども需要筋の小口需用以外には賣れず內地在留相場安なるため相場も弱含みにて低落步調を辿り商狀振るはず

ステツキ類(軟弱) 昨年頃は稍々輸出もありたるが昨今は殆ど杜絕し一方內地需要期でも手控へ居るが當地に於ても需要物丈けは需要期にある事とて稍々賣行を見て居るが仕入も賣行を案じ買氣萎縮して居る折柄商狀は自然軟弱を辿り上物は概して不變なるも下等物は約一割安

化粧品類(保合) 需要期に入りたるに拘らず賣行不振にて市況閑散なるが相場は昨年より何等變りなく依然として保合の姿勢なるは需要家の逐日增加と工賃品騰の爲にして鼓許下落する氣配もなく市價は昨年通り
香水四圓二十錢オリヂナル三圓六十錢石鹸花の花一圓八十五錢ミ輪三圓三十錢花王一圓八十八錢御園ライオン一圓八十錢クラブ小一圓十五錢大袋二圓二十錢香油みゆき五圓千代田四圓八十錢井筒六圓五十錢處を唱ふ

株式 現株市場出來値 (廿五日)

銘柄		前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取	寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
京取	引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	寄/引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮銀	寄/引	[illegible]		[illegible]	
同新	寄/引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
殖銀	寄/引	[illegible]		[illegible]	
同新	寄/引	[illegible]		[illegible]	
商銀	寄/引	[illegible]		[illegible]	
同新	寄/引	[illegible]		[illegible]	
漢銀	寄/引	[illegible]		[illegible]	
同新	寄/引	[illegible]		[illegible]	
韓銀	寄/引	[illegible]		[illegible]	
東拓	寄/引	[illegible]		[illegible]	
同新	寄/引	[illegible]		[illegible]	
鮮土	寄/引	[illegible]		[illegible]	
朝紡	寄/引	[illegible]		[illegible]	
滿毛	寄/引	[illegible]		[illegible]	
京電	寄/引	[illegible]		[illegible]	
同新	寄/引	[illegible]		[illegible]	
電興	寄/引	[illegible]		[illegible]	
朝郵	寄/引	[illegible]		[illegible]	
殖鐵	寄/引	[illegible]		[illegible]	
中鑛	寄/引	[illegible]		[illegible]	
滿鐵	寄/引	[illegible]		[illegible]	
同新	寄/引	[illegible]		[illegible]	
東亞	寄/引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
京信	寄/引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	
同新	寄/引	[illegible]	[illegible]	[illegible]	

乙の部

銘柄	前場	後場
安取 寄/引	[illegible]	[illegible]
朝信 寄/引	[illegible]	[illegible]
大新 寄/引	[illegible]	[illegible]
上取 寄/引	[illegible]	[illegible]
新東 寄/引	[illegible]	[illegible]

短期取引

銘柄	寄付	大引	高値	安値
京取 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿毛 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝新 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
拓新 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取 前/後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高

甲部	三千八百枚
現計	卅四萬三千八千二十枚
乙部	百十枚
短期	二萬九千六十五枚
累計	二十二萬七千一百八十二十枚

仁取 大新 拓新 滿毛 朝紡 安取 一、八〇〇 二一〇〇

東京現株

銘柄	廿二日前場	廿四日後場
鮮銀	九七、〇〇	九六、〇〇
同新	…	二五、〇〇
東拓	…	五二、〇〇
同新	…	二三、〇〇
京取	…	四二、〇〇
同新	…	一八、〇〇
京電	…	二八、〇〇
殖鐵	…	一三、〇〇
滿鐵	…	一〇五、〇〇
同新	…	八六、〇〇
滿毛	…	六〇、〇〇
朝紡	…	二〇、〇〇

大阪株式

銘柄	廿五日前場寄付	廿四日後場大引
大株	一一八、三〇	一一八、六〇
同新	八九、八〇	八九、八〇
盤船	八五、八〇	…
同新	三六、四〇	…
商船	四七、九〇	四七、五〇
同新	…	…
鐘紡	二八五、〇〇	二八四、〇〇
同新	二七三、九〇	二七四、四〇
東紡	一〇九、九〇	[illegible]

大阪延取引

銘柄	廿五日前場大引	廿五日後場寄付
大株	一二〇、一〇	一一九、七〇
同新	九〇、九〇	九〇、一〇
郵船	九六、四〇	…
同新	三六、一〇	三六、四〇
商船	四八、〇〇	四八、二〇
同新	…	…
鐘紡	二八七、九〇	二八七、九〇
同新	二七七、五〇	二七七、九〇
東紡	一一〇、六〇	一一〇、〇〇

安東株式

○廿五日前場

銘柄	寄付	大引
大新	九〇、四〇	九一、五〇
鐘新	二七二、〇〇	二七二、六〇
天取	…	…

○廿二日後場

銘柄	寄付	大引
大新	九二、七〇	…
鐘新	二七三、七〇	…
天取	…	…

○廿四日後場 安取先當 寄付 二八、九〇 大引 二八、八〇
○廿四日前場 安取先當 寄付 二八、二〇 大引 二八、三〇

前場は好調

昨保合氣先今朝は阪地の昂騰を入れて買氣俄然勃興し主力株は一齊に好調を迎ふるに至つた即ち京取は今週一圓十錢高來週一圓三十錢高仁取は短期三圓高今週五十錢高來週三十錢高安取は今週五十錢高信託保合丸新は今週共同歩にて大新が短期七十錢鮮銀は二圓三十錢安其他銀行鐵道等の諸株は相變らず閑散保合ひ裡に大引

京取擡頭す

今朝京取は阪地の好勢を移して買氣熾烈となり立會へば今週二圓三十錢と六十錢高に寄付其勇マバラ張氣の買進みに漸騰九十錢を高値に八十錢と一圓十錢高に引け來週け同じく二圓三十錢と七十錢高に寄り跡三圓三十錢と暴騰したが買方の利喰物現はれて引際二圓九十錢と押して引けたが同株に對する買氣の潜在は著しきものがあり地場上賣成の折柄なれば內地にして尚ほ續騰せんか目先一段の昂騰を呈するであらうと說く者が多く法りとて八十圓台には賣物多き模様である

大新引締る

內地に於て餘り無謀に買込んだ反動で株が仲買人に對し五百萬圓の融通を許すことゝなつたのと井上日銀總裁が都下のシンジケート銀行を召集し救濟策を講究した等の關係で人氣を煽り暴騰をしたのであつたが大阪では例の石井整理問題が未だ解決せず土佐銀行の取付等で再び八十錢に落ちた今朝は幾分の昂騰を示した即ち短期は八十圓八十錢と一圓五十錢高に寄り九十圓ドタ引けた而して財界は依然混沌として目先大いした好材料の出現すべくも非ざれば引續き暴騰は許されない而して暴落する要ひも少いだらうと觀測されて居る

安取は保合

昨九圓六十錢と昂騰して引けたが今朝三十錢と下寄り形勢幾分惡化の傾きあつた爲め利喰急ぎが現はれ八圓七十錢と低落したが主力筋の防戰買に九圓六十錢と昂騰して引けた兎に角双方の腰入れ甚だしく一高一低の商狀を持續して居るが四圍の事情は賣方に有利の點あるが實際の仕手に於ては買方が餘程有勢の觀があり今後の安取戰は大いに注目されて居る

仁取續騰す

仁取は採算上より見た資本家筋の買氣が導火線となつてマバラ筋の買氣を喚起し今朝短期は百三十九圓ドタと五十錢方の續騰を示すに至つた勿論一部賣方の崩れを呼んだ傾もあつたが四十臺には尙ほ賣物が增加する模様である

仁川米豆取引所仲買人
川 坂倉仲買店 電話 六五〇番 三五五番

…有價證券現物賣買…

信託と丸新

板橋氏の總會無効の訴訟を提起した爲めに折ふ暴落を示したのだとして信託會社より之れに對する損害賠償の反訴を爲すとの噂もありて多少人氣を回復した模様で別項の如く昂騰するに至つた而し何様金融が極端の逼迫を告げ居る今日目先大いした昂騰は望まれないと說く向がある

主要株歩値段

京取今週(一の廻り)七二、三〇(二の廻り)七二、三〇 四〇 五〇 七〇 八〇 九〇(三の廻り)七二、九〇
來週(一の廻り)七二、九〇 (二の廻り)七二、三〇(三の廻り)七二、九〇
京信新今週(一の廻り)一九、四〇 五〇 六〇
安取短期 二九、三〇 二〇 一〇 九、九〇 九、八〇
京城株式現物取引市場仲買人
洪 洪殷柱仲買店 京城府明治町一ノ四二 電話(市場構內)三三六四番

米況 (廿五日)

仁川期米 前場小返し

昨後場阪地の止め高に安値摑みの前物を誘致せし場面は漲くも三十圓五十八錢と高値止めを演じ引跡阪地の氣配高に今朝は一段の高唱へなりしが立會へば當中出來ず先限は日先筋の人氣手詰めを喚びて逆に三十圓四十九錢と九丁安に引
▲第二節 大阪寄氣配ガゲの三十五圓十三錢を入れて當中出來ず先二十九圓九十九錢先三十錢と下寄り押目待ちの買物に四十錢と跳返し三十八錢と手堅く引
▲第三節 當中出來ず大阪跡三十一錢に四十錢に七十三錢と反撥して引け更に七十三錢等の暗を與へ先五十錢よりて引
▲第四節 當中出來ず先七十錢より六十七錢と戾待ちの賣物に小弛みして引
▲第五節 當中出來ず先六十一錢より六十錢と小弛みせしも押目は買氣旺へ三錢と縮り二錢と持合ひに引
▲第六節 當中出來ず先五十八錢より大阪跡十九錢の安移りに四十五錢と押し六錢と頭重く大引せり

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町
布井仲買店 電話 五三三番 二六四番

腰入買尙早

財界の不況を眺めて定期が此過に低迷する處を見ると此上の下餘地は稍難い正米の如きは產地出廻り薄の爲め案外定期の安歩調に添はず三十圓五十錢摑みを持合ふた定期が少し返すと其れ以上の反撥力を有し居るなど却々實勢に侮り難き處がある故採算より行けば正米より割安の定期として買ひの外ないが然し割安と見做さる共定期に向つて採算本位の買物が餘り現はれないのは財界惡流の渦捲きを恐れて居るので米自體としては假に下値淋しきにせよ財界の安

後場硬かり

▲第一節 當中出來ず大阪後寄三十九圓二十一錢と變らざる移りにて先三十圓五十五錢と九十丁高に寄付
▲第二節 當中出來ず先三十圓五十八錢より六十八錢引公定六十一錢
▲第三節 當中出來ず先六十八錢よりて七十三錢あり六十六錢引公定七十錢
▲第四節 先八十九錢より七十錢と縮り六十三錢引公定六十一錢

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町
る 仲買店 長電話 二〇五番 九二六番

	廿五日前場	廿四日後場
寄付	三〇、四九	三〇、〇九
止値	三〇、四六	三〇、五八
高値	三〇、七〇	三〇、三八
安値	三〇、三〇	三〇、〇三
前場公定値		後場公定値
一節	三〇、四九	三〇、〇九
二節	三〇、三六	三〇、〇五
三節	三〇、六九	三〇、〇二
四節	三〇、六九	三〇、一二
五節	三〇、六二	三〇、〇五
六節	三〇、五一	三〇、〇一
値段 (中限) 先限	三〇、九七	
取組高 當限 先限	二萬一千四百石 五千三百石 四萬九千二百石	
出來高 累計	十七萬四千一百石 二七三七三〇石	

賣買差引

賣方		買方	
㋐	四五、〇〇〇	㋑	五一〇〇
内	一九、〇〇〇	㋥	一〇〇〇
㋔	三一〇〇〇	念	二六〇〇
丗	一五〇〇〇	カ	三〇〇〇
念	九〇〇〇	需	一六〇〇
一	一二〇〇〇	川	七〇〇〇
㊀	一〇〇〇〇	③	六〇〇〇
〒	二〇〇〇〇	㋙	二〇〇〇
九二	四〇〇〇	㋠	一一〇〇〇
		い	六一〇〇〇
		丸金	二〇〇〇
		丸大	八〇〇〇

丸ウの難平買

㋒の賣に對して買玉を維持せる㋐は飽迄押目買の態度を遂行し又た㋔を根據とせる不二も歩調を共にして㋔方に當り居る爲め㋟に崩れず阪地と四百七八十丁の薄鞘を往來して居るが此の模様にて寄場に下値は自然玉間へむで來る迄は買方が押目〳〵を㋒らつて飽迄買進を往來するであらうと見られて居る

長滿局長視察

本月九日京城に於いて開かれた大日本米穀大會に列席したる長滿食糧局長は再び滿洲方面の視察中なりしが本日歸東の途次來仁して市場の立會を視察し官民の招待にて築港より月尾島を遊覽した

仁 ㊓ 期 米 川

人氣一變す

昨今㋒の腰入れ深く㋐進めると株式綿絲の不況に鑑みて人氣は戾り賣に傾きつゝあるが正米の案外手堅きのみか今朝は其現物の出來値より定期の方が下廻り爲め弗々人氣を買に導き其結果は手仕舞急ぎの一面場面は總じて押目買に變じて來た模様である

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目
天 仲買店 電話 三〇番 略(ア)又ハカ(ネタ)

定を得る迄は戾り足を妨げられ値の回復は望難からう

米界餘聞

米材料なしで動かれなくなつた米券も餘り久しく持合ふてはお客様に愛想を盡かされては一大事と考へたものか米頭は株が安いと聞いては騰げ高いと見れば跳返すなど相當に動き出した▲動き出したのはよいがドウかすると爆發しさうな氣味があるのは弱氣に取つては困まつたものだ▲貝道本㋑長滿食糧局長の一行が市場視察に來仁した其餘興として跳れた譯でもあるまい强氣はモウ㋑れで大丈夫だと濟し込んで居る仁もある成程弱い〳〵と云はれた株も多少景氣づいて來たし羽が生へて飛び出したなど買方も餘り油斷は出來ない▲然し今日以後買ひより打つて出るのには受米の方針を極めて乘出されは深腰を入れる事は出來ない▲殊に金融硬塞の折柄割安思ひに買附き安物買ひの鼻落しにならぬやみ買方も注意が肝要らしいさうな氣味があるのは弱氣に取つて困まつたものだ本日長滿食糧局長の一行が市場視察に來仁した再餘興として跳ねた譯でもあるまい▲强氣はモウ之れで大丈夫だと濟し込んで居る仁もある成程弱い〳〵と云はれた株も多少景氣づいて來た

京城穀物

正米現物 平澤合格品は著の二十九圓九十錢見當の唱へなるが買はんとすれば此邊買人なく然りとて內地の在米先れや變質季を控へて其の以上は買人も進まざる模様にて今朝は三等合格二十九圓八九十錢地摺上玄二十八圓三十錢並二十七圓三七錢の焦付持合ひの狀態にて賣買双方共眼先成行き觀傍の體にて商ひ閑る閑散を呈しつゝあり

延 今朝は大阪期米の跡高を入れて氣丈に始めしが石井持米の處分案じの外變質季と金融梗塞等の懸念も蟠り居れる際とて底意頭重く戾りは忽ち賣物に壓せらるゝといふ風情にて六中は十圓四十錢より二十四錢と進込まれ結局三十一錢と戾して氣力薄に打止たり

仁川米豆取引所仲買人
㊗ 北島仲買店 電話長三一八番 三六番 本店電話一七二番 二七二番

歩み

四月末限二九六〇▲五月
○廿四日午後 五月末限三〇〇〇
(四月中限二九八〇▲六月中限三〇〇〇 ▲出來高四八二

末限	三〇〇〇 ▲六月中限三〇〇 四〇
二五	二五 二四 三一 ▲出來高四八二
七〇石	
二〇▲六月中限三〇〇 〇五	
○七 〇五 〇四 〇九 〇六 〇五	
二七 二六 三〇 一八 二二 二四	

仁川正米

定期の不勢を受けたる地場正米は產地出廻り薄の爲め下鞘り丸キ印三十圓五十錢處の買聲なるも賣人は一圓を主張して賣應する向沙なく取引更に出來さる模様なり

群山正米

五月中限三十圓五十八錢同末限三十圓八十錢六月中限三十圓九十五錢現物持合ひ(二十五日)

日銀帳尻 (二十二日)

發行高	一、二六六四
正貨準備	一、二六六四
保證準備高	六六四
貸出高	二〇八、二九五

內地金利 (廿四日)

	東京	大阪
コール 無條件	二八、〇〇	二〇、〇〇
翌日物	二七、五〇	二〇、〇〇
月越	…	二六、〇〇〇
六十日物	二五、五〇	二六、〇〇〇
手形割引步合	二七、〇〇	二五、〇〇〇

朝鮮銀行券 (廿四日)

發行高	一〇四、二二一、三一五
正貨準備	三七、〇五九、八九六
限外發行	一七、一六一、四一八

東京期米

○廿五日前場先限 寄付 三六、〇〇 廿五日後場先限 三六、〇四

大阪期米

○廿五日前場

	廿五日前場	廿五日後場
常寄	三三、五六	三三、七一
止め	三三、七〇	三三、七〇
中寄	三四、〇二	三四、二〇
止め	三四、二二	三四、〇九
先寄	三五、一三	三五、二一
二節	一五	三〇
三節	三〇	二五
四節	二一	三三
五節	三三	二一
六節	二八	一九
七節	一九	一一
八節	一六	…
九節	一九	…
十節	二〇	…

二節	三八
三節	三八
四節	六一六
五節	六一一五
六節	…

各地期米

○廿四日後場止め

東京 三三五、八九	大阪 三三五、三一
兵庫 三五、〇八	下關 三五、〇八
桑名 三四、一五	名古屋 三四、〇八
熊本 三五、二四	金澤 三四、一〇

兵庫期米

○廿五日前場 寄付 三四、九九 止め 三五、一四 / 廿五日後場 三五、一二

下關期米

○廿五日前場 寄付 … 止め … / 廿五日後場 寄付 …

大阪三品

○廿五日前場寄付 / 前場大引

當限	…	…
中限	…	…
先限	…	…

	廿五日前場寄付	廿五日後場
三月	三三、八〇	…
四月限	三四、二〇	三四、〇〇
五月限	三三、六〇	…
六月限	三三、〇〇	…
七月限	三〇、九〇	…
八月限	三一、〇〇	…

法人登記公告

●平昌金融組合登記事項變更 一、監事寄名缺員ノ處大正十一年四月十日定時總會ニ於テ選擧ノ結果平昌郡平昌面中里參參番地 鄭 就任ス 右大正十一年四月十九日登記 京城地方法院平昌出張所

●日大和金融組合登記事項中出資一口數八百五拾口拂込ミタル出資總額ノ千百四拾五圓也 右大正十一年四月二十一日登記 京城地方法院平昌出張所

●栗里金融組合登記事項中變更 出資總口數 右大正十一年四月二十一日登記 海州地方法院遂安出張所

演藝案内

松竹キネマ株式會社朝鮮總特約店 櫻井町電話八七三 **大正館** 四月廿六日より特別大興行 ○高等喜劇 化物屋敷 ○七大名題澤村源之助丈主演 **女大盃** 全五卷 ○大活劇 大江山の酒呑童子 **地獄船** 全五卷 ○大活劇 **己が罪** 全六卷

三友倶樂部專門 **黄金館** 電話二六三七番 ○新喜劇 **あとを追ふて** 二幕 ○新舞踊 **ボードビル** ○連續活劇 人情劇 一大活劇

株式會社日活聯盟 **京龍館** 電話三二番 ○當る四月廿一日より全部取替 ●滑稽 ●新派悲劇 **雨夜の鐘** 全五卷

日活直營 京城本町一丁目 **喜樂館** 電話五九七番 ○喜劇 寶 ●**水戶黄門** 無錢旅行全六卷 ●**殘香の花** 全五卷 ●**ターザン** 中篇 ●**女夫波** 全六卷

永樂町一丁目 **中央館** 電三〇一四番 ○英皇儲殿下の御來朝の實況

蛤の由來 全五卷 **海の彼方へ** 全五卷 **義勇兵** 全五千呎

浪花座 本町五丁目 **大橋八藏** 四月二十三日(日曜日)より
明治町 **浪花館** **桃中軒雲の子** **桃中軒雲左衛門** 名外數

支部長募集 東京神田區須田町福岡銀行內 三澤

日本自動車學校 公認 東京蒲田驛前

內科 胃腸病 診察 夜九時迄 石川醫院 京城本町一丁目 電話三五九〇番

一粒緩下劑 高橋藥學博士監督創製 東京室町 泰昌製藥株式會社

チーカ

內科 眼科 小兒科 本田病院 京城黃金町三丁目永樂町通り 院長 本田建義 附屬 京城肛門病痔疾療院

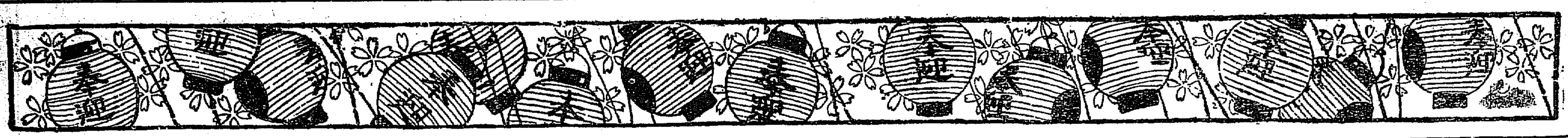
時代の要求に應ずる 絹紬 ライオン御召 京城太平通 ライオン御召朝鮮代理店 **京日代理部** 京城本町三丁目 **ゑらぎ屋京染店**

撫順炭 安山銑鐵 京城義州通一丁目 **近藤謙助商店** 電話長八三五番 振替京城五六八三番

白色ゴム靴 ミツヤ靴 (純朝鮮靴) 製產力豐富 品質良好 取引確實 薄利多賣 **三ツ矢ゴム合資會社**

月經流 新藥 レスクリン 大阪北區曾根崎上一丁目 **常盤藥院**

最新刊 京城 大阪屋號



春はうれし

行く處として花ならざるはなく、見る人として此の品を携へざるはなし。

森永ミルクキャラメル

森永ミルクチョコレート

森永製菓株式會社

喜谷實母散

◎御心配御無用！

婦人病に喜谷の實母散!!

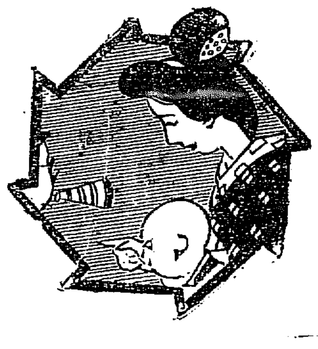
さらりと癒つて夢の樣

主治効能

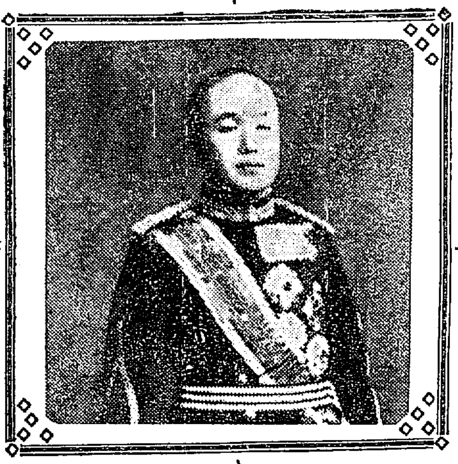
△血の道△子宮病
△こしけ△白帯赤帯
△足腰冷込△下腹痛み
△產前產後△氣ふさぎ
△難產流產△逆上頭痛
△經期腹痛△月經不順ス

定價表	送料
壹貼貳拾錢	二錢
參貼五拾五錢	二錢
七貼壹圓貳拾錢	二錢
拾四貼貳圓參拾錢	六錢
卅一貼五圓	十二錢

◎僞物あり御求めの際は喜谷實母散と御名指願上候



東京市京橋區中橋大網町 本舗 喜谷市郎右衛門 振替口座二一五四



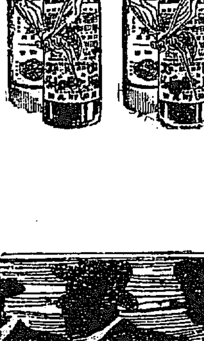
一番賣れる葡萄酒は
一番良い葡萄酒です

蜂印香竄葡萄酒

＝每食前の一杯は直ちに血を增し肉を肥す＝

美味＝最も快爽にして萬人の嗜好に適し

滋養＝最も豐富にして氣力と體力を增す



發賣元 株式會社 近藤利兵衞商店

特約店 京城府南大門市場通 辻本商店

醸造元 株式會社 神谷本店

E-AP-27

日本から歐米

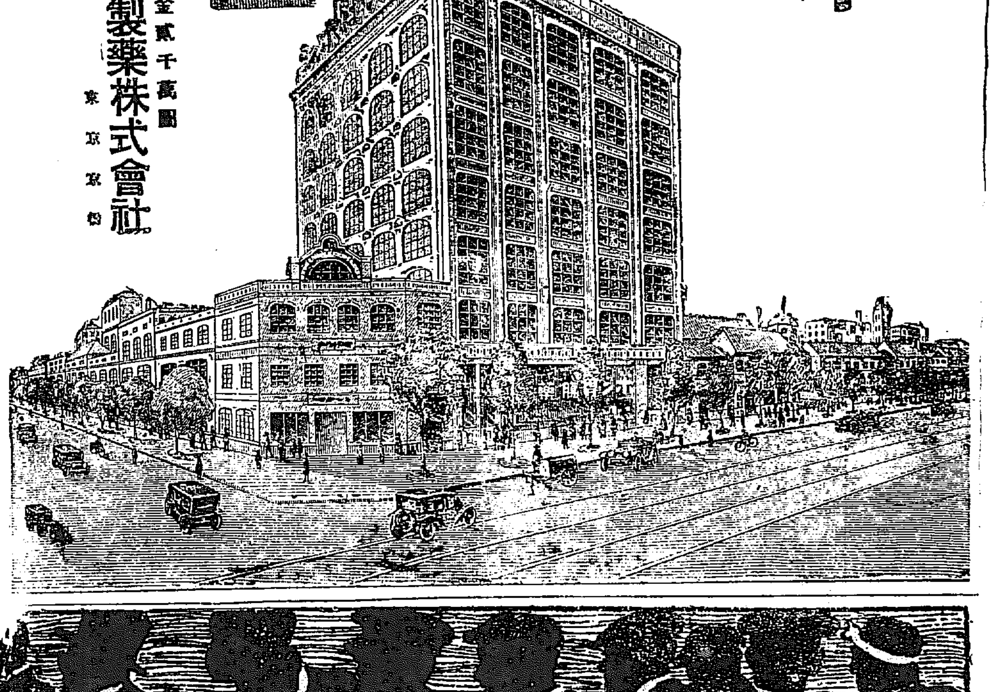
クスリは從來歐米から日本へ輸入されて居たものだが、近頃は日本から歐米へ盛んに輸出する樣になつたことは國家の爲めに慶賀すべきことでは無いか。輸出せらるゝ大部分は星製藥のクスリである。ホシの製品の如何に信用あるかは之を以つて知ることが出來る。

ホシ胃腸藥は星製藥の製品で有名なる胃腸病治療藥であります。

胃病良藥

ホシ胃腸藥

資本金貳千萬圓

星製藥株式會社

東京京橋